

資料編 目次

1	あいち森と緑づくり基金の状況	資-1
2	事業等の実績及び成果・波及効果等	
(1)	人工林整備事業関係	資-2-1
(2)	里山林整備事業関係	資-2-3
(3)	都市緑化推進事業関係	資-2-5
(4)	環境活動・学習推進事業関係	資-2-12
(5)	森林整備技術者養成事業関係	資-2-15
(6)	木の香る学校づくり推進事業関係	資-2-16
(7)	愛知県産木材利活用推進事業関係	資-2-17
(8)	事業PR関係	資-2-18
3	あいち森と緑づくり事業アンケート結果	
(1)	県民アンケート	資-3-1
(2)	法人アンケート	資-3-20
(3)	市町村アンケート	資-3-23
(4)	事業関係者アンケート	資-3-33
	(参考資料)	資-4
	・条例	
	・各事業の内容(解説)	

1 あいち森と緑づくり基金の状況

(1) 基金積立額

(単位:千円)

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
積立額	700	1,514,117	2,180,099	2,199,110	2,206,347	2,222,964
内訳	税収		1,513,525	2,171,253	2,183,000	2,191,466
	寄附	700	591	5,139	12,233	12,147
	運用益		2	3,708	3,877	2,734
年度末基金残高	700	656,633	1,311,987	1,639,900	1,361,024	508,616

年度	26年度	27年度	28年度	合計
積立額	2,230,217	2,244,244	2,268,524	17,066,322
内訳	税収	2,215,356	2,231,806	
	寄附	14,376	12,028	
	運用益	486	410	
年度末基金残高	510,025	386,381	465,194	1,639,900

※四捨五入の関係で内訳と計は必ずしも一致しない。

(2) 事業費 (=基金取崩額) の内訳

(単位:千円)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
森林整備	422,594	892,672	955,932	1,468,097	1,647,423
里山林整備	80,962	164,485	160,402	187,829	249,723
都市緑化推進	304,141	387,179	568,904	663,495	742,704
環境活動等推進	26,104	52,382	52,260	52,423	51,770
普及啓発等	24,384	28,027	133,699	113,380	383,751
計	858,185	1,524,745	1,871,197	2,485,223	3,075,371

区分	26年度	27年度	28年度	合計
森林整備	1,046,017	1,216,504	1,136,501	8,785,740
里山林整備	256,299	294,301	265,544	1,659,545
都市緑化推進	697,260	593,844	540,187	4,497,713
環境活動等推進	62,321	63,744	61,249	422,252
普及啓発等	166,912	199,495	186,230	1,235,877
計	2,228,809	2,367,888	2,189,710	16,601,128

(3) あいち森と緑づくり基金への寄附状況

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
寄附件数	2件	5件	6件	8件	7件	9件
寄附金額	700,000円	590,943円	5,138,517円	12,233,293円	12,146,679円	12,218,189円

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
寄附件数	10件	7件	6件	5件	65件
寄附金額	14,375,602円	12,028,388円	5,582,651円	7,117,474円	82,131,736円

(4) あいち森と緑づくり基金への寄附一覧

年度	お名前	ご住所	金額
20年度	愛知県土地改良事業団体連合会 様	愛知県名古屋市中区	500,000円
	兼松エレクトロニクス株式会社 様	東京都中央区	
21年度	第12回愛知県農協大会記念行事 まるっと愛知！収穫祭 主催者代表 愛知県農業協同組合中央会 会長 倉内巖 様	愛知県名古屋市中区	34,143円
	兼松エレクトロニクス株式会社 様	東京都中央区	
	東海窯業原料株式会社 様	愛知県知多郡武豊町	
	上記以外に2件の匿名の方		
22年度	豊川信用金庫 様	愛知県豊川市	300,000円
	マックスバリュ東海株式会社 様	静岡県駿東郡長泉町	113,223円
	中日新聞東京本社広告局 様	東京都千代田区	550,000円
	JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	1,934,294円
	株式会社伊藤園 様	東京都渋谷区	2,041,000円
	兼松エレクトロニクス株式会社 様	東京都中央区	
23年度	安藤公朗 様 ほか3名様	愛知県豊田市	108,080円
	山本恵一 様	愛知県岡崎市	52,183円
	関谷醸造株式会社 様	愛知県北設楽郡設楽町	22,839円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	623,845円
	アサヒビール株式会社中部統括本部 様	愛知県名古屋市中区	9,138,313円
	JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	1,998,000円
	マックスバリュ東海株式会社 様	静岡県駿東郡長泉町	239,738円
上記以外に1件の匿名の方			
24年度	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,133,755円
	コカ・コーラセントラルジャパン株式会社 様	神奈川県横浜市	1,619,000円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,097,000円
	アサヒビール株式会社中部統括本部 様	愛知県名古屋市中区	2,299,402円
	コカ・コーラセントラルジャパン株式会社 様	神奈川県横浜市	1,134,350円
	株式会社伊藤園 様	東京都渋谷区	2,660,000円
JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	2,203,172円	
25年度	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,130,300円
	いちい信用金庫 様	愛知県一宮市	200,000円
	コカ・コーライーストジャパン株式会社 様	東京都港区	1,318,850円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,228,200円
	コカ・コーライーストジャパン株式会社 様	東京都港区	1,179,938円
	アサヒビール株式会社中部統括本部 様	愛知県名古屋市中区	2,291,103円
	株式会社伊藤園 様	東京都渋谷区	2,600,000円
	JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	2,249,628円
上記以外に1件の匿名の方			
26年度	マックスバリュ東海株式会社 様	静岡県駿東郡長泉町	297,486円
	ダイドードリンコ株式会社 様	大阪府大阪市	2,000,000円
	株式会社中京銀行 様	愛知県名古屋市中区	1,605,234円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,319,600円
	吉田工機株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,000,000円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	920,600円
	鶴飼史郎 様	愛知県春日井市	200,000円
	株式会社伊藤園 様	東京都渋谷区	2,300,000円
	JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	2,187,616円
アサヒビール株式会社中部統括本部 様	愛知県名古屋市中区	2,545,066円	
27年度	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	978,400円
	いちい信用金庫 様	愛知県一宮市	673,000円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	949,100円
	マックスバリュ東海株式会社 様	静岡県駿東郡長泉町	117,888円
	株式会社伊藤園 様	東京都渋谷区	2,000,000円
JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	2,160,000円	
上記以外に1件の匿名の方			
28年度	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,019,000円
	株式会社中京銀行 様	愛知県名古屋市中区	1,210,851円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	愛知県名古屋市中区	1,142,800円
	JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	2,170,000円
上記以外に2件の匿名の方			
29年度	株式会社伊藤園 様	東京都渋谷区	2,000,000円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	名古屋市中区	1,034,400円
	中京銀行株式会社 様	名古屋市中区	904,574円
	愛知トヨタ自動車株式会社 様	名古屋市中区	998,500円
	JAバンクあいち(県内JA/JA愛知信連) 様	愛知県	2,180,000円
	マックスバリュ東海株式会社 様	静岡県駿東郡長泉町	43,528円
上記以外に1件の匿名の方			

2 事業等の実績及び成果・波及効果等

(1) 人工林整備事業関係

○市町村別事業実施面積 ※29年度は見込み

【奥地】

(単位:ha)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
豊橋市		4		13	2		10	21	26	75
岡崎市	7	43	20	75	149	36	72	75	43	520
瀬戸市										
春日井市										
豊川市	1	16		1	13	23	22	18	12	106
豊田市	149	195	161	220	407	292	231	247	287	2,188
西尾市									6	6
蒲郡市				1	4					5
犬山市										
新城市	34	82	162	202	305	58	253	440	499	2,035
尾張旭市										
田原市				6						6
設楽町	29	101	9	66	113	125	248	225	170	1,087
東栄町	78	76	129	140	103	100	62	117	106	910
豊根村	45	128	76	136	189	132	152	190	190	1,237
計	342	645	557	860	1,286	767	1,049	1,333	1,338	8,176

※四捨五入の関係で内訳と計は必ずしも一致しない。

【公道・河川沿い等】

(単位:ha)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
豊橋市	2	8					7	0	10	27
岡崎市	60	83	99	52	55	58	57	57	66	587
瀬戸市							1			1
春日井市				1		1				1
豊川市	5	8	3	21	17	25	14	2		95
豊田市	56	221	275	286	166	90	118	174	122	1,508
西尾市						1				1
蒲郡市				1	8			1	1	12
犬山市							1			1
新城市	157	296	221	179	123	161	159	40	3	1,339
尾張旭市			3							3
田原市		5	7	2						13
設楽町	69	101	185	138	95	76	41	38	38	780
東栄町	39	61	51	30	55	34	51	10	5	336
豊根村	24	93	110	38	7	37	10	5	11	336
計	410	877	954	747	527	481	458	329	256	5,039

※四捨五入の関係で内訳と計は必ずしも一致しない。

○人工林整備事業の事業対象地別事業実績 ※29年度は見込み

(単位:ha)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
奥地	342	645	557	860	1,286
公道・河川沿い等	410	877	954	747	527
計	753	1,522	1,511	1,607	1,813

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	合計	事業計画	進捗率
奥地	767	1,049	1,333	1,338	8,176	10,000	82%
公道・河川沿い等	481	458	329	256	5,039	5,000	101%
計	1,248	1,508	1,662	1,594	13,216	15,000	88%

※四捨五入の関係で内訳と計は必ずしも一致しない。

○雇用効果

(単位:人)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
設計上の総人工数	9,568	22,157	24,191	29,227	31,017
年間雇用効果(※)	48	111	121	146	155

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
設計上の人工数	17,458	23,273	20,004	20,261	197,156
年間雇用効果(※)	87	116	100	101	986

(※1人当たりの年間作業日数を200日とした場合)

○間伐材の利用状況

(単位:m³)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
材積	1,467	3,211	5,232	3,617	3,720	4,568	2,297	1,624	25,736

(2) 里山林整備事業関係

○市町村別事業実施箇所数 ※29年度は見込み

(単位:箇所)

区分	提案型(市町村)										健全化整備(市町村)										再生整備(県)									
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
名古屋市		1				1	1			3		3	2	3	4	7	6	5	6	36										
千種区														1	1					1	4									
昭和区												1	1								2									
守山区		1				1	(1)			2(1)						2	2	1		5										
緑区											1	1	1	1	1	1		1	2	8										
名東区														1	1	2	1	1	1	7										
天白区							1			1				1	2	2	2	2	2	10										
豊橋市	1	1							1	3							1			1		1	2	(2)		1		1	5	
岡崎市		1								1												2	3	(2)	6	1	2	2	16	
瀬戸市			1	(1)						1			1							1										
春日井市																				1	1	1	1	1	(1)				5	
豊川市					1		1			2								1	1	2			1	1	(1)	1	2	2	6	
豊田市			1	(1)	1	(1)	1	2	(1)	5				1	(1)	(1)			4	5		5	1	2	2	2	2	14		
西尾市					2	1		2		5	1		5	1	2	3	3	3	3	18						1			1	
蒲郡市		2								2																				
犬山市																					1		1				1		3	
常滑市	1	(1)			2	(2)	1	(1)	(1)	4																1	(1)	1		
小牧市							1	(1)		1											1		1	(1)	(1)	(1)		2		
東海市	1	(1)								1																			(3)	
豊明市					1	(1)				1																		1	1	
知多市			1							1																				
日進市	1	(1)		1						2																				
田原市	1	1	(1)							2		2	1						5		1								1	
長久手市																	1			1										
東郷町																												1	1	
阿久比町					1	(1)				1			1							1										
南知多町																												1	1	
美浜町																							1	1	1	(1)	(2)		1	4
幸田町											1		2	(2)	(1)	(2)	(1)	3		8									(3)	
合計	5	6	3	1	8	2	5	4	1	35	2	5	4	12	9	9	11	12	14	78	2	4	9	6	9	12	3	8	8	61
		(3)	(1)	(2)	(7)	(2)	(3)	(2)	(20)				(2)	(6)	(9)	(8)	(8)	(4)	(37)		(1)	(3)	(4)	(9)	(14)	(12)	(11)	(54)		

※()内の数値は、複数年で実施した事業で前の年度の数値と重複する箇所数であり、外数。

○事業別事業実績 (箇所数) ※29年度は見込み

(単位:箇所)

事業区分	年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	合計	事業計画	進捗率
	里山林再生整備事業 (県営事業)	新規	2	4	9	6	9	12	3	8	8		
	継続			(1)	(3)	(4)	(9)	(14)	(12)	(11)	(54)		
提案型里山林整備事業 (交付金事業)	新規	5	6	3	1	8	2	5	4	1	35	50	70%
	継続		(3)	(1)	(2)		(7)	(2)	(3)	(2)	(20)		
里山林健全化整備事業 (交付金事業)	新規	2	5	4	12	9	9	11	12	14	78	79	99%
	継続				(2)	(6)	(9)	(8)	(8)	(4)	(37)		
計	新規	9	15	16	19	26	23	19	24	23	174	192	91%
	継続		(3)	(2)	(7)	(10)	(25)	(24)	(23)	(17)	(111)		

※()内の数値は、複数年で実施した事業で前の年度の数値と重複する箇所数であり、外数。

(例えば、1年目に調査・測量、2年目に整備を実施した場合は、1年目に新規1件、2年目に継続1件としている。)

○事業別事業実績（整備面積（調査・測定の面積は除く） ※29年度は見込み

(単位:ha)

区分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
里山林再生整備事業 (県営事業)	新規	4	11	19	18	35	24	38	52	41	241
	継続				(5)	(6)	(12)	(14)	(2)	(4)	(43)
提案型里山林整備事業 (交付金事業)	新規	11	22	9	5	14	11	11	9	1	94
	継続						(5)		(5)	(5)	(15)
里山林健全化整備事業 (交付金事業)	新規	2	16	9	42	67	14	26	15	19	209
	継続					(1)	(4)	(3)	(3)	(1)	(12)
計	新規	17	49	38	66	116	48	75	75	61	544
	継続		0	0	(5)	(7)	(21)	(18)	(11)	(9)	(70)

※()内の数値は、複数年で実施した事業で前の年度の数値と重複する面積であり、外数
四捨五入の関係で内訳と計は必ずしも一致しない。

○里山林整備事業関係の相談件数

(単位:件)

年度	森林所有者	地区自治 会等	ボランティ ア団体等	市町村	その他	計	うち採択
20	-	-	2	15	-	17	6
21	2	4	6	13	2	27	18
22	4	3	4	11	2	24	12
23	5	7	-	12	4	28	15
24	14	12	4	19	2	51	22
25	9	11	1	4	3	28	19
26	21	14	-	7	-	42	13
27	8	5	2	7	4	26	11
28	17	10	3	10	2	42	10
計	80	66	22	98	19	285	126

○里山林整備事業関係の不採択理由

(単位:件)

理由	年度										計
	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
対象森林 ではな かった	地域森林計画対象民有林ではなかった	-	-	2	4	2	2	3	3	3	19
	都市近郊(都市計画区域)ではなかった	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2
	集落や公共施設等の周辺ではなかった	-	-	1	-	-	-	1	1	-	3
	保安林だった	-	-	-	-	3	4	-	-	1	8
	人工林だった	-	-	-	-	-	2	11	-	-	13
	放置された森林ではなかった	-	-	-	-	1	-	-	-	2	3
	「森林と人との共生林」ではなかった	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	1事業地5ha以上だった(提案型の場合)	1	-	-	-	-	-	1	-	1	3
	公有林だった(再生整備、健全化の場合)	3	-	-	-	1	-	-	-	-	4
協定が締結できなかった	2	3	2	3	4	-	-	-	-	14	
小面積だった	1	2	-	1	2	-	2	2	-	10	
予算規模が大きすぎた	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3	
事業内容以外の要望だった	-	-	2	1	4	-	-	-	1	8	
他事業の案件だった	2	1	-	-	2	1	1	-	-	7	
地元調整が整わなかった	3	2	1	-	-	-	2	-	2	10	
その他	-	3	4	7	10	3	26	12	26	91	
計	13	11	12	16	30	12	51	18	36	199	

※複数回答あり

○里山林整備事業活動報告書

年度	団体数	活動日数 (日)	参加者(人)			
			会員	一般	その他	計
22	2	56	652	4,578	2	5,232
23	10	268	3,404	3,013	64	6,481
24	15	716	4,704	2,144	102	6,950
25	18	454	3,183	3,233	312	6,728
26	23	731	3,672	7,082	77	10,831
27	30	1,010	8,755	10,851	274	19,880
28	35	1,205	9,539	12,001	166	21,706
合計	-	4,440	33,909	42,902	997	77,808

(3) 都市緑化推進事業関係

○市町村別事業実施箇所数

区分	4事業計	身近な緑づくり										緑の街並み推進									
	H21～H28	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計		
名古屋市	672		1	2	1	1	1	1	3	10	37	51	69	58	60	48	50	56	429		
豊橋市	83				1		1	1	1	4		2	3	5	4	2		3	19		
岡崎市	54								1	1			1	2	1	1	2		7		
一宮市	68	1	2		1	2				6		5	4	8	7	3	5	5	37		
瀬戸市	14												3	2	3	1		3	12		
半田市	44	2	2	2	2	2	1	3	2	16			1		1	2	4	4	12		
春日井市	17																				
豊川市	57													3	2	2	4	5	16		
津島市	4								1	1											
碧南市	8					1	1	1		3								3	3		
刈谷市	32				1			1		2		1	3	2	3	4	1	3	17		
豊田市	30		2		1					3			3	4	5	5	3	5	25		
安城市	56		1	2	2					5	1	2	4	4	2	4	4	5	26		
西尾市	70	1	1			1	2	1	1	7				2	3	5	3	4	17		
蒲郡市	28										1	1		2	1	2		1	8		
犬山市	32	1	1	1						3						2			2		
常滑市	17						1			1				1	3	1	2		7		
江南市	19														5	3	2		10		
小牧市	16											3	1		3	2	2	3	14		
稲沢市	17			1						1			2	1	1	1		2	7		
新城市	12																				
東海市	38	1			1	4	3	1		10			2	4	3	1	1	4	15		
大府市	61					1			1	2			1	3	2	4	5	4	19		
知多市	46	1				1				2				2	2	1	1	1	7		
知立市	20											1	2		1				4		
尾張旭市	10		1							1				1	1	1	1	3	7		
高浜市	11																				
岩倉市	6													1			1	1	3		
豊明市	18														1	1	1	1	4		
日進市	4																	1	1		
田原市	4																	1	1		
愛西市	1						1			1											
清須市	13													1		1	2	1	5		
北名古屋市	8							1	1	2							2	2	4		
弥富市	11															1		1	2		
みよし市	26	1				1	1	1	1	5				1	2	3	1		7		
あま市	7														3	1	1	2	7		
長久手市	39												3	1	1	2	1	2	10		
東郷町	9													1		1	1		3		
豊山町	2		1							1											
大口町	1																	1	1		
扶桑町	8		2	1	1		1		1	6							1		1		
大治町	1																				
蟹江町	1																				
飛島村	1																				
阿久比町	2																				
東浦町	6			1	1	1				3				1					1		
南知多町	1																				
美浜町	9																				
武豊町	13														2	2		2	6		
幸田町	27		4	2	2	1	1			10											
合計	1,754	8	18	12	14	16	14	11	13	106	39	66	103	109	123	106	101	129	776		

(単位：箇所)

美しい並木道再生									県民参加緑づくり								
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計
				2	8	2	5	17	5	29	39	23	28	26	37	29	216
1	4	2	3	3	2	2	2	19	2	5	7	5	5	4	9	4	41
											8	8	8	8	7	7	46
	1		1				1	3			5	7	5	4	1		22
1								1							1		1
	2	2	4	2	2	1	1	14	1							1	2
											1	1	2	2	2	9	17
	1	3	3	4	2	1	1	15			6	5	6	2	5	2	26
											2	1					3
										1					1		2
1	1		2	1	1			6	1	1		1	1	1	2		7
										1					1		2
									2	2	3	4	4	3	6	1	25
1				1	2			4			1	6	10	9	8	8	42
1		1	1	1		1	1	6	2	3	2	3	2		1	1	14
									3	1	2	6	7	3	3	2	27
1	1	1	1	1	1			6					1	1	1		3
										1	1	3	1	1	1	1	9
										1				1			2
		1						1		1	1			1	3	2	8
							1	1					2	3	5	1	11
1	1	1	1	1				5	1		3		2		2		8
				2				2		1	3	6	7	6	9	6	38
	1	2	1	1	1	1	1	8		2	4	3	5	5	5	5	29
							1	1	2	2	2	3	1	2	1	2	15
										1					1		2
										2	2	2	2	2	1		11
											1	1	1				3
											2	1	3	3	3	2	14
														2	1		3
	1	1	1					3									
											1	2	1	1	2	1	8
									1							1	2
									2	1	1	1	1	1	1	1	9
		1	1					2	1	2	4	5					12
					1			1		2	2	3	4	3	11	3	28
									1	1	1	1	1		1		6
															1		1
										1							1
															1		1
										1				1			1
														2			2
															2		2
											1						1
1	1	2	2	1				7			1			1			2
			1					1							2	4	6
									1	2	4	2	2	1	3	2	17
8	14	17	22	20	20	8	14	123	25	64	110	103	112	99	141	95	749

○都市緑化推進事業の実施市町村数

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
市町村数	21市町村	32市町村	37市町村	37市町村	38市町村

区分	26年度	27年度	28年度	目標	達成率
市町村数	40市町村	42市町村	39市町村	51市町村	100%

※達成率は対21～28年度累計

○都市緑化推進事業の実施市町村数(累計)

事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	7市町村	11市町村	8市町村	11市町村	11市町村
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	3市町村	8市町村	16市町村	22市町村	27市町村
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	8市町村	10市町村	11市町村	13市町村	12市町村
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	14市町村	23市町村	28市町村	25市町村	26市町村
合計	32市町村	52市町村	63市町村	71市町村	76市町村
達成率	40.0%	65.0%	78.8%	88.8%	95.0%

事業名	26年度	27年度	28年度	目標
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	11市町村	9市町村	10市町村	
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	28市町村	25市町村	29市町村	
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	9市町村	6市町村	9市町村	
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	28市町村	35市町村	23市町村	
合計	76市町村	75市町村	71市町村	80市町村
達成率	95.0%	93.8%	88.8%	

○都市緑化推進事業の実施箇所数(累計)

事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	8箇所	18箇所	12箇所	14箇所	16箇所
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	39件	66件	103件	109件	123件
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	8箇所	14箇所	17箇所	22箇所	20箇所
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	25回	64回	110回	103回	112回

事業名	26年度	27年度	28年度	合計	事業計画	進捗率
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	14箇所	11箇所	13箇所	106箇所	124箇所	85.5%
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	106件	101件	129件	776件	1000件	77.6%
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	20箇所	8箇所	14箇所	123箇所	145箇所	84.8%
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	99回	141回	95回	749回	780回	96.0%

○都市緑化推進事業の事業内容別面積（延長）実績

事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	23,882 m ²	71,767 m ²	34,633 m ²	71,794 m ²	20,319 m ²
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	13,981 m ²	16,247 m ²	25,351 m ²	29,578 m ²	27,074 m ²
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	5,050m	10,617 m	6,759 m	11,296 m	9,790 m
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	21,622 m ²	31,755 m ²	52,447 m ²	39,733 m ²	76,584 m ²

事業名	26年度	27年度	28年度	合計
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	27,514 m ²	12,383 m ²	32,407 m ²	294,699 m ²
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	38,545 m ²	27,982 m ²	30,414 m ²	209,172 m ²
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	13,600 m	3,482 m	6,763 m	67,357 m
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	36,429 m ²	29,933 m ²	25,567 m ²	314,133 m ²

○都市緑化推進事業の事業内容別植栽本数実績

事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	29,567 本	24,169 本	15,618 本	31,108 本	30,109 本
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	7,624 本	18,667 本	26,348 本	38,002 本	57,974 本
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	2,357 本	4,949 本	22,307 本	15,196 本	7,828 本
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	54,329 本	24,661 本	34,014 本	12,170 本	47,274 本
合計	93,877 本	72,446 本	98,287 本	96,476 本	143,185 本

事業名	26年度	27年度	28年度	合計
身近な緑づくり事業(市町村交付金)	4,170 本	10,012 本	3,482 本	148,235 本
緑の街並み推進事業(民間への間接交付)	28,872 本	26,975 本	27,003 本	231,465 本
美しい並木道再生事業(市町村交付金)	10,763 本	1,367 本	2,229 本	66,996 本
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	16,915 本	16,398 本	9,793 本	215,554 本
合計	60,720 本	54,752 本	42,507 本	662,250 本

○参加人数実績

事業名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	5,969 人	13,750 人	19,279 人	19,002 人	24,808 人

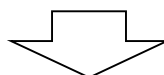
事業名	26年度	27年度	28年度	合計
県民参加緑づくり事業(市町村交付金)	20,629 人	37,959 人	20,400 人	161,796 人

○市町村における緑化に関する独自の取組の展開度

森と緑づくり事業以前(平成20年度末)

番号	市町村名	制度の種類									植樹祭回数	緑化講演会回数	その他緑化に関するイベント回数
		生垣化	敷地緑化	建物緑化	保存樹等	花壇等	税免除	苗木配付	緑化地域制度	都市緑化基金			
1	名古屋市	○	○	▲	○	○	○			○			
2	豊橋市							○		○			
3	岡崎市	○		○		○				○		1	1
4	一宮市							○					2
5	瀬戸市	○				○				○			
6	半田市	○			○			○					4
7	春日井市				○					○			
8	豊川市												
9	津島市												
10	碧南市	○			○	○				○			
11	刈谷市	○		○	○					○			
12	豊田市					○	○	○		○			
13	安城市	○								○			
14	西尾市				○					○			
15	蒲郡市												
16	犬山市												
17	常滑市							○		○			
18	江南市	○											
19	小牧市	▲		▲						▲			6
20	稲沢市	○			○								
21	新城市												
22	東海市	○			○								
23	大府市	○			○					○			
24	知多市	○			○	○				○			1
25	知立市	○											
26	尾張旭市	○			○					○			
27	高浜市	▲								▲			
28	岩倉市	▲											
29	豊明市												
30	日進市												
31	田原市	○			○			▲		○	1		6
32	愛西市												
33	清須市	▲											
34	北名古屋市												
35	弥富市												
36	みよし市				○								
37	あま市												
38	長久手市	○		○						○			1
39	東郷町												
40	豊山町												
41	大口町				○						1		
42	扶桑町				○								1
43	大治町												
44	蟹江町												
45	飛島村												
46	阿久比町												
47	東浦町				○								
48	南知多町												
49	美浜町	○											
50	武豊町	○											
51	幸田町												
小計		22	1	5	16	6	2	6	0	18	2	1	22
合計		76									25		

▲・・・H28年度までに廃止



森と緑づくり事業実施 8年後（平成28年度末）

番号	市町村名	制度の種類									植樹祭回数	緑化講演会回数	その他緑化に関するイベント回数	
		生垣化	敷地緑化	建物緑化	保存樹等	花壇等	税免除	苗木配付	緑化地域制度	都市緑化基金				新たなもの
1	名古屋市	○	○		○	○	○		●	○		7	14	33
2	豊橋市						○			○				6
3	岡崎市	○	●	○	●	○	●			○			1	12
4	一宮市	●	●	●			○							1
5	瀬戸市	○				○	●			○				1
6	半田市	○	●	●	○		○			●		1		3
7	春日井市		●		○					○		2	1	20
8	豊川市						●							2
9	津島市													
10	碧南市	○			○	○	●			○				1
11	刈谷市	○		○	○					○		1		
12	豊田市		●	●		○	○	●		○			1	1
13	安城市	○	●		●	●	●			○				2
14	西尾市				○		●			○				
15	蒲郡市	●	●	●			●							2
16	犬山市		●				●					3		1
17	常滑市						○			○				
18	江南市	○			●	●	●							2
19	小牧市					●	●							6
20	稲沢市	○			○									1
21	新城市				●	●	●	●				1	4	6
22	東海市	○	●	●	○	●								1
23	大府市	○	●	●	○	●	●			○		7		40
24	知多市	○			○	○	●			○			1	5
25	知立市	○					●						2	
26	尾張旭市	○			○	●	●			○				
27	高浜市						●							1
28	岩倉市				●		●							
29	豊明市						●							1
30	日進市													
31	田原市	○			○	●				○				5
32	愛西市													
33	清須市													
34	北名古屋市											1		1
35	弥富市	●	●	●								1		
36	みよし市	●			○	●				●				
37	あま市													
38	長久手市	○		○	●		●			○				3
39	東郷町						●					1		
40	豊山町						●							
41	大口町				○		●							
42	扶桑町	●		●	○		●							1
43	大治町													1
44	蟹江町													
45	飛鳥村													
46	阿久比町													
47	東浦町				○		●							
48	南知多町													
49	美浜町	○												
50	武豊町	○				●	●					1		5
51	幸田町						●					2		
小計		23	12	11	23	16	2	31	3	18	0	28	24	164
合計		139									216			

●・・・新規追加

○県民参加緑づくり事業の参加者を対象としたアンケート集計結果

◇問い：イベントに参加することで森や緑への関心が高まったか。(人)

区分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
人数	関心が高くなった。	1093	1198	2151	874	2232	3079	2132
	前と変わらない	269	371	931	442	708	1129	767
	関心が低くなった	5	19	29	12	8	18	12
	わからない	76	85	357	135	184	298	216
比率	関心が高くなった。	76%	72%	62%	59%	82%	68%	67%
	前と変わらない	19%	22%	27%	30%	26%	25%	24%
	関心が低くなった	0%	1%	1%	1%	0%	0%	0%
	わからない	5%	5%	10%	9%	7%	7%	7%

◇問い：今後、森や緑に関する活動に参加したいと思うか。(人)

区分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
人数	ぜひ参加したい	531	552	830	396	899	1517	1272
	できれば参加したい	718	916	1988	782	1617	2452	1409
	あまり参加したくない	32	49	140	99	72	139	85
	参加したくない	12	14	43	31	38	62	73
	わからない	131	142	467	155	267	362	294
比率	ぜひ参加したい	37%	33%	24%	27%	33%	33%	40%
	できれば参加したい	50%	55%	57%	53%	60%	54%	45%
	あまり参加したくない	2%	3%	4%	7%	3%	3%	3%
	参加したくない	1%	1%	1%	2%	1%	1%	2%
	わからない	9%	8%	13%	11%	10%	8%	9%

(4) 環境活動・学習推進事業関係

○市町村別事業実施箇所 ※29年度は見込み

【環境活動・学習推進事業】

(単位:件)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
名古屋市	7	10	9	9	11	12	9	10	14	91
千種区	1	2	-	-	2	2	1	1		9
東区	-	1	1	-	-	-	-	-		2
北区	-	-	-	1	-	1	1	1	1	5
西区	-	1	-	-	1	-	-	1		3
中村区	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2
中区	1	2	2	1	-	1	-	-	1	8
昭和区									1	1
瑞穂区	-	-	1	1	-	-	1	2		5
熱田区	2	2	1	-	-	-	1	-		6
港区	1	1	1	2	2	1	1	1	2	12
南区	-	-	-	-	3	1	1	1	3	9
守山区	2	-	1	4	3	4	3	3	5	25
緑区	-	1	1	-	-	-	-	-		2
天白区	-	-	-	-	-	2	-	-		2
豊橋市	1	2	3	2	2	4	3	4	5	26
岡崎市	3	4	5	5	7	5	6	5	4	44
一宮市	2	2	1	1	1	1	1	1	2	12
瀬戸市	4	4	5	5	4	3	3	3	2	33
半田市	1	1	3	2	3	3	4	3	4	24
春日井市	2	5	5	5	2	4	4	5	4	36
豊川市	1	1	1	1	1	2	3	2	1	13
碧南市	-	-	2	1	-	1	1	1	2	8
刈谷市	1	-	1	-	1	2	3	3	5	16
豊田市	4	7	11	7	7	6	7	5	7	61
安城市	-	-	-	1	1	-	2	3	3	10
西尾市	1	1	2	4	5	4	4	4	4	29
(一色町)	-	1	-	-	-	-	-	-		1
(幡豆町)	-	1	-	-	-	-	-	-		1
蒲郡市	-	1	1	2	1	3	2	1	2	13
犬山市	3	4	3	3	1	2	2	2	3	23
常滑市	-	1	-	1	-	1	1	-		4
江南市	1	1	-	-	1	1	1	-		5
小牧市	1	3	2	2	2	3	3	3	4	23
稲沢市	-	-	1	1	1	1	2	2	3	11
新城市	4	5	7	10	12	8	9	7	10	72
東海市	-	-	-	-	2	2	1	-	2	7
大府市	1	1	1	2	1	1	1	1	1	10
知多市	-	1	1	4	3	5	4	6	3	27
尾張旭市	1	2	1	1	1	1	1	2	2	12
岩倉市	-	1	-	-	-	-	1	-		2
豊明市	-	1	1	1	1	1	2	2	2	11
日進市	1	2	1	-	3	3	2	2	2	16
田原市	-	2	2	2	2	2	2	2	2	16
愛西市	-	1	-	-	-	-	1	-		2
清須市	-	2	3	1	1	1	-	-		8
北名古屋市	1	1	1	-	1	1	1	1	1	8
弥富市	-	1	-	-	-	-	-	-		1
みよし市	-	1	1	1	1	1	1	2	2	10
長久手市	1	1	3	5	2	2	2	1	3	20
東郷町	-	3	3	1	-	-	-	-		7
豊山町	-	1	-	-	-	1	-	-		2
扶桑町	1	1	-	-	-	-	-	-		2
蟹江町	-	1	-	-	-	-	-	-		1
阿久比町	-	1	3	2	2	2	1	1	1	13
東浦町	-	1	2	1	1	1	2	1		9
南知多町	-	-	1	-	-	-	3	2	2	8
美浜町	1	1	1	2	1	-	1	2	1	10
武豊町	-	-	1	1	1	1	-	-		4
幸田町	-	1	1	1	2	1	1	1	1	9
設楽町	1	3	5	7	4	3	3	6	2	34
東栄町	1	1	-	1	2	2	2	2	2	13
豊根村	-	2	-	-	1	-	-	-		3
計	45	87	94	95	95	97	102	98	108	821

【生態系ネットワーク形成事業】

(単位:件)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
県内						8	6	7	7	28

○環境活動・学習推進事業交付金交付事業数の実績 ※29年度は見込み

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
交付金交付事業数	45件	87件	94件	95件	95件
累計	45件	132件	226件	321件	416件

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	事業計画	進捗率
交付金交付事業数	105件	108件	105件	115件	900件	94.3%
累計	521件	629件	734件	849件		

○環境活動・学習推進事業応募事業数の状況

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
応募事業数	78件	97件	100件	104件	106件	127件	119件	123件

○環境活動・学習推進事業応募及び交付の状況(事業区分別) ※29年度は見込み

事業区分(メニュー)別	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度			
	応募	交付	応募	交付	応募	交付	応募	交付	応募	交付		
①森・緑の育成活動事業	24	11	24	20	23	22	25	24	20	19		
②森・緑の育成活動の取組立上げ	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0		
③水と緑の恵み体感事業	12	9	20	17	16	16	18	18	20	19		
④森林文化の体験・学習事業	3	2	1	1	2	2	3	3	3	3		
⑤森林生態系保全の学習事業	19	6	4	4	8	8	8	8	9	9		
⑥太陽・自然の恵み学習事業	12	11	18	17	15	15	16	16	15	15		
⑦独自提案による環境活動・学習	7	5	28	26	36	31	34	26	39	30		
計	事業数		78	45	97	87	100	94	104	95	106	95
	団体数 ^{※1}		78	45	93	83	97	92	102	94	103	92

事業区分(メニュー)別	26年度		27年度		28年度		29年度		合計			
	応募	交付	応募	交付	応募	交付	応募	交付	応募	交付		
①森・緑の育成活動事業	26	22	26	24	29	26	35	27	232	195		
②森・緑の育成活動の取組立上げ	0	0	1	1	1	0	2	1	7	5		
③水と緑の恵み体感事業	25	23	24	23	22	17	18	15	175	157		
④森林文化の体験・学習事業	1	1	1	1	1	0	1	1	16	14		
⑤森林生態系保全の学習事業	8	5	12	10	15	10	14	9	97	69		
⑥太陽・自然の恵み学習事業	15	15	15	15	16	16	18	18	140	138		
⑦独自提案による環境活動・学習	44	31	34	28	32	29	43	37	297	243		
計	事業数		119	97	113	102	116	98	131	108	964	821
	団体数 ^{※1}		118	96	110	99	112	95	127	107	940	803

※1:複数の区分の事業を実施する団体があるため、事業数と団体数は一致しない。

○生態系ネットワーク形成事業応募及び交付の状況(事業区分別) ※29年度は見込み

事業区分(メニュー)別	26年度		27年度		28年度		29年度		合計		
	応募	交付	応募	交付	応募	交付	応募	交付	応募	交付	
1 ビオトープ創出事業	2	2	1	1	2	2	3	3	8	8	
2 ビオトープ維持・向上事業	2	2	1	1	1	1	1	1	5	5	
3 調査事業	4	4	4	4	4	4	3	3	15	15	
計	事業数		8	8	6	6	7	7	7	28	28
	団体数 ^{※1}		5	5	4	4	5	5	6	6	20

※1:複数の区分の事業を実施する団体があるため、事業数と団体数は一致しない。

○環境活動・学習推進事業交付対象事業の詳細

区分	名称	事業内容の例
環境保全活動	①森・緑の育成活動事業	間伐・除伐・下草刈り、植樹、森林バイオマス(薪炭、堆肥など)の利用、野生動植物の保護及びその生息生育空間の保全、技術指導・指導者養成等
	②森・緑の育成活動の取組立ち上げ事業	里山整備計画作成、保全活動協定締結 等
環境学習	③水と緑の恵み体感事業	水源の緑を訪ねる現地見学や生活体験を通して水と緑の恵みを学ぶエコツアー、森林と河川・里海との水循環について学ぶ環境学習教室 等
	④森林文化の体験・学習事業	森林保全等で活動している河川上流域の NPO 等が培ってきた文化等を生かした学習メニューに基づく環境学習講座 等
	⑤森林生態系保全の学習事業	体験型環境学習(森林作業体験、間伐材の利活用、自然観察会、工作教室など)、森林生態系の保全に関する講座 等
緑の教室	⑥太陽・自然の恵み学習事業	緑のカーテンなど植物(緑化)の生育実習と環境学習講座の実施 等
独自提案	⑦独自提案による環境保全活動・環境学習事業	①～⑥に該当しない、創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した環境保全活動・環境学習事業

○生態系ネットワーク形成事業交付金 交付対象事業の詳細

交付対象事業	事業内容
1 ビオトープ創出事業	水辺や樹林地など生物の生息生育空間を新たに創出し、地域の生態系ネットワーク形成を進める事業
2 ビオトープ維持・向上事業	すでにある生物の生息生育空間を整備し、質の維持・向上を図る活動により、地域の生態系ネットワーク形成を進める事業
3 調査事業	上記1、2の実施にかかる生態系ネットワーク形成のための調査

○環境活動・学習推進事業の参加者を対象としたアンケート集計結果

◇問い:取組に参加することにより森や緑の重要性に対する理解が深まったか。

区分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
人数	大変深まった	980	5,236	6,922	5,177	6,386	5,834	6,771	8,063	45,369
	少し深まった	376	2,471	2,471	2,650	3,998	4,652	4,485	4,187	25,290
	あまり深まらなかった	86	600	206	330	722	853	728	620	4,145
	無回答	0	55	173	21	114	57	196	125	741
比率	大変深まった	68%	63%	71%	63%	57%	51%	55%	62%	60%
	少し深まった	26%	30%	25%	32%	36%	41%	37%	32%	33%
	あまり深まらなかった	6%	7%	2%	4%	6%	8%	6%	5%	6%
	無回答	0%	1%	2%	0%	1%	1%	2%	1%	1%

◇問い:今後も同様の取組に参加したいと思うか。

区分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
人数	参加したい	1,349	7,552	8,884	7,583	10,163	10,328	11,281	12,216	69,356
	参加したくない	93	677	717	550	704	829	733	714	5,017
	無回答	0	133	171	45	353	239	166	65	1,172
比率	参加したい	94%	90%	91%	93%	91%	91%	93%	94%	92%
	参加したくない	6%	8%	7%	7%	6%	7%	6%	5%	7%
	無回答	0%	2%	2%	1%	3%	2%	1%	1%	1%

(5) 森林整備技術者養成事業関係

○森林整備技術者養成研修の受講者数等

(単位:人)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計	事業計画	進捗率
研修受講者	30	46	48	39	22	17	23	17	20	262		
(実人数)	(30)	(46)	(42)	(29)	(17)	(15)	(21)	(12)	(15)	(227)	200	114%
研修修了者	30	46	48	39	22	14	21	16	20	256		

○人工林整備事業の従事内訳

(単位:者)

分類	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
森林組合	8	7	7	8	8	7	7	7	7
建設業(土木他)	5	5	5	5	6	7	7	7	10
建設業(造園他)	0	0	1	1	1	1	2	1	1
木材業	1	1	3	2	3	3	3	4	3
合計	14	13	16	16	18	18	19	19	21

○森林整備工事競争入札参加資格者数の推移

(単位:者)

分類	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
森林組合	8	8	8	8	8	8	7	7	7
建設業(土木他)	17	19	21	21	18	18	19	18	19
建設業(造園)	12	12	16	20	21	21	16	18	19
木材業	6	7	8	9	11	11	10	10	9
合計	43	46	53	58	58	58	52	53	54

(6)木の香る学校づくり推進事業関係

○市町村別事業実学校数 ※29年度は見込み

(単位:校)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計
名古屋市	2		4		2	2	2	4	6	22
中村区	2		1						1	4
守山区			1		1	2		4	3	11
名東区			1						1	2
天白区			1		1				1	3
豊橋市	63	8	13	10	16	24	38	13	8	193
岡崎市			1	46	66	47	37	30	32	259
春日井市					41	45	38	13	36	173
豊川市						1		1	2	4
津島市						8	12	8	10	38
刈谷市								2	1	3
豊田市	10		79	56	63	29	38	64	59	398
西尾市					4					4
蒲郡市					1					1
犬山市					14	10	14	12	12	62
常滑市				13	13	13		13	1	53
新城市		3	7	7	7	8	7	7	6	52
東海市							1	2	3	6
大府市			1					2	2	5
尾張旭市			3	6	3	3	7	9	10	41
豊明市						2				2
日進市				2	1		9	9	9	30
田原市					1					1
愛西市			11	14						25
弥富市				1						1
みよし市			11	10	8	3	2	2	2	38
長久手市				8		7	5	8	7	35
蟹江町									1	1
飛島村	1									1
南知多町					6					6
美浜町							8	8	8	24
幸田町		3			5	3				11
東栄町	1				1	1	1	2	2	8
豊根村		1	2	1	2	2	1	2	2	13
計	77	15	132	174	254	208	218	211	219	1,508

○導入内容別事業実績 ※29年度は見込み

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	計	事業計画	進捗率	
机・椅子	セット	1,290	1,045	9,768	9,196	15,853	11,805	11,243	10,557	10,294	81,051	70,000	116%
机	台		125	1,589	1,595	542	402	206	55	1,759	6,273		
椅子	台			70	271	299	50	58	64	2	814		
天板取替	台				1,280		40	44	217	1,581			
下駄箱等	台 ㎡				745 (368)	124	282	319	368	1,838 (368)	1,640	112%	

()は腰壁及び床板

(7) 愛知県産木材利活用推進事業関係

○市町村別事業実績 ※29年度は見込み

(単位:件)

区分	間伐材搬出					木製ベンチ導入					合計	事業計画 (※1)	進捗率 (※2)
	26年度	27年度	28年度	29年度	小計	26年度	27年度	28年度	29年度	小計			
豊橋市						2	1	2	1	6	6		
岡崎市		1	1	1	3						3		
安城市							1			1	1		
西尾市	1				1				1	1	2		
常滑市							1	1	1	3	3		
稲沢市						1	1			2	2		
新城市		1	1	1	3		2	1	2	5	8		
尾張旭市						1				1	1		
田原市						1		2	2	5	5		
みよし市								1		1	1		
大口町							1	1	1	3	3		
大治町									1	1	1		
蟹江町						1				1	1		
設楽町	1	1	1		3	2				2	5		
東栄町	2	1	2	2	7						7		
豊根村	2	2	1	1	6		2	2	3	7	13		
計	6	6	6	5	23	8	9	10	12	39	62	80	78%

※1: 26～30年度の5か年間の計画

※2: 5か年間で4か年の進捗率

○愛知県産木材利活用推進事業による間伐材の搬出量

市町村	26年度	27年度	28年度	合計
岡崎市	-	913m ³	372m ³	1,285m ³
西尾市	40m ³	-	-	40m ³
設楽町	10,476m ³	6,293m ³	6,584m ³	23,353m ³
東栄町	320m ³	28m ³	537m ³	885m ³
	190t	221t	88t	499t
豊根村	3,337m ³	4,151m ³	4,717m ³	12,205m ³
新城市	-	101t	136t	237t
合計	14,173m ³	11,385m ³	12,210m ³	37,768m ³
	190t	322t	224t	736t

○愛知県産木材利活用推進事業によるベンチの導入数 ※29年度は見込み

(基)

導入施設 (区分)	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
市役所(町村役場)	4	5	1	7	17
公民館	5	-	22	13	40
図書館	21		2	6	29
体育館(運動施設)	4	43	88	12	147
多目的ホール	10	5	-	58	73
福祉施設	10	99	109	130	348
病院	-	-	-	-	-
バス停	2	1	-	-	3
合計	56	153	222	226	657

(8) 事業PR関係

○メディア別PR状況

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
テレビ	2回	1回	—	1回	2回	3回	4回	2回
ラジオ	1回	—	—	—	1回	1回	1回	—
広報あいち	3回	—	1回	—	1回	1回	—	—
新聞・雑誌	8回	21回	11回	17回	14回	21回	10回	10回
イベント等	76回	26回	38回	53回	44回	58回	93回	108回
体感ツアー	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
自動車納税通知	—	210万通	210万通	210万通	210万通	228万通	269万通	277万通
法人県民税チラシ	—	21万通	—	—	—	20万通	—	—
個人県民税納税通知	379万通	367万通	366万通	364万通	364万通	370万通	373万通	377万通
県税の手引き等	3万部	3万部	3万部	2万部	2万部	2万部	2万部	2万部
Web マガジン	1回	—	1回	1回	—	—	—	—

○事例報告配布状況

(単位:千部)

区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県庁及び出先事務所	37	20	27	23	22	24	25	24	20
コンビニエンスストア	99	102	77	77	82	68	74	51	16
合計	136	122	105	100	104	92	99	76	36

○ポスター配布状況

(単位:部)

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
県庁及び出先事務所	4,700	1,040	100	0	0	0
コンビニエンスストア	—	1,460	1,100	1,700	1,075	1,480
合計	4,700	2,500	1,200	1,700	1,075	1,480
累計	4,700	7,200	8,400	10,100	11,175	12,655

区分	26年度	27年度	28年度	29年度
県庁及び出先事務所	0	125	520	30
コンビニエンスストア	2,360	1,455	2,470	3,920
合計	2,360	1,580	2,990	3,950
累計	15,015	16,595	19,585	23,535

※コンビニエンスストアは、県が包括協定を締結している以下の4社。

(単位:店舗)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ファミリーマート	442	428	503	—	432	617	616	1,338
サークル K サンクス	1,039	1,061	1,064	—	1,199	—	1,280	320
ローソン	365	365	405	406	—	476	549	600
セブン イレブン	600	600	650	650	650	917	1,030	1,050
合計	2,446	2,454	2,622	1,056	2,281	2,003	3,475	3,308

3 あいち森と緑づくり事業アンケート結果 (1) 県民アンケート

1 調査の概要

(1) 調査の目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、県内の一般県民の税・事業に対する認知度・理解度等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) 調査の項目

- ① 森と緑の働きについて
- ② 「あいち森と緑づくり税」について
- ③ 人工林整備事業について
- ④ 里山林整備事業について
- ⑤ 都市緑化推進事業について
- ⑥ 環境活動・学習事業について
- ⑦ 普及啓発事業について
- ⑧ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県
- ② 調査対象 県内居住の18歳以上の男女
- ③ 標本数 3,000人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 平成29年7月19日～8月2日

(4) 調査委託先

合同会社KURIO

(5) 回収結果

- ① 標本数 3,000人
- ② 回収数 1,107人 (36.9%)

2 調査対象者の属性

【性別】

総数	男性	女性	無回答
1,107人	475人	614人	18人
100.0%	42.9%	55.5%	1.6%

【年齢】

20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
13人	80人	105人	197人	185人	126人	385人	16人
1.2%	7.2%	9.5%	17.8%	16.7%	11.4%	34.8%	1.4%

【居住地域】

名古屋地域	尾張・海部地域	知多地域	西三河地域	豊田加茂地域	新城設楽地域	東三河地域	無回答
323人	312人	92人	179人	68人	10人	101人	22人
29.2%	28.2%	8.3%	16.2%	6.1%	0.9%	9.1%	2.0%

【職業】

自営業	農林漁業	20人	1.8%
	商工サービス業	45人	4.1%
	自由業	42人	3.8%
勤め人	管理職	62人	5.6%
	専門技術職	177人	16.0%
	事務職	120人	10.8%
	労務職	124人	11.2%
無職	家事専業	243人	22.0%
	学生	25人	2.3%
	その他	212人	19.2%
無回答		37人	3.3%

3 サンプルデザイン

- (1) 母集団 愛知県内に居住する18歳以上の男女
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 150
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

ア 層化

愛知県内の市町村を、市(名古屋市は区)及び郡を単位として、16の調査地区にグループ化した(調査地区区分図のとおり)。さらに、各調査地区を名古屋市、その他の市と郡部(町村)の3つに分類し、それぞれを層とした。

イ 標本数の配分

各層に、その推定母集団数(平成27年10月1日現在の人口)の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

ウ 抽出の方法

- (ア) 第1次抽出単位となる調査地点として、平成27年国勢調査時に設定された調査区を使用した。
- (イ) 各層における調査地点については、1次調査地点の標本数が20となるように算出し各層内での調査地点が1地点の場合は単純無作為抽出法により抽出、2地点以上となる場合は、「層における調査地区数の合計」÷「層で抽出された調査地点数」=「抽出間隔」を算出し、等間隔抽出法により抽出した。
- (ウ) 各調査地点における対象者の抽出は、選挙人名簿により等間隔抽出法で抽出した。

調査地区区分図



地域	地区番号	地区名称(市(区)、郡)	備考(集計区分)
名古屋地域	1	名古屋市東部地区(千種区・東区・守山区・名東区)	名古屋
	2	名古屋市南東部地区(昭和区・瑞穂区・緑区・天白区)	
	3	名古屋市北西部地区(北区・西区・中川区・中区)	
	4	名古屋市南西部地区(熱田区・中川区・港区・南区)	
尾張地域	5	海部津島地区(津島市・愛西市・弥富市・あま市・海部郡)	尾張・海部
	6	一宮地区(一宮市・稲沢市)	
	7	大山江南地区(大山市・江南市・岩倉市・丹羽郡)	
	8	春日井小牧地区(春日井市・小牧市・瀬戸市・北名古屋市・西春日井郡)	
	9	尾張東部地区(瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・長久手市・愛知郡)	
西三河地域	10	知多地区(半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・知多郡)	知多
	11	豊田加茂地区(豊田市・みよし市)	豊田加茂
	12	岡崎額田地区(岡崎市・額田郡)	西三河
東三河地域	13	衣浦東部幡豆地区(碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市)	新城設楽 東三河
	14	東三河山間地区(新城市・北設楽郡)	
	15	蒲郡豊川地区(豊川市・蒲郡市)	
	16	豊橋地区(豊橋市・田原市)	

調査地区別標本・調査地点数一覧

	名古屋市	その他の市	郡部(町村)	計	
名古屋市東部地区	476,455			476,455	
	220			240	
	12			12	
	240			240	
	12			12	
名古屋市南東部地区	502,932			502,932	
	240			240	
名古屋市北西部地区	453,798			453,798	
	220			220	
名古屋市南西部地区	474,912			474,912	
	220			240	
	12			12	
海部津島地区	208,544	58,504		267,048	
	100	40		140	
	5	2		7	
	419,423			419,423	
	220			200	
	10			10	
	大山江南地区	179,783	45,645		225,428
		100	40		120
	春日井小牧地区	491,015	12,091		503,106
		240	0		240
尾張東部地区	339,750	33,417		373,167	
	180	20		180	
知多地区	368,216	130,843		499,059	
	180	100		240	
	9	3		12	
豊田加茂地区	386,247			386,247	
	180			200	
	10			10	
岡崎額田地区	305,199	30,981		336,180	
	140	20		160	
次濃東部糠豆地区	550,452			550,452	
	240			280	
	14			14	
東三河山間地区	39,400	8,611		48,011	
	20	0		20	
蒲郡豊川地区	213,351			213,351	
	120			100	
豊橋地区	353,986			353,986	
	160			180	
	9			9	
計	1,908,097	3,855,366	320,092	6,083,555	
	940	1,900	160	3,000	
	47	95	8	150	

上段：推定母集団
中段：標本数
下段：調査地点数

調査地点一覧

調査地区	調査地点	対数
名古屋市東部地区	緑地通4丁目	20
	竹輪2丁目	20
	日和町3丁目	20
	白壁1丁目	20
	明倫町	20
	大森1丁目	20
	元郷2丁目	20
	番代2丁目	20
	琴松園2丁目	20
	海蔵2丁目	20
名古屋市南東部地区	高針4丁目	20
	牧の原1丁目	20
	川名山町	20
	藤松園2丁目	20
	片坂町3丁目	20
	広路通3丁目	20
	片坂町3丁目	20
	中山町1丁目	20
	旭出1丁目	20
	藤の風3丁目	20
名古屋市北西部地区	徳重3丁目	20
	有松町	20
	藤原町	20
	榑田西1丁目	20
	中平	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
名古屋市南西部地区	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
名古屋市東部地区	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
	西川町2丁目	20
	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	名古屋市南東部地区	榑田東
大杉2丁目		20
神明町		20
福徳町7丁目		20
江向町		20
横西4丁目		20
比良		20
大宮町1丁目		20
本郷通4丁目		20
二ツ橋町		20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
名古屋市北西部地区	三の丸1丁目	20
	松原2丁目	20
	尾張町	20
	一色新町	20
	五月月通	20
	中郷1丁目	20
	八郷町1丁目	20
	氷室1丁目	20
	湯島町	20
	正徳町1丁目	20
西川町2丁目	20	
名古屋市南西部地区	鶴巻町5丁目	20
	天白町1丁目	20
	松崎町1丁目	20
	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
名古屋市東部地区	大杉2丁目	20
	神明町	20
	福徳町7丁目	20
	江向町	20
	横西4丁目	20
	比良	20
	大宮町1丁目	20
	本郷通4丁目	20
	二ツ橋町	20
	三の丸1丁目	20
名古屋市南東部地区	榑田東	20
	大杉2丁目	20
	神明町	20

【標本誤差早見表（主なもの）】

単位%

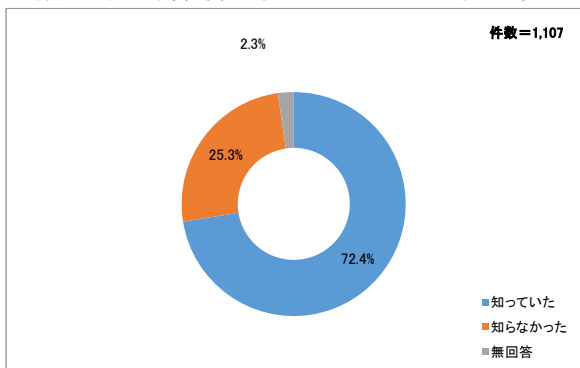
	N 回答者数 (人)	P回答率 (%)									
		5又は	10又は	15又は	20又は	25又は	30又は	35又は	40又は	45又は	50
		95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
総数	1107	1.9	2.6	3.0	3.4	3.7	3.9	4.1	4.2	4.2	4.3
性別	男性	475	2.8	3.9	4.6	5.2	5.6	5.9	6.2	6.4	6.5
	女性	614	2.5	3.4	4.1	4.6	4.9	5.2	5.4	5.6	5.7
年齢別	20歳未満	13	17.1	23.5	28.0	31.4	34.0	35.9	37.4	38.4	39.0
	20歳～29歳	80	6.9	9.5	11.3	12.6	13.7	14.5	15.1	15.5	15.8
	30歳～39歳	105	6.0	8.3	9.9	11.0	12.0	12.6	13.2	13.5	13.7
	40歳～49歳	197	4.4	6.0	7.2	8.1	8.7	9.2	9.6	9.9	10.0
	50歳～59歳	185	4.5	6.2	7.4	8.3	9.0	9.5	9.9	10.2	10.3
	60歳～64歳	126	5.5	7.6	9.0	10.1	10.9	11.5	12.0	12.3	12.5
	65歳以上	385	3.1	4.3	5.1	5.8	6.2	6.6	6.9	7.1	7.2
地域別	名古屋地域	323	3.4	4.7	5.6	6.3	6.8	7.2	7.5	7.7	7.9
	尾張・海部地域	312	3.5	4.8	5.7	6.4	6.9	7.3	7.6	7.8	8.0
	知多地域	92	6.4	8.8	10.5	11.8	12.8	13.5	14.1	14.4	14.7
	西三河地域	179	4.6	6.3	7.5	8.5	9.2	9.7	10.1	10.4	10.6
	豊田加茂地域	68	7.5	10.3	12.2	13.7	14.9	15.7	16.4	16.8	17.1
	新城設楽地域	10	19.5	26.8	31.9	35.8	38.7	41.0	42.7	43.8	44.5
	東三河地域	101	6.1	8.4	10.0	11.3	12.2	12.9	13.4	13.8	14.0
職業別	自営業	107	6.0	8.2	9.8	10.9	11.8	12.5	13.0	13.4	13.6
	勤め人	483	2.8	3.9	4.6	5.1	5.6	5.9	6.1	6.3	6.4
	無 職	480	2.8	3.9	4.6	5.2	5.6	5.9	6.2	6.3	6.4

調査結果

I 森と緑の動きについて

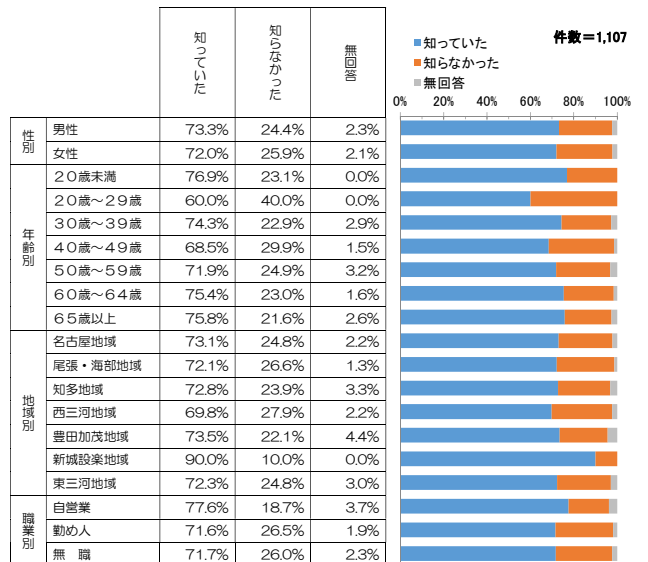
(1) 森と緑の公益的機能の認知度

問1 森と緑は、環境の保全や災害の防止など様々な公益的機能により、私たちの暮らしを支えてくれています。あなたは、このことについて知っていましたか。



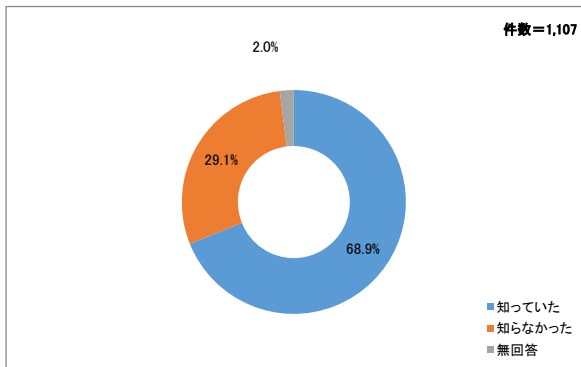
森と緑の公益的機能について、「知っている」と答えた人の割合が72.4%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は25.3%となっている。

森と緑の公益的機能の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



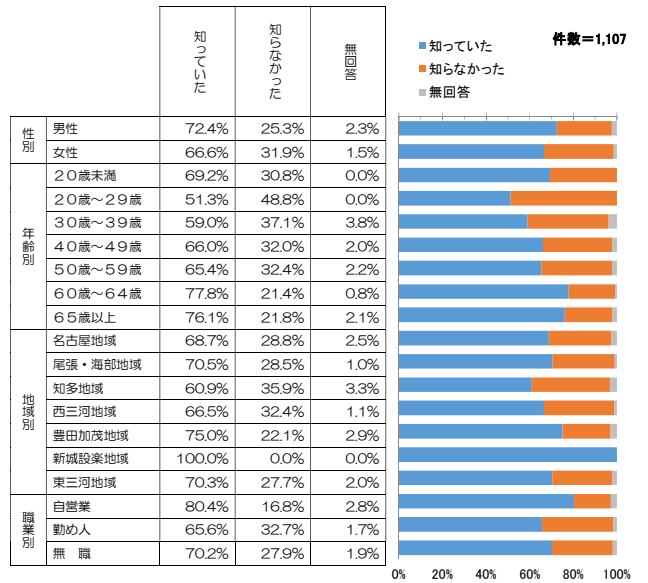
(2) 森と緑の公益的機能の低下に対する意識

問2 近年、木材価格の低迷により、森林所有者による人工林の手入れが不足したり、開発等により都市の緑が減少するなど、森と緑の持つ様々な公益的機能がだんだん低下していき、心配されています。あなたは、このことを知っていましたか。



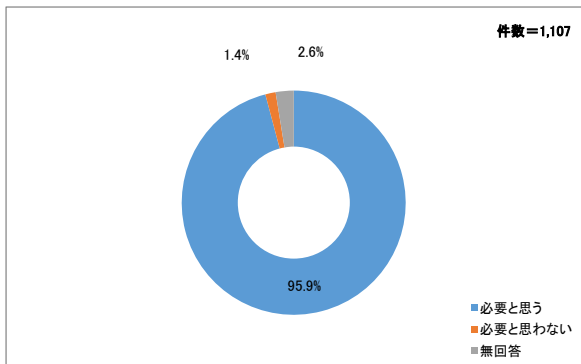
森や緑の公益的機能の低下について、「知っていた」と答えた人の割合が68.9%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は29.1%となっている。

森と緑の公益的機能の低下に対する意識（性別、年齢別、地域別、職業別）



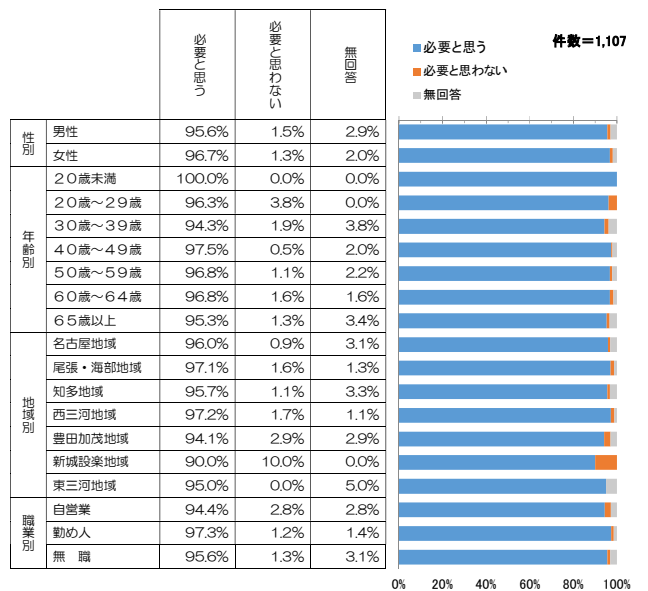
(3) 健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性

問3 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。



健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性について、「必要と思う」と答えた人の割合が95.9%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた人の割合は1.4%となっている。

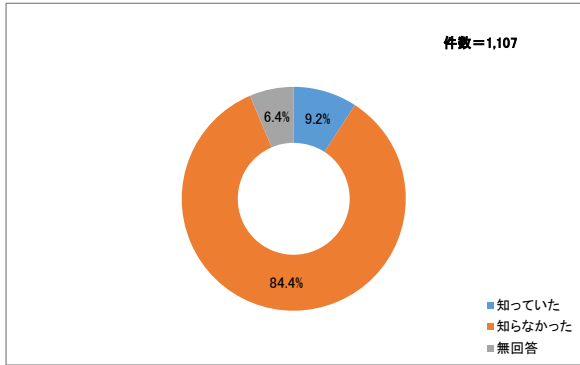
健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性（性別、年齢別、地域別、職業別）



II 「あいち森と緑づくり税」について

(1) 「あいち森と緑づくり税」の認知度

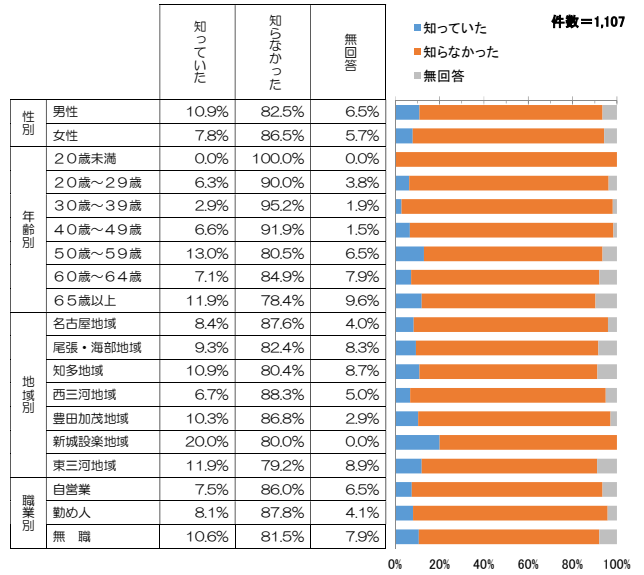
問1 このアンケート調査の前に「あいち森と緑づくり税」のことを知っていましたか。



「あいち森と緑づくり税」について、「知っていた」と答えた人の割合が9.2%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は84.4%となっている。

17

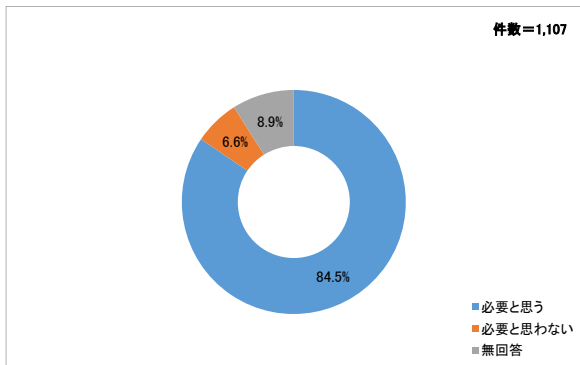
「あいち森と緑づくり税」の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



18

(2) 「あいち森と緑づくり事業」の取組の必要性

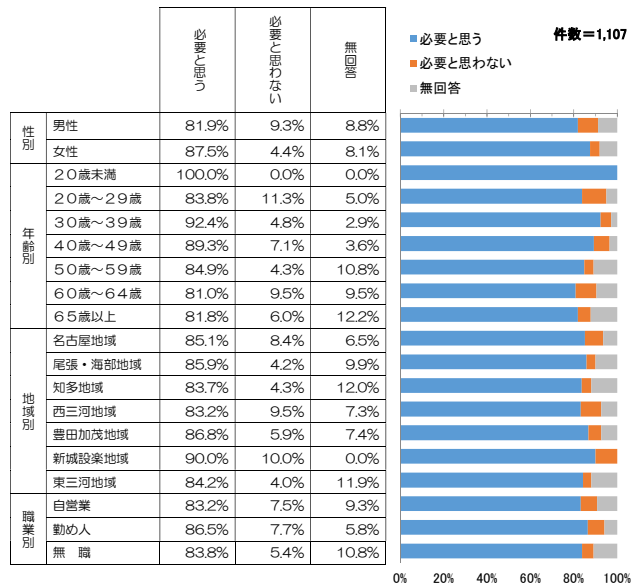
問2 「あいち森と緑づくり税」を使った人工林の間伐や都市緑化などの森と緑を守り育てる取組を必要と思いますか。



「あいち森と緑づくり事業」の取組の必要性について、「必要と思う」と答えた人の割合が84.5%であったのに対し、「必要と思わない」と答えた人の割合は6.6%となっている。

19

「あいち森と緑づくり事業」の取組の必要性（性別、年齢別、地域別、職業別）

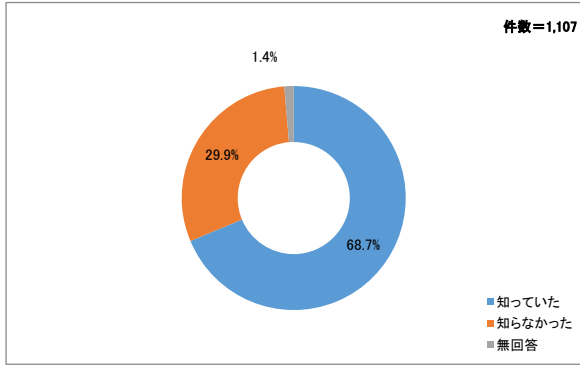


20

Ⅲ 人工林整備事業について

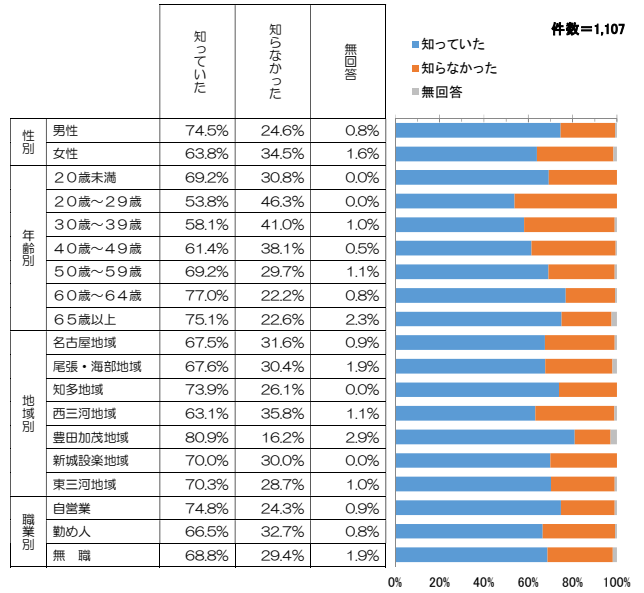
(1) 人工林の間伐と公益的機能について

問1 間伐は、森林（人工林）の公益的機能を高めることを知っていましたか。



人工林の間伐と公益的機能について、「知っていた」と答えた人の割合が68.7%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は29.9%となっている。

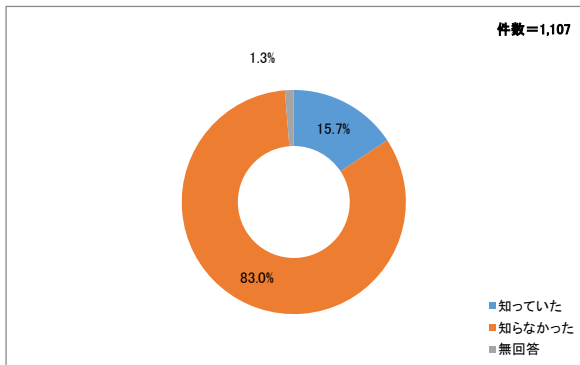
人工林の間伐と公益的機能について（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

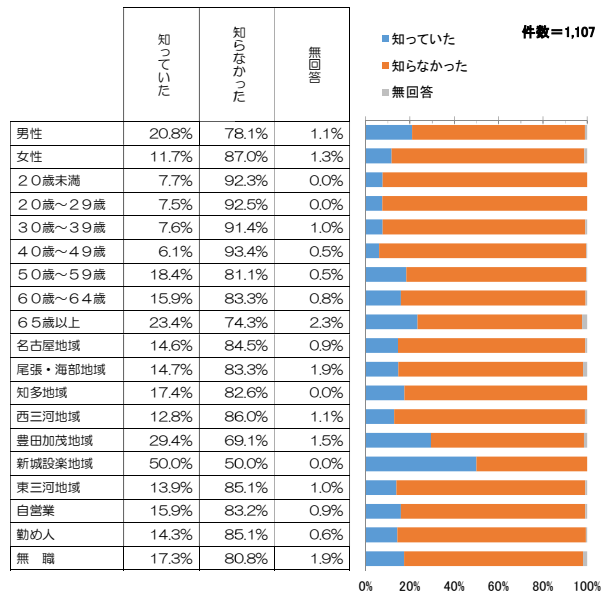
(2) 人工林整備事業の認知度

問2 あいち森と緑づくり事業で、県内の手入れの遅れた人工林の間伐していることを知っていますか。



人工林整備事業について、「知っていた」と答えた人の割合が15.7%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は83.0%となっている。

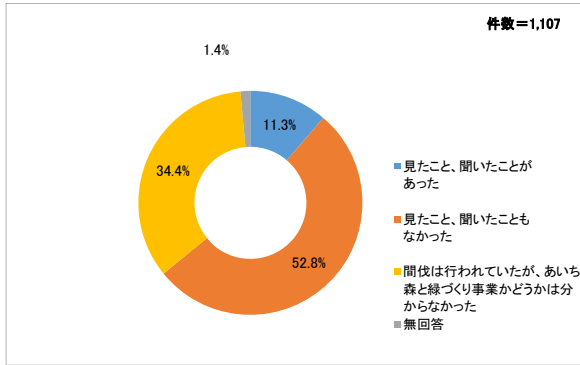
人工林整備事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

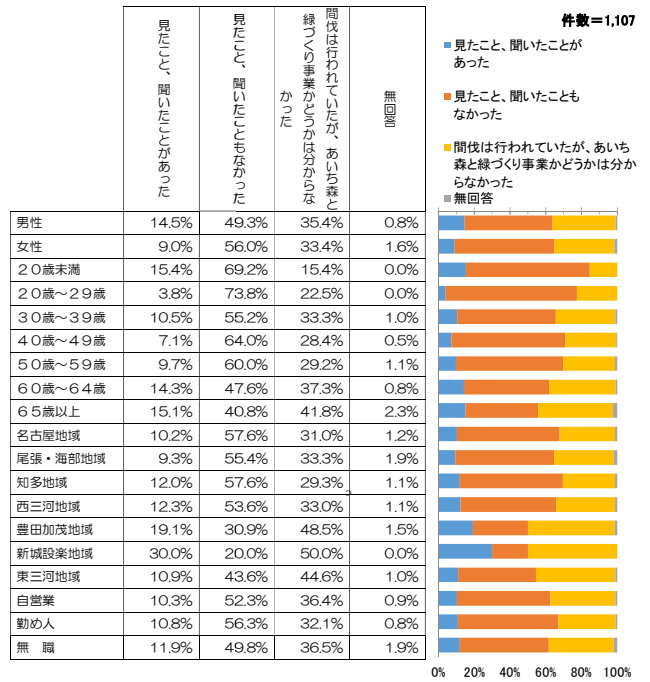
(3) 「あいち森と緑づくり事業」による間伐の認知度

問3 あいち森と緑づくり事業による人工林の間伐を、見たこと、聞いたことがありましたか。



あいち森と緑づくり事業による間伐について、「見たことも聞いたこともなかった」と答えた人の割合が52.8%と最も高く、続いて「間伐は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった」(34.4%)、「見たこと、聞いたことがあった」(11.3%)の順になっている。

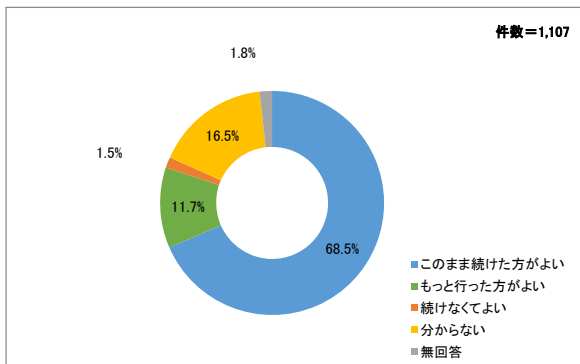
「あいち森と緑づくり事業」による間伐の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

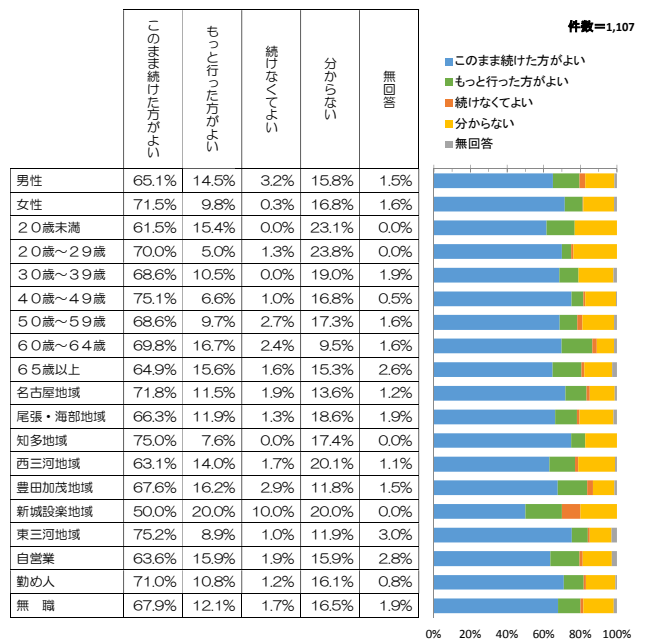
(4) 人工林整備事業の継続について

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も人工林の間伐を続けた方がよいと思いますか。



人工林整備事業の継続について、「このまま続けた方がよい」(68.5%)と「もっと行った方がよい」(11.7%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が80.2%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.5%となっている。

人工林整備事業の継続について（性別、年齢別、地域別、職業別）

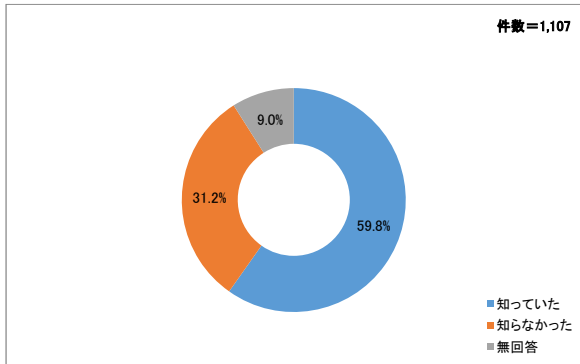


0% 20% 40% 60% 80% 100%

IV 里山林整備事業について

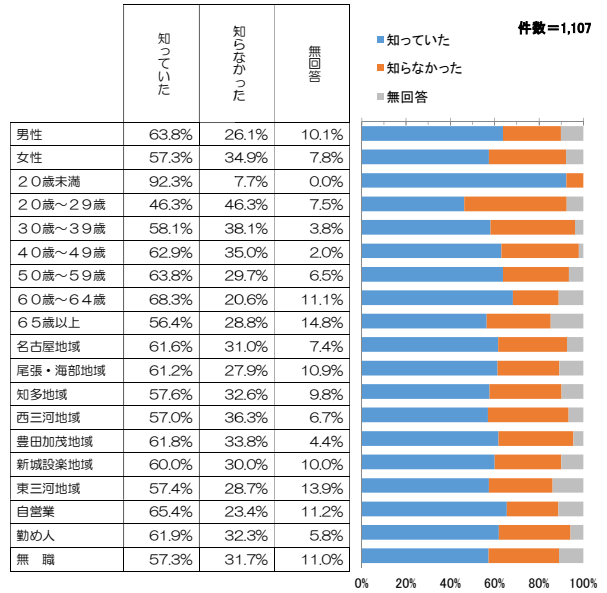
(1) 里山林整備による公益的機能回復の必要性の認知度

問1 生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。



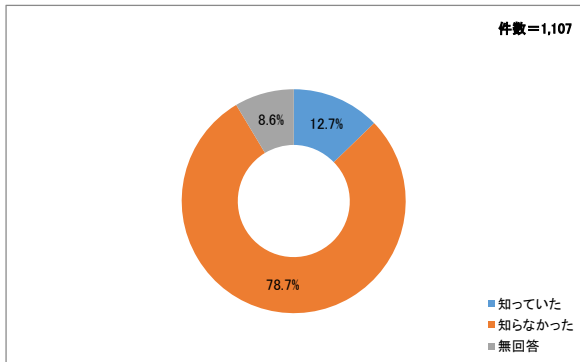
里山林整備による公益的機能回復の必要性の認知度について、「知っていた」と答えた人の割合が59.8%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は31.2%となっている。

里山林整備による公益的機能回復の必要性の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



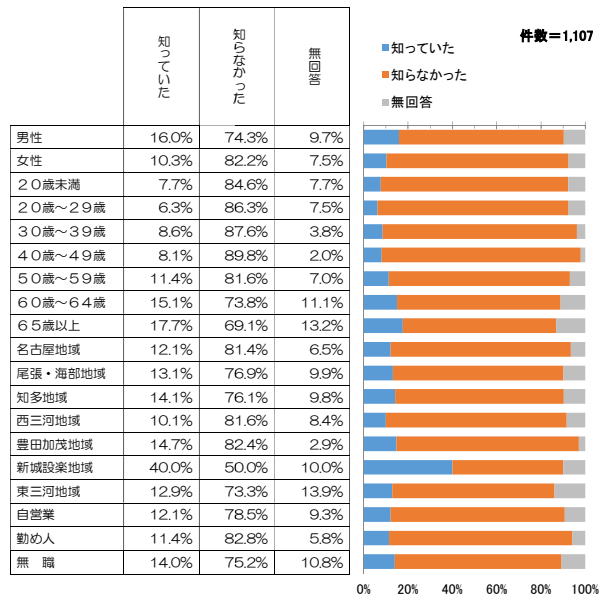
(2) 里山林整備事業の認知度

問2 あいち森と緑づくり事業で、里山林の整備をしていることを知っていましたか。



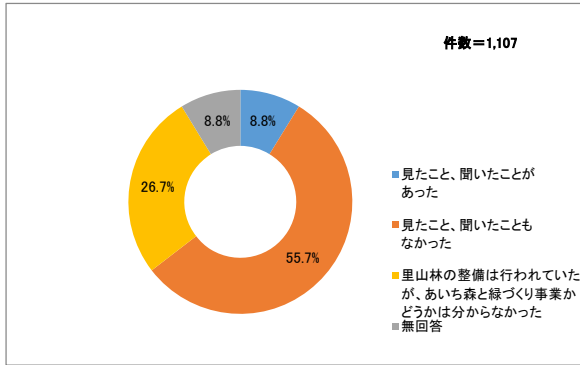
里山林整備事業について、「知っていた」と答えた人の割合が12.7%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は78.7%となっている。

里山林整備事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



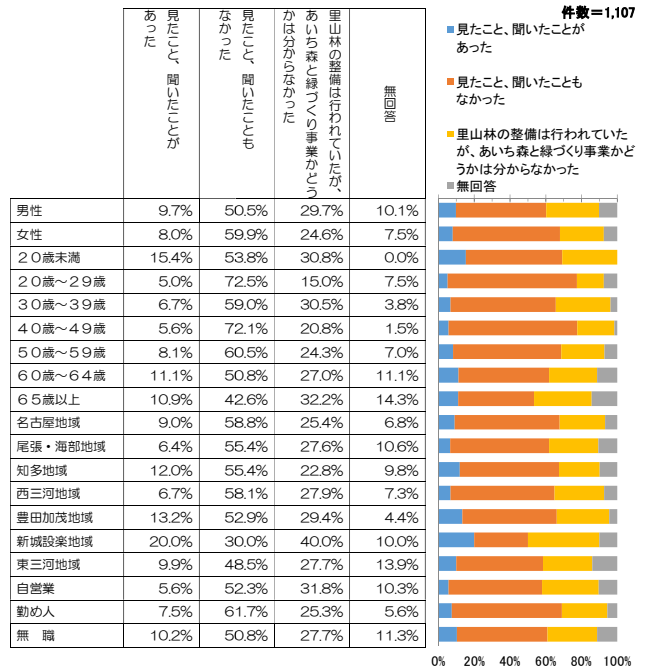
(3) 「あいち森と緑づくり事業」による里山林整備の認知度

問3 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を見たこと、聞いたことがありましたか。



あいち森と緑づくり事業による里山林整備について、「見たことも聞いたこともなかった」と答えた人の割合が55.7%と最も高く、続いて「里山林の整備は行われていたが、あいち森と緑づくり事業かどうかは分からなかった」(26.7%)、「見たこと、聞いたことがあった」(8.8%)の順になっている。

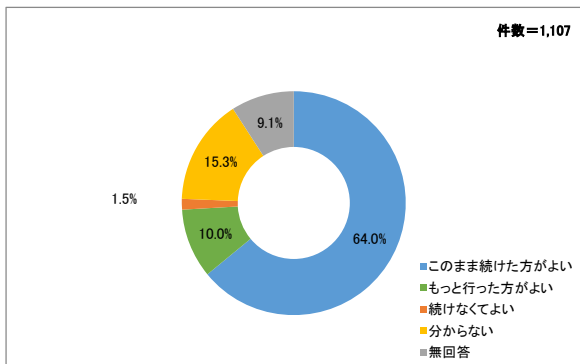
「あいち森と緑づくり事業」による里山林整備の認知度(性別、年齢別、地域別、職業別)



0% 20% 40% 60% 80% 100%

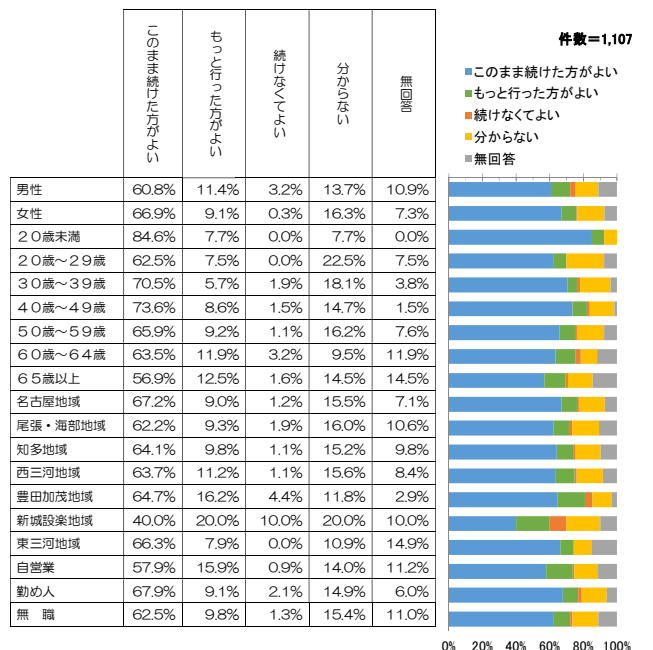
(4) 里山林整備事業の継続について

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も里山林の整備を続けた方がよいと思いますか。



里山林整備事業の継続について、「このまま続けた方がよい」(64.0%)と「もっと行った方がよい」(10.0%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が74.0%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.5%となっている。

里山林整備事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

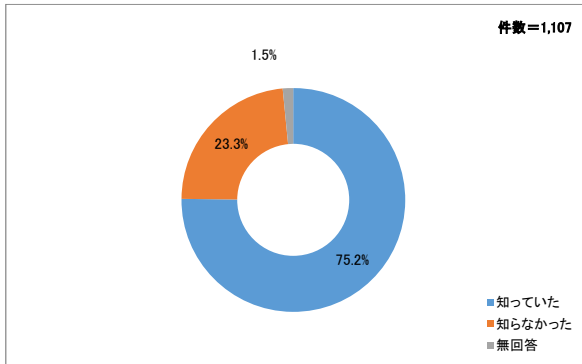


0% 20% 40% 60% 80% 100%

V 都市緑化推進事業について

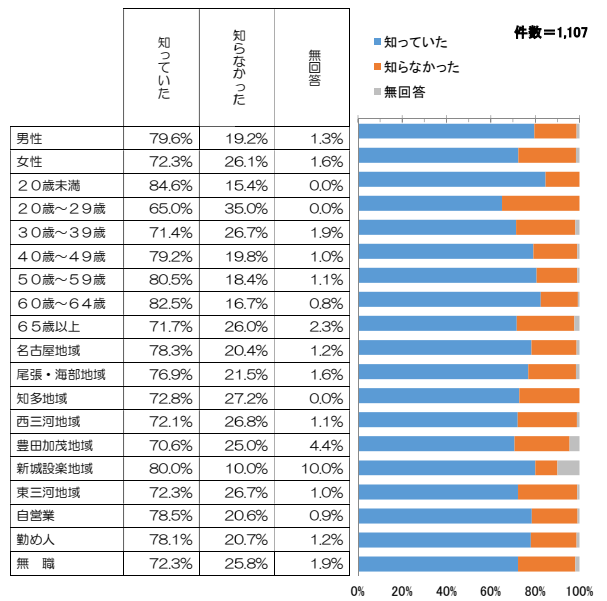
(1) 都市の緑の公益的機能の認知度

問1 都市の緑には「ヒートアイランド現象の緩和」「生物多様性の保全」「火災延焼防止」などの多様な機能があることを知っていましたか。



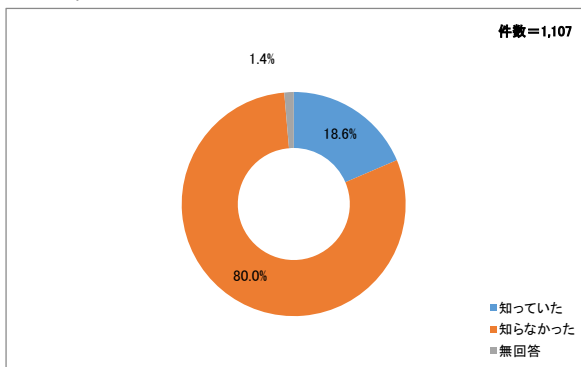
都市の緑の公益的機能の認知度について、「知っていた」と答えた人の割合が75.2%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は23.3%となっている。

都市の緑の公益的機能の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



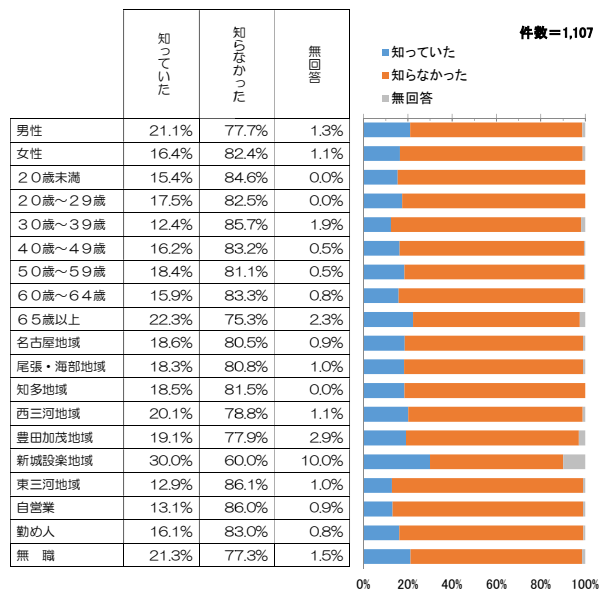
(2) 都市緑化推進事業の認知度

問2 あいち森と緑づくり事業で、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。



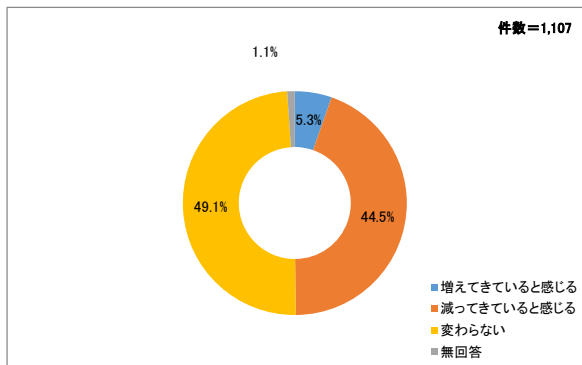
都市緑化推進事業について、「知っていた」と答えた人の割合が18.6%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は80.0%となっている。

都市緑化推進事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



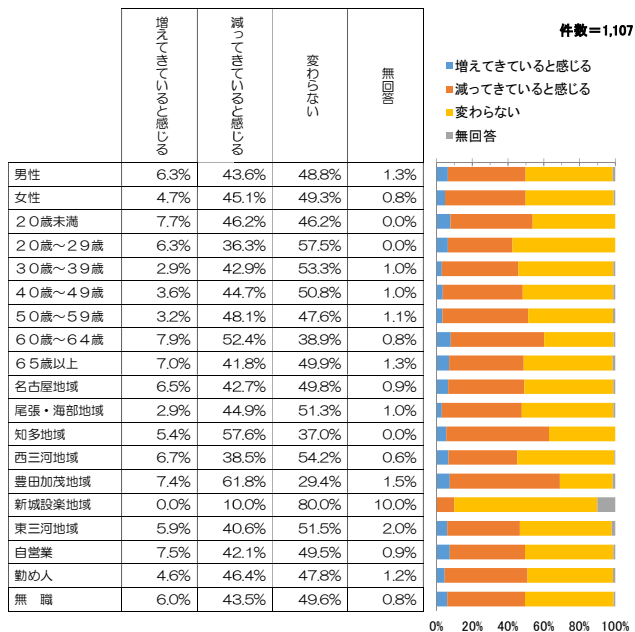
(3) 住まいの周辺の緑について

問3 あなたの住まいの周辺(半径1~2km程度)の緑についてどのように感じますか。



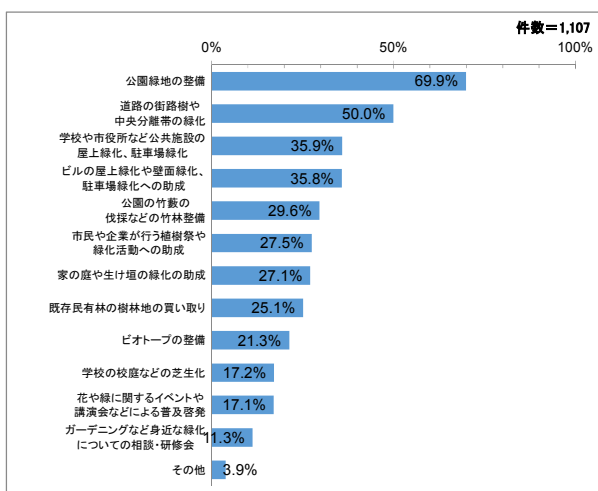
住まいの周辺の緑について、「変わらない」と答えた人の割合が49.1%と最も高く、続いて「減ってきていると感じる」(44.5%)、「増えてきていると感じる」(5.3%)の順になっている。

住まいの周辺の緑について(性別、年齢別、地域別、職業別)



(4) 都市の緑を増やしていくための取組について

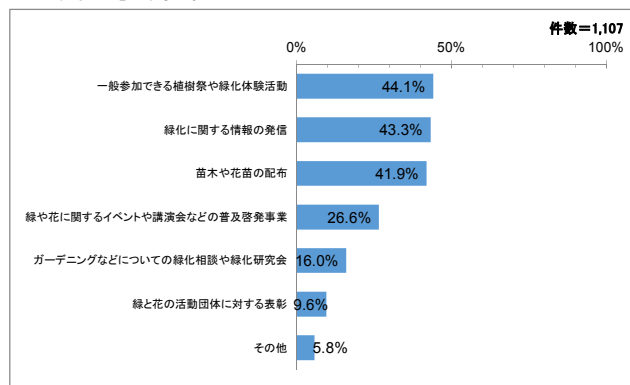
問4 今後、さらに都市の緑を良くしていくために、愛知県や市町村はどのような取組を行えばよいと思いますか。(複数回答可)



都市の緑を増やしていくための取組について、「公園緑地の整備」と答えた人の割合が69.9%と最も高く、続いて「道路の街路樹や中央分離帯の緑化」(50.0%)、「学校や市役所など公共施設の屋上緑化、駐車場緑化」(35.9%)の順になっている。

(5) 都市の緑に関心を持つための取組について

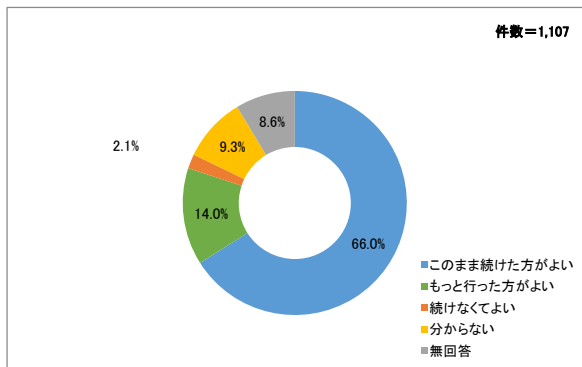
問5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりを持つためには、どのような取組が効果的だと思いますか。



都市の緑に関心を持つための取組について、「一般参加できる植樹祭や緑化体験活動」と答えた人の割合が44.1%と最も高く、続いて「緑化に関する情報の発信」(43.3%)、「苗木や花苗の配布」(41.9%)の順になっている。

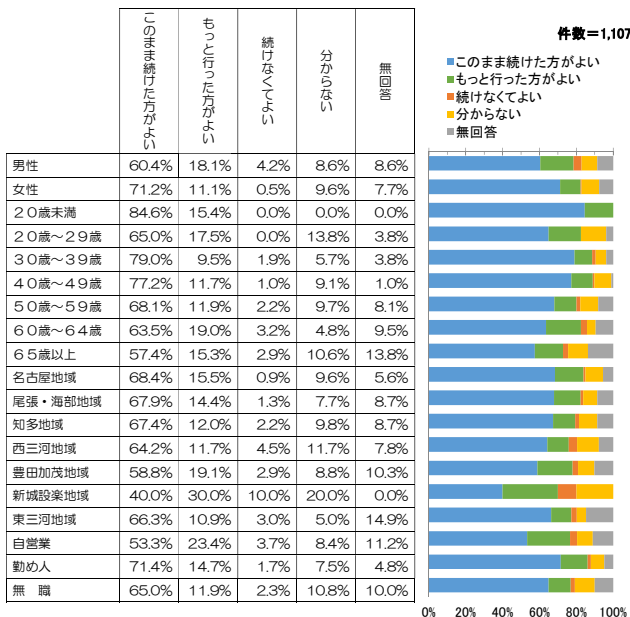
(6) 都市緑化推進事業の継続について

問6 あいち森と緑づくり事業で今後も都市の緑を増やす取組を続けた方がよいと思えますか。



都市緑化推進事業の継続について、「このまま続けた方がよい」(66.0%)と「もっと行った方がよい」(14.0%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が80.0%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は2.1%となっている。

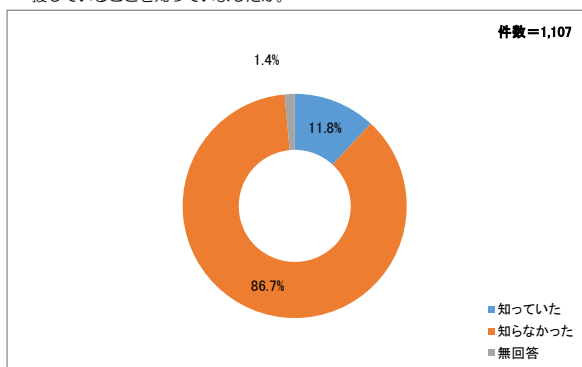
都市緑化推進事業の継続について (性別、年齢別、地域別、職業別)



VI 環境活動・学習推進事業について

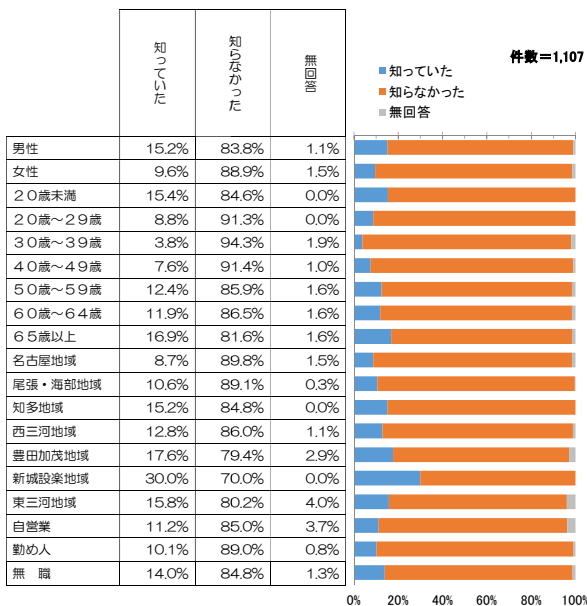
(1) 環境活動・学習推進事業についての認知度

問1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「森と緑の保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。



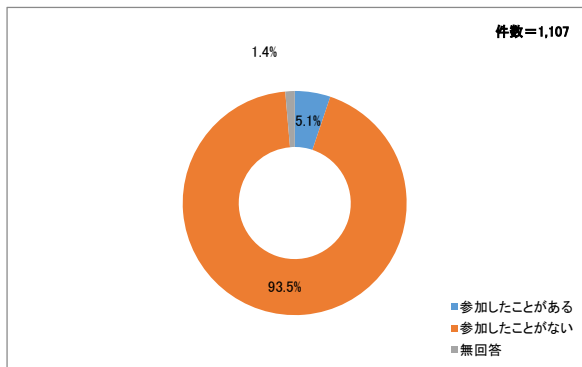
環境活動・学習推進事業について、「知っていた」と答えた人の割合が11.8%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は86.7%となっている。

環境活動・学習事業についての認知度 (性別、年齢別、地域別、職業別)



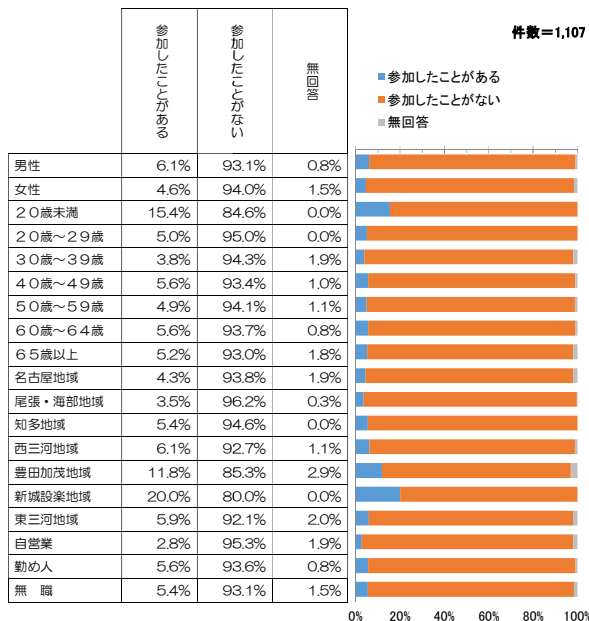
(2) 「森と緑の保全活動」や「環境学習」の参加の有無

問2 これまでに問1のような「森と緑の保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。



「森と緑の保全活動」や「環境学習」の参加の有無について、「参加したことがある」と答えた人の割合が5.1%であったのに対し、「参加したことがない」と答えた人の割合は93.5%となっている。

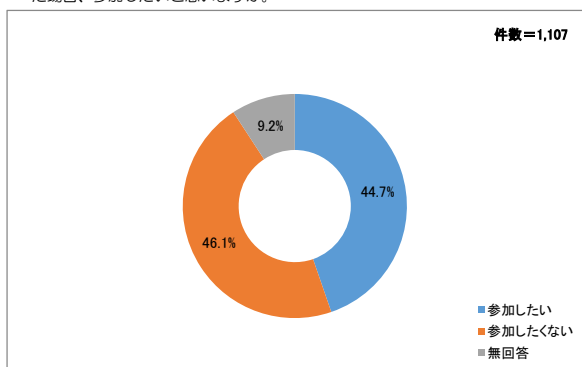
「森と緑の保全活動」や「環境学習」の参加の有無（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

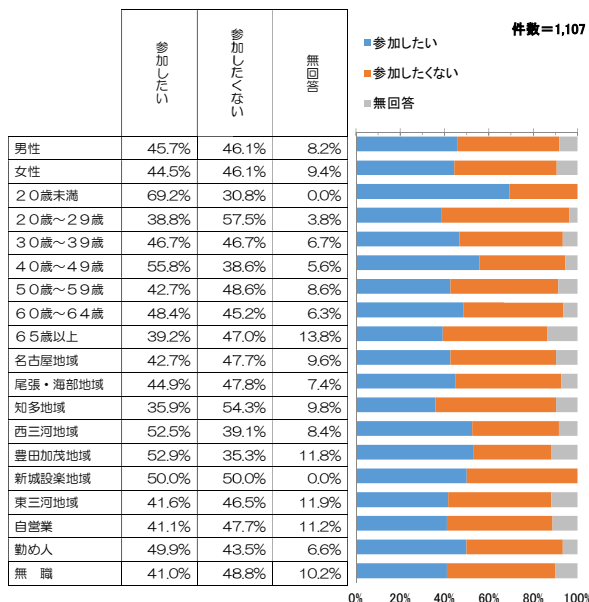
(3) 「森と緑の保全活動」や「環境学習」への参加について

問3 あなたの身の回りで問1のような「森と緑の保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思いませんか。



「森と緑の保全活動」や「環境学習」への参加について、「参加したい」と答えた人の割合が44.7%であったのに対し、「参加したくない」と答えた人の割合は46.1%となっている。

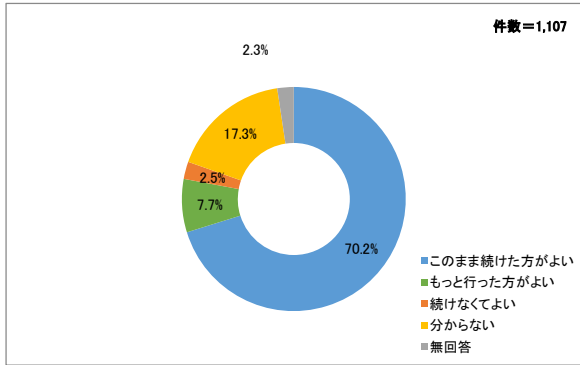
「森と緑の保全活動」や「環境学習」への参加について（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

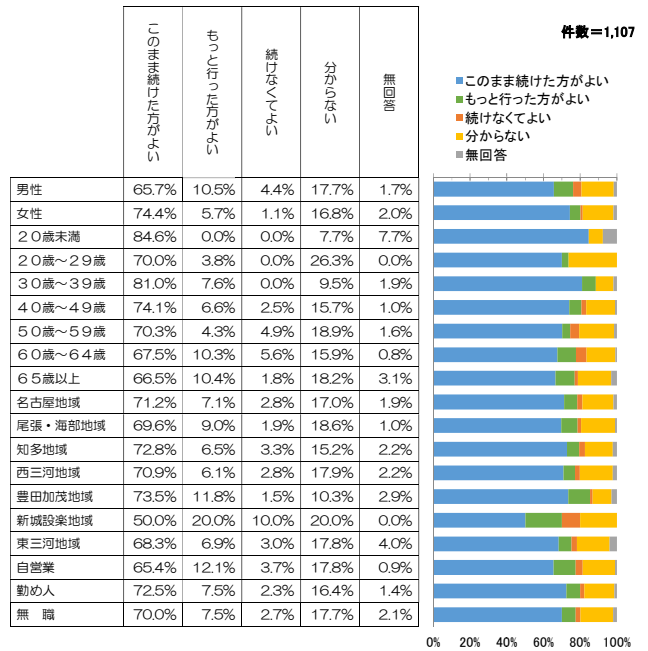
(4) 環境活動・学習推進事業の継続について

問4 あいち森と緑づくり事業で今後も「森と緑の保全活動」や「環境学習」を行うNPOやボランティア団体等の支援を続けた方がよいと思いますか。



環境活動・学習推進事業の継続について、「このまま続けた方がよい」(70.2%)と「もっと行った方がよい」(7.7%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が77.9%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は2.5%となっている。

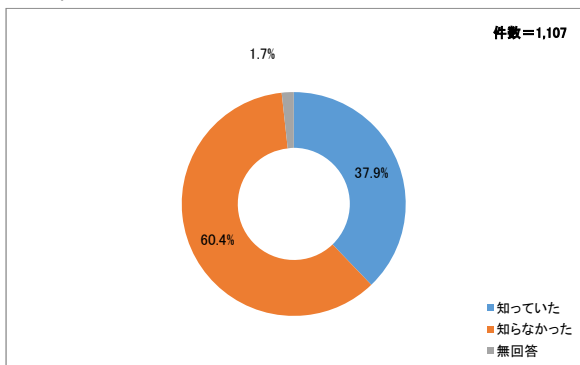
環境活動・学習推進事業の継続について (性別、年齢別、地域別、職業別)



Ⅶ 普及啓発事業について

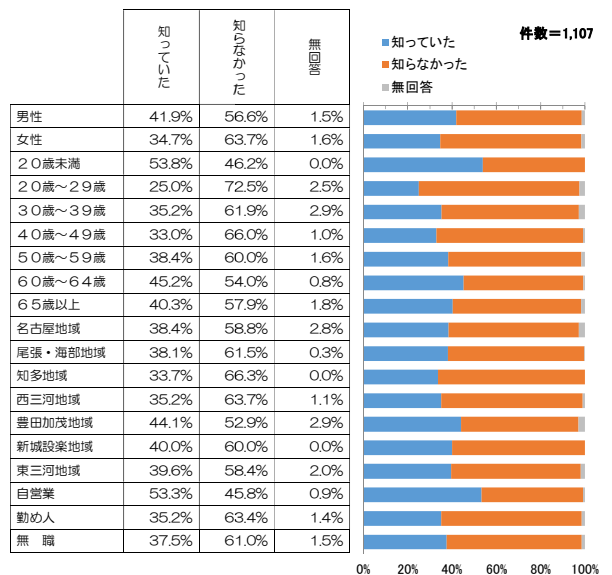
(1) 愛知県産木材の利用と森林整備との関連について

問1 愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。



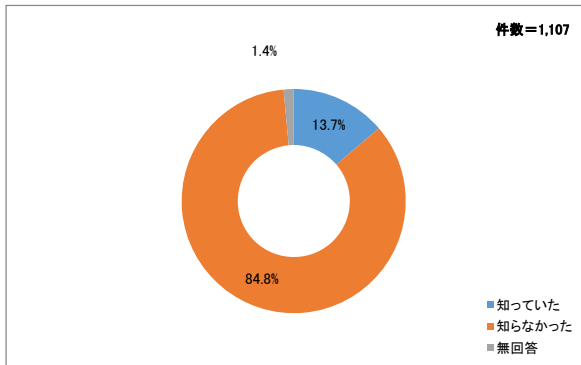
愛知県産木材の利用と森林整備との関連について、「知っていた」と答えた人の割合が37.9%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は60.4%となっている。

愛知県産木材の利用と森林整備との関連について (性別、年齢別、地域別、職業別)



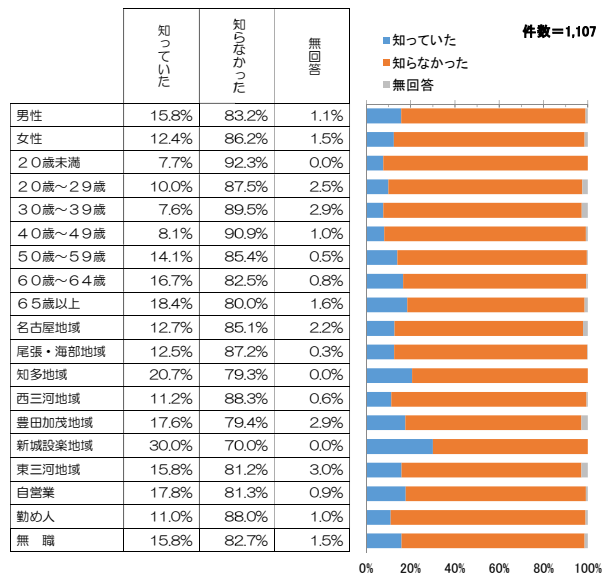
(2) 木の香る学校づくり推進事業の認知度

問2 あいち森と緑づくり事業で、公立小中学校に愛知県産木材を利用した机・椅子、下駄箱、ロッカーなどの導入を進めていることを知っていましたか。



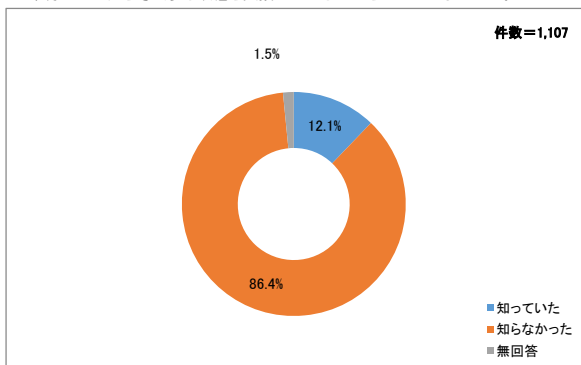
木の香る学校づくり推進事業について、「知っていた」と答えた人の割合が13.7%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は84.8%となっている。

木の香る学校づくり推進事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



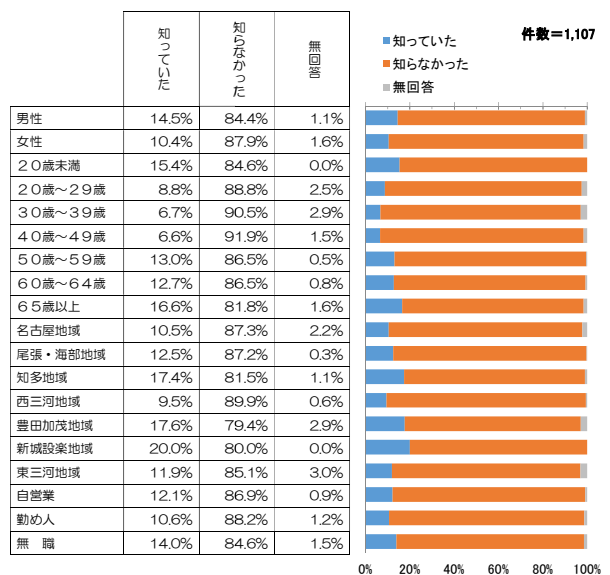
(3) 愛知県産木材活用推進事業の認知度

問3 あいち森と緑づくり事業で、間伐材の搬出を促進する取組や、公共施設に愛知県産木材のベンチを導入する取組を支援していることを知っていましたか。



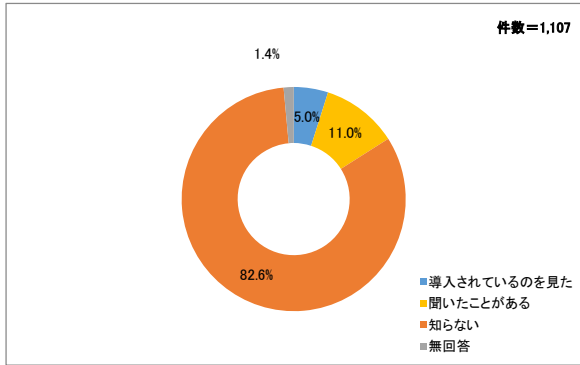
愛知県産木材活用推進事業について、「知っていた」と答えた人の割合が12.1%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は86.4%となっている。

愛知県産木材活用推進事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）



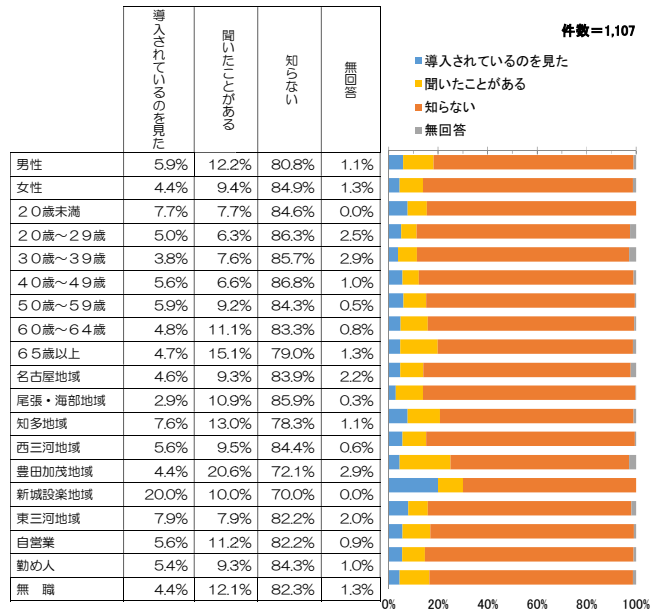
(4) 愛知県産木材製品の学校施設への導入状況

問4 あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った机・椅子、下駄箱、ロッカー等が導入されていますか。



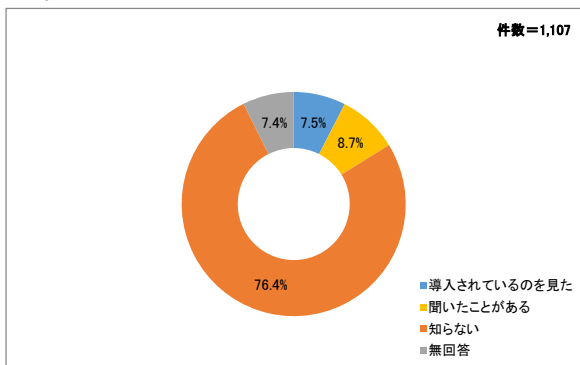
愛知県産木材製品の学校施設への導入状況について、「知らない」と答えた人の割合が82.6%と最も高く、続いて「聞いたことがある」(11.0%)、「導入されているのを見た」(5.0%)の順になっている。

愛知県産木材製品の学校施設への導入状況(性別、年齢別、地域別、職業別)



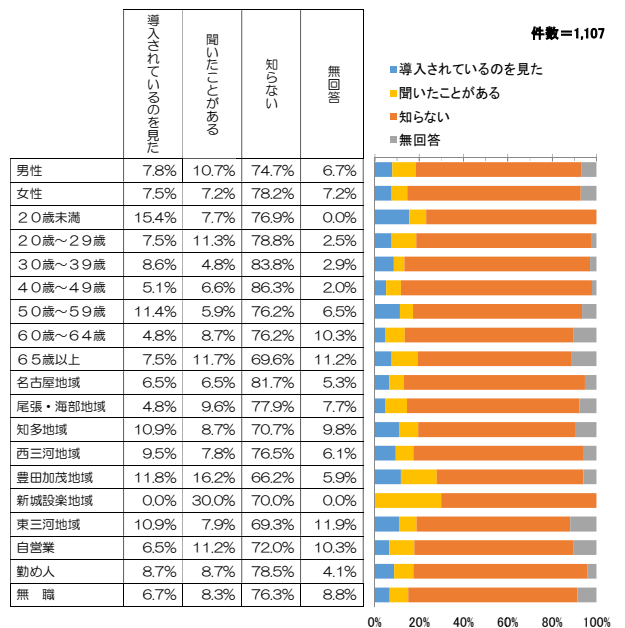
(5) 愛知県産木材製品の公共施設への導入状況

問5 あなたの周りの公共施設で愛知県産木材を使った木製ベンチが導入されていますか。



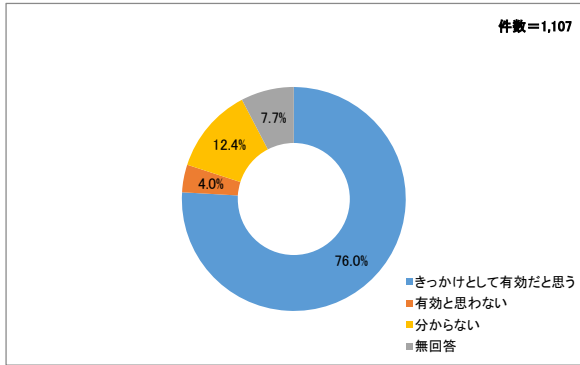
愛知県産木材製品の公共施設への導入状況について、「知らない」と答えた人の割合が76.4%と最も高く、続いて「聞いたことがある」(8.7%)、「導入されているのを見た」(7.5%)の順になっている。

愛知県産木材製品の公共施設への導入状況(性別、年齢別、地域別、職業別)



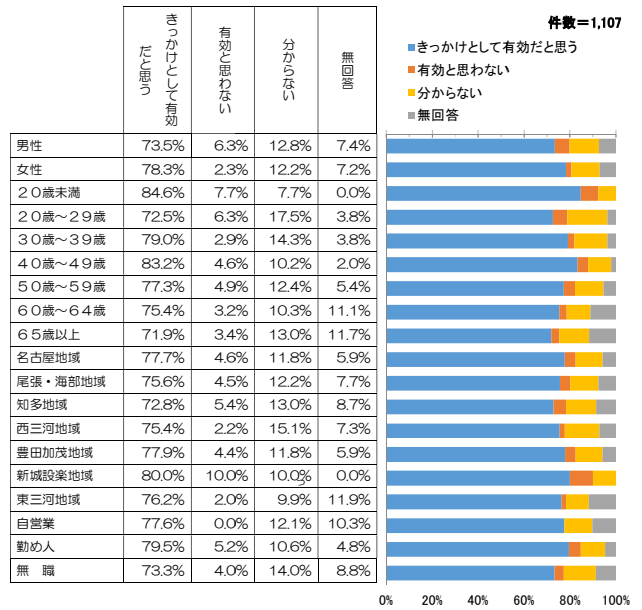
(6) 愛知県産木材製品の導入の有効性について

問6 愛知県産木材を使った机・椅子、下駄箱、ロッカー、ベンチなどの導入は、森林整備の意義や、木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。



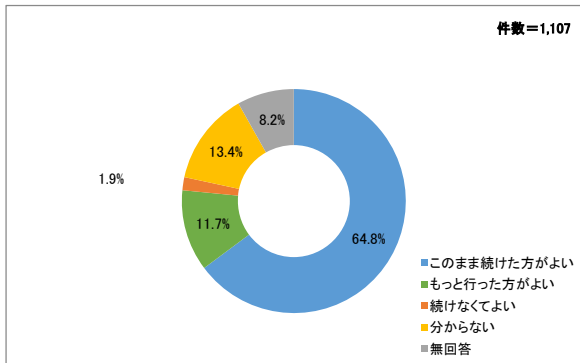
愛知県産木材製品の導入の有効性について、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合が76.0%であったのに対し、「有効と思わない」と答えた人の割合は4.0%となっている。

愛知県産木材製品の導入の有効性について（性別、年齢別、地域別、職業別）



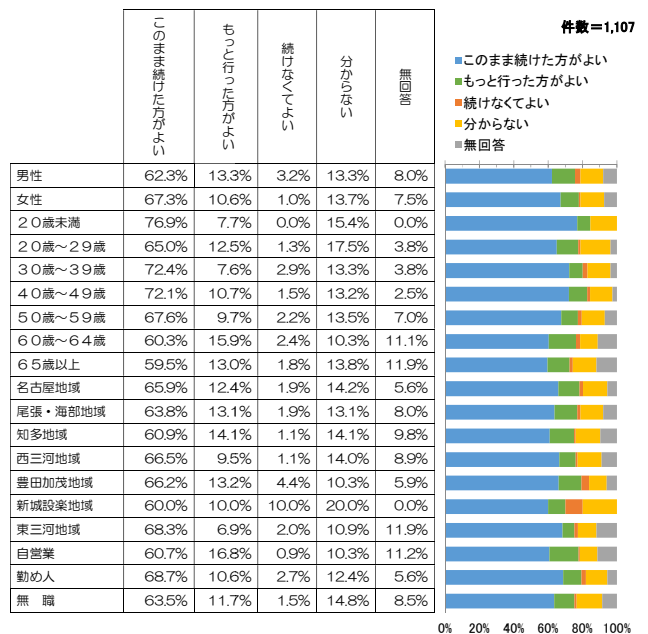
(7) 「あいち森と緑づくり事業」による愛知県産木材の利用促進・間伐材搬出促進の取組の継続について

問7 あいち森と緑づくり事業で、今後も学校や公共施設に愛知県産木材を使った机・椅子、下駄箱、ロッカー、ベンチ等を導入する取組や、間伐材の搬出を促進する取組への支援を続けた方がよいと思いますか。



あいち森と緑づくり事業による愛知県産木材の利用促進・間伐材搬出促進の取組の継続について、「このまま続けた方がよい」(64.8%)と「もっと行った方がよい」(11.7%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が76.5%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.9%となっている。

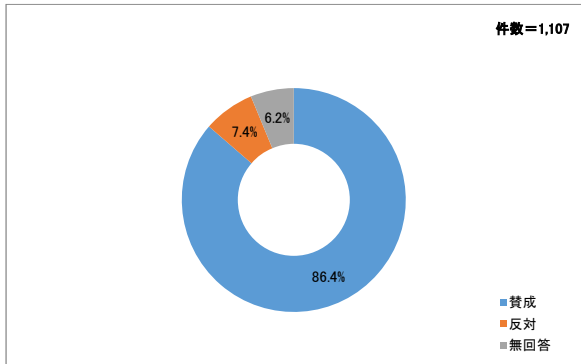
「あいち森と緑づくり事業」による愛知県産木材の利用促進・間伐材搬出促進の取組の継続について（性別、年齢別、地域別、職業別）



Ⅷ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

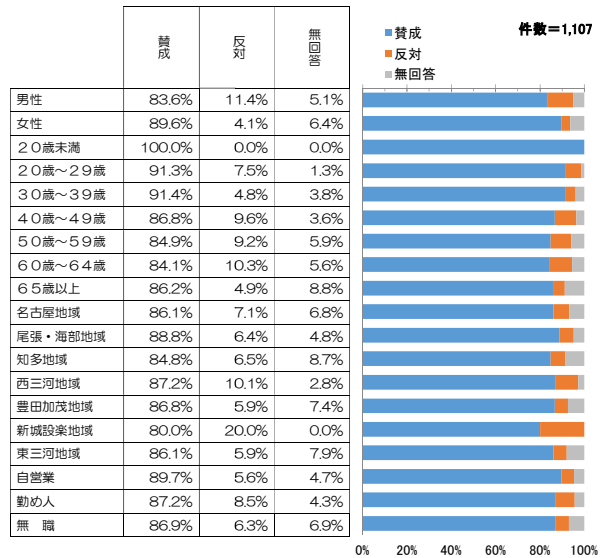
(1) 「あいち森と緑づくり事業」の継続について

問1 平成31年度以降も「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取組を行うことについてどのように思いますか。



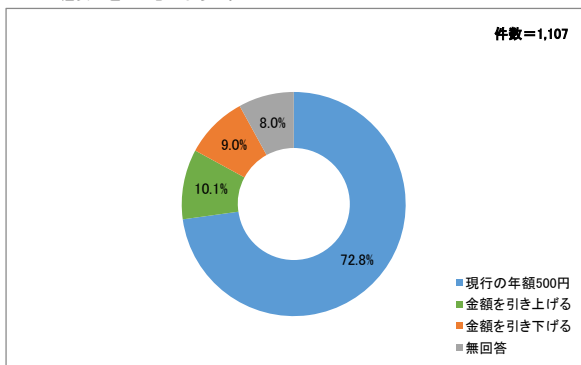
「あいち森と緑づくり事業」の継続について、「賛成」と答えた人の割合が86.4%であったのに対し、「反対」と答えた人の割合は7.4%となっている。

「あいち森と緑づくり事業」の継続について（性別、年齢別、地域別、職業別）



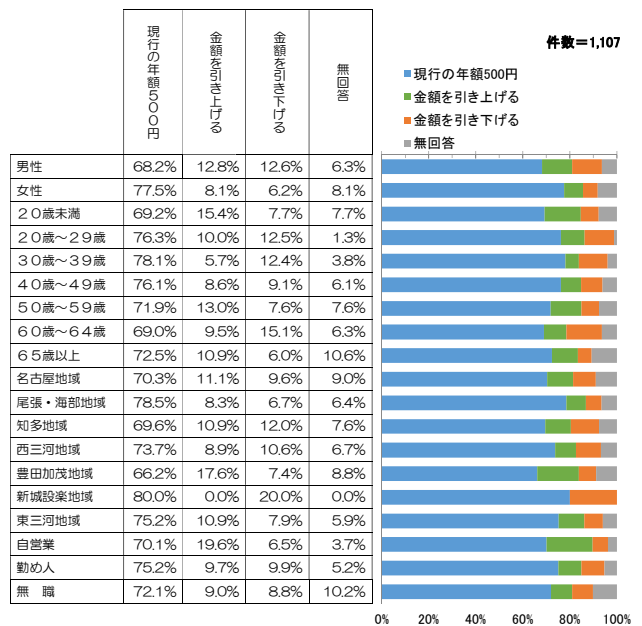
(2) 「あいち森と緑づくり税」の負担額について

問2 「あいち森と緑づくり税」を平成31年度以降も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当だと思いますか。



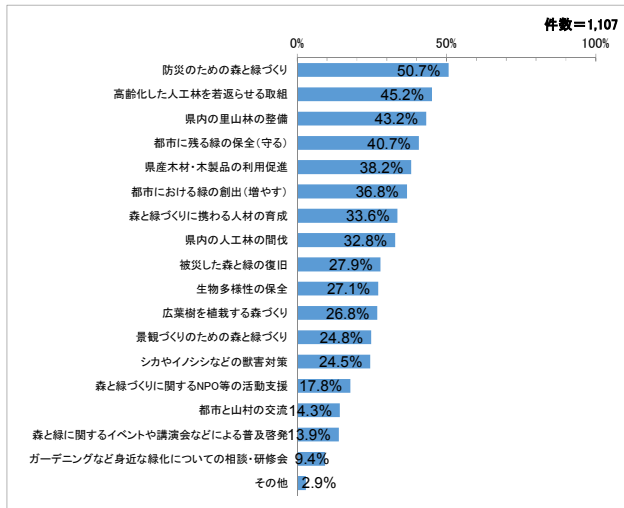
「あいち森と緑づくり税」の負担額について、「現行の年額500円」と答えた人の割合が72.8%と最も高く、続いて「金額を引き上げる」（10.1%）、「金額を引き下げる」（9.0%）の順になっている。

「あいち森と緑づくり税」の負担額について（性別、年齢別、地域別、職業別）



(3)「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組について

問3 「あいち森と緑づくり事業」を平成31年度以降も継続する場合、どのような取組を行えばよいと思いますか。



「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組について、「防災のための森と緑づくり」と答えた人の割合が50.7%と最も高く、続いて「高齢化した人工林を若返らせる取組」(45.2%)、「県内の里山林の整備」(43.2%)の順になっている。

(2) 法人アンケート

1 調査の概要

(1) 調査目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、法人の事業に対する有効性・満足度・今後の期待度等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) 調査の項目

- ① 森と緑の働きについて
- ② 「あいち森と緑づくり事業」について
- ③ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(3) 調査の設計

- ① 調査地域 愛知県
- ② 調査対象 県内の法人事業者
- ③ 標本数 150
- ④ 抽出方法 等間隔抽出法
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 平成29年7月19日～8月2日

(4) 調査委託先

合同会社KURIO

(5) 回収結果

- ① 標本数 150
- ② 回収数 36 (24.0%)

(6) 調査対象者の属性

【資本金等の額】

1千万円超 1億円以下	左記以外の法人	非課税	未回答
10	21	3	2

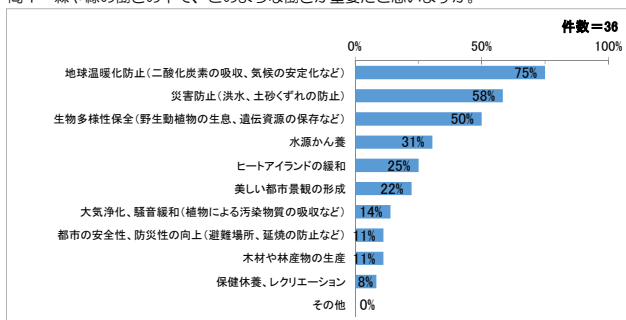
調査結果

1

I 森と緑の働きについて

(1) 森と緑の重要な働きについて

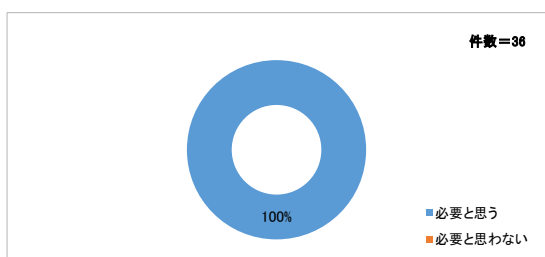
問1 森や緑の働きの中で、どのような働きが重要だと思いますか。



森と緑の重要な働きについて、「地球温暖化防止」と答えた人の割合が75%と最も高く、続いて「災害防止」(58%)、「生物多様性保全」(50%)の順になっている。

(2) 健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性について

問2 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要と思いますか。



健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性について、「必要と思う」と答えた法人の割合が100%となっている。

3

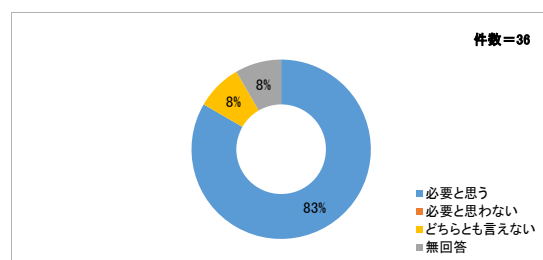
2

II 「あいち森と緑づくり事業」について

(1) 取組の必要性について

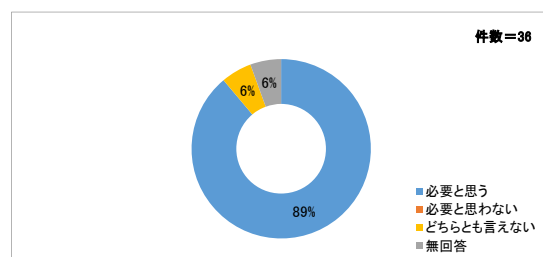
問3 森林、里山林、都市の緑をバランスよく整備・保全するための以下の取組について、必要だと思いますか。

①人工林の間伐



人工林の間伐の必要性について、「必要と思う」と答えた法人の割合が83%であったのに対し、「どちらとも言えない」と答えた法人の割合は8%となっている。

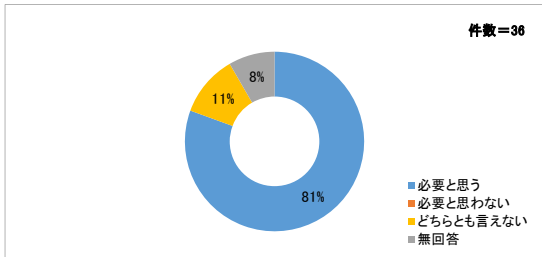
②里山林の整備



里山林の整備の必要性について、「必要と思う」と答えた法人の割合が89%であったのに対し、「どちらとも言えない」と答えた法人の割合は6%となっている。

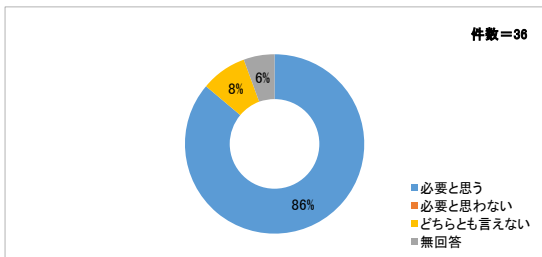
4

③都市緑化の推進



都市緑化の推進の必要性について、「必要と思う」と答えた法人の割合が81%であったのに対し、「どちらとも言えない」と答えた法人の割合は11%となっている。

④環境活動・環境学習の推進

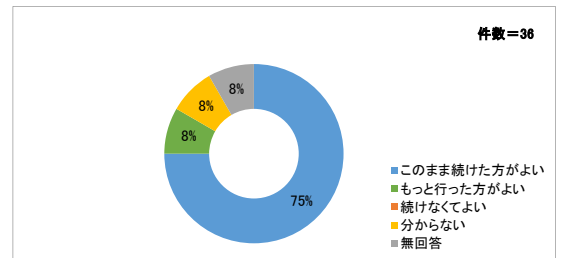


環境活動・環境学習の推進の必要性について、「必要と思う」と答えた法人の割合が86%であったのに対し、「どちらとも言えない」と答えた法人の割合は8%となっている。

(2) 取組の継続について

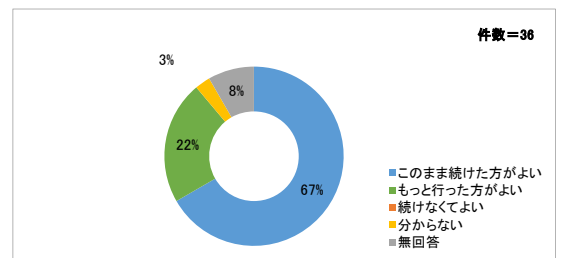
問4 本県では、平成21年度から「あいち森と緑づくり税」を活用し、以下の取組を行っています。これらの取組を今後も続けた方がよいと思えますか。

①人工林の間伐



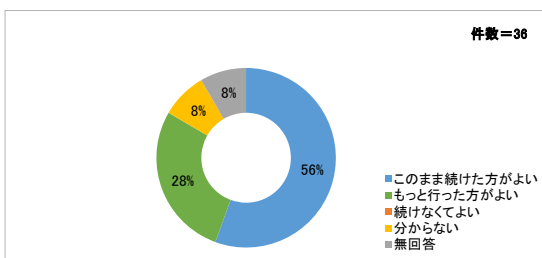
人工林の間伐の継続について、「このまま続けた方がよい」(75%)と「もっと行った方がよい」(8%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が83%となっている。

②里山林の整備



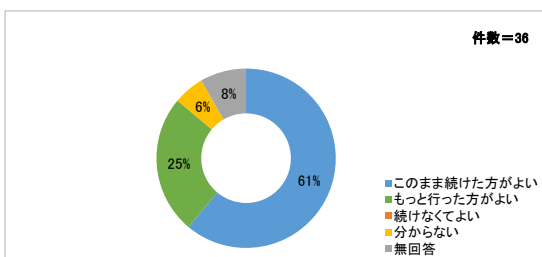
里山林の整備の継続について、「このまま続けた方がよい」(67%)と「もっと行った方がよい」(22%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が89%となっている。

③都市緑化の推進



都市緑化の推進の継続について、「このまま続けた方がよい」(56%)と「もっと行った方がよい」(28%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が84%となっている。

④環境活動・環境学習の推進

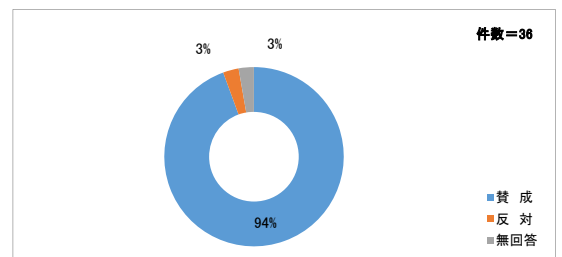


環境活動・環境学習の推進の継続について、「このまま続けた方がよい」(61%)と「もっと行った方がよい」(25%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた法人の割合が86%となっている。

Ⅲ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(1) 「あいち森と緑づくり事業」の継続について

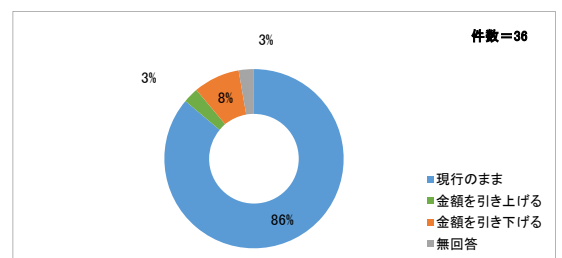
問5 平成31年度以降も「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取組を行うことについてどのように思いますか。



「あいち森と緑づくり事業」の継続について、「賛成」と答えた法人の割合が94%であったのに対し、「反対」と答えた法人の割合は3%となっている。

(2) 「あいち森と緑づくり税」の負担額について

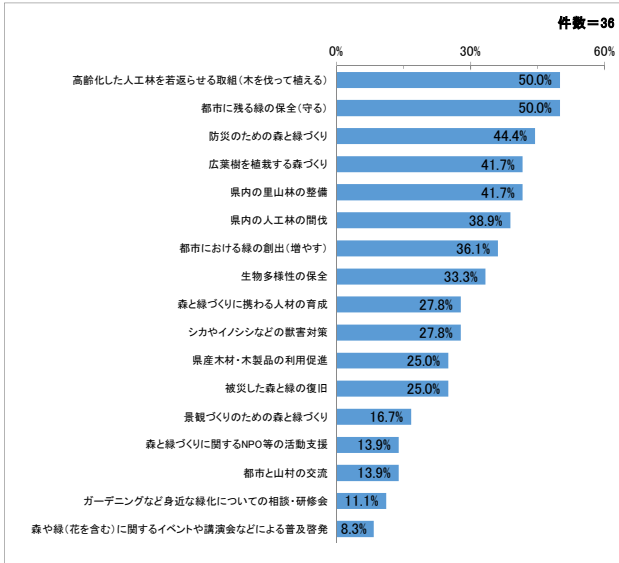
問6 「あいち森と緑づくり税」を平成31年度以降も継続する場合、法人の方の負担はどの程度が適当と思えますか。



「あいち森と緑づくり税」の負担額について、「現行のまま」と答えた法人の割合が86%と最も高く、続いて「金額を引き下げる」(8%)、「金額を引き上げる」(3%)の順になっている。

(3)「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組について

問7 「あいち森と緑づくり事業」を平成31年度以降も継続する場合、どのような取組を行えばよいと思いますか。



「あいち森と緑づくり事業」を継続した場合の取組について、「高齢化した人工林を若返らせる取組」と「都市に残る緑の保全」と答えた法人の割合が50.0%と最も高く、続いて「防災のための森と緑づくり」(44.4%)、「広葉樹を植栽する森づくり」(41.7%)、「県内の里山林の整備」(41.7%)の順になっている。

(3) 市町村アンケート

1 調査の概要

(1) 調査目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、市町村の事業に対する有効性・満足度・今後の期待度等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) アンケート調査の項目と回答率

1 森林整備全般	送付数	35/回答数	27	回答率	77%
2 人工林整備事業	送付数	15/回答数	12	回答率	80%
3 里山林整備事業（事業実施市町村）	送付数	21/回答数	17	回答率	81%
4 里山林整備事業（事業未実施市町村）	送付数	14/回答数	10	回答率	71%
5 都市緑化推進事業	送付数	54/回答数	43	回答率	80%
6 環境活動・学習推進事業	送付数	54/回答数	44	回答率	81%
7 木の香る学校づくり推進事業	送付数	54/回答数	43	回答率	80%
8 愛知県産木材利活用推進事業	送付数	54/回答数	43	回答率	80%

調査結果

(3) 調査設計

- ①調査地域 愛知県
- ②調査対象 県内市町村
- ③標本数 301
- ④抽出方法 全数調査
- ⑤調査方法 郵送法
- ⑥調査期間 平成29年6月30日～7月14日

(4) 調査委託先

合同会社KURIO

(5) 回収結果

回収数 239 (79.4%)

1

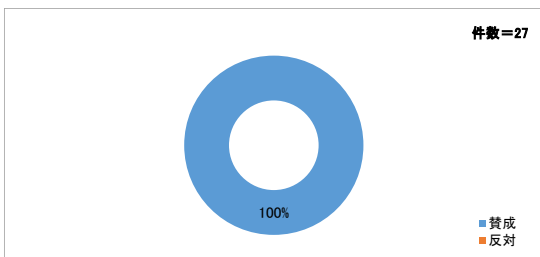
2

1 森林整備全般 市町村アンケート

送付数 35/回答数 27 回答率 77%

(1) 今後の事業継続について

問1 森林が有する公益的機能の維持増進のため、平成31年度以降も「あいち森と緑づくり事業」を継続して、森林、里山林の適正な整備及び保全に関する取組を行うことについてどのように思いますか。



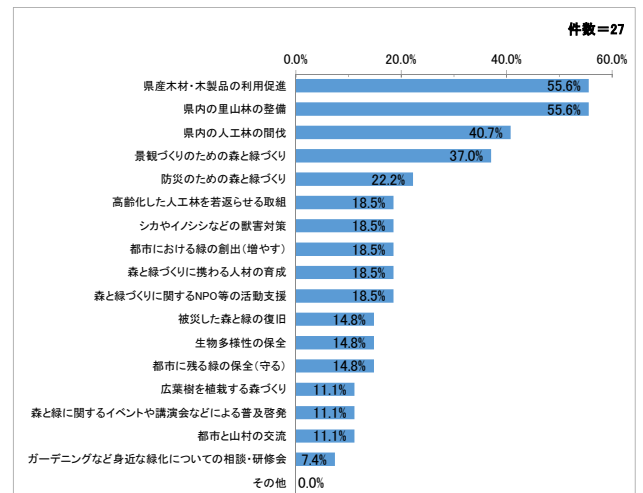
今後の事業継続について、「賛成」と答えた市町村の割合が100%となっている。

3

(2) 今後の事業のあり方

問2 問1で「1. 賛成」と答えた市町村にお聞きします。

「あいち森と緑づくり事業」を平成31年度以降も継続する場合、どのような取組が適当だと思いますか。（複数回答可）



今後の事業のあり方について、「県産木材・木製品の利用促進」と「県内の里山林の整備」と答えた市町村の割合が55.6%と最も高く、続いて「県内の人工林の間伐」(40.7%)、「景観づくりのための森と緑づくり」(37.0%)の順になっている。

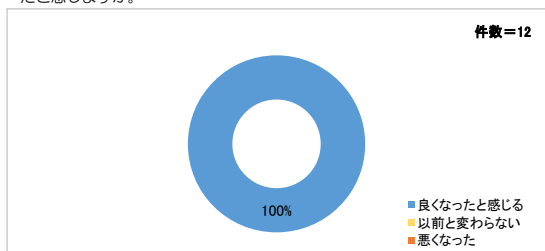
4

2 人工林整備事業 市町村アンケート

送付数 15/回答数 12 回答率 80%

(1) 事業実施による効果

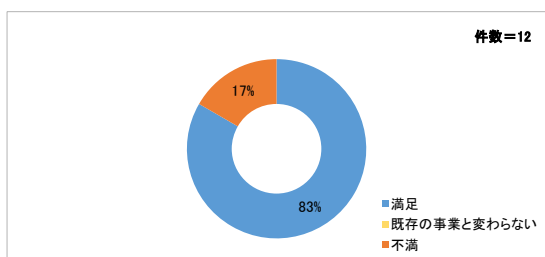
問1 あいち森と緑づくり人工林整備事業を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか。



事業実施の効果について、「良くなったと感じる」と答えた市町村の割合が100%となっている。

(2) 事業内容の満足度

問2 あいち森と緑づくり人工林整備事業の内容は、貴市町村の森林にとって満足できる事業ですか。



事業内容の満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が83%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合が17%となっている。

5

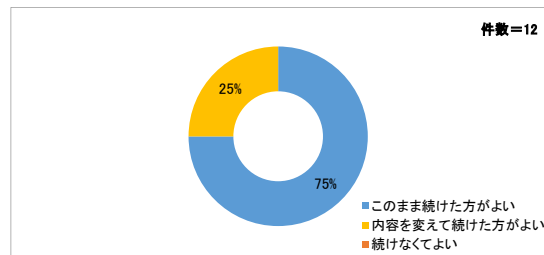
(3) 事業を進めるうえでの支障や課題

問3 あいち森と緑づくり人工林整備事業を進めるうえで、貴市町村では、どのような支障や課題がありましたか。

※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

(4) 今後の事業継続について

問4 あいち森と緑づくり人工林整備事業を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(75%)と「内容を変えて続けた方がよい」(25%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた市町村の割合が100%となっている。

(5) 事業内容の変更点

問5 問2で「3. 不満」又は問4で「2. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた市町村にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

6

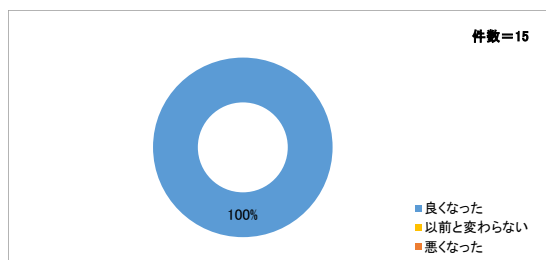
3 里山林整備事業 市町村アンケート (事業実施市町村)

送付数 21/回答数 17 回答率 81%

(1) 事業実施による効果

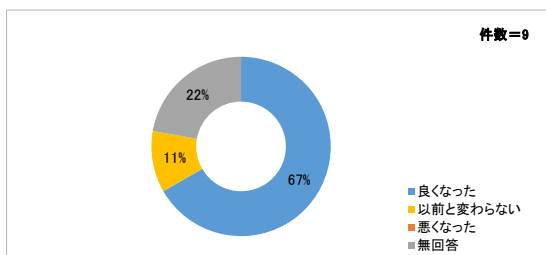
問1 次の里山林整備事業を実施した結果、貴市町村の森林が良くなったと感じますか

①提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)について



事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が100%となっている。

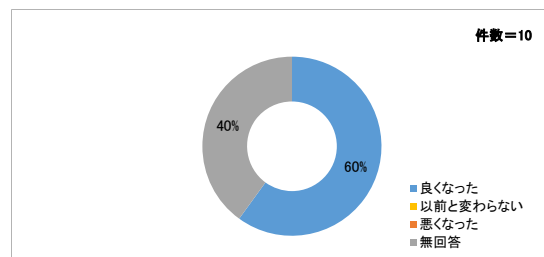
②里山林健全化整備事業(市町村交付金事業)について



事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が67%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(11%)の順になっている。

7

③里山林再生整備事業(県営事業)について

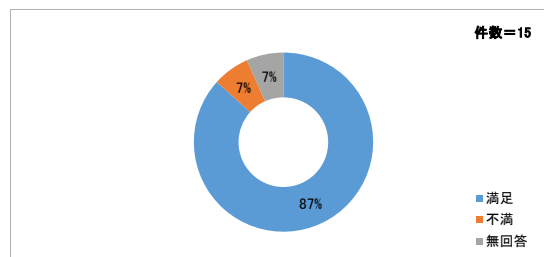


事業実施による効果について、「良くなった」と答えた市町村の割合が60%となっている。

(2) 事業内容の満足度

問2 実施した里山林整備事業は、貴市町村の里山林にとって満足できる内容でしたか

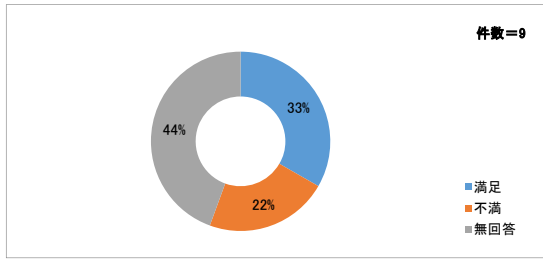
①提案型里山林整備事業(市町村交付金事業)について



事業内容の満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が87%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合は7%となっている。

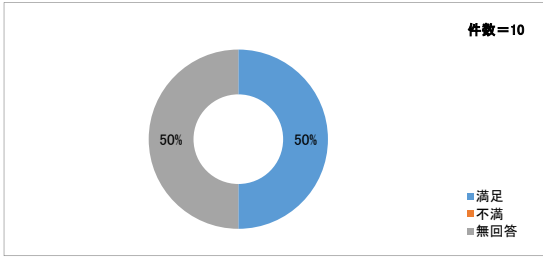
8

②里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について



事業内容の満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が33%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合は22%となっている。

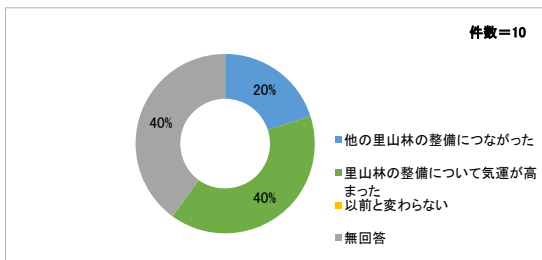
③里山林再生整備事業（県営事業）について



事業内容の満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が50%となっている。

9

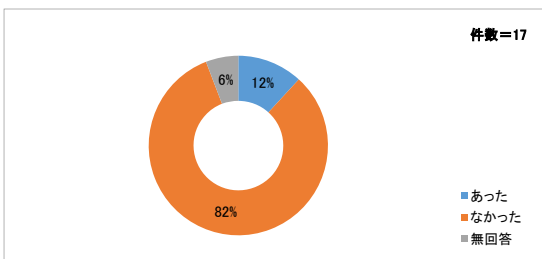
③里山林再生整備事業（県営事業）について



事業実施による波及効果について、「他の里山林の整備につながった」（20%）と「里山林の整備についての気運が高まった」（40%）を合わせた「効果があった」と答えた市町村の割合が60%となっている。

(4) 事業の不採択の有無

問4 地域の方々から、里山林整備事業の実施に向けての相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。



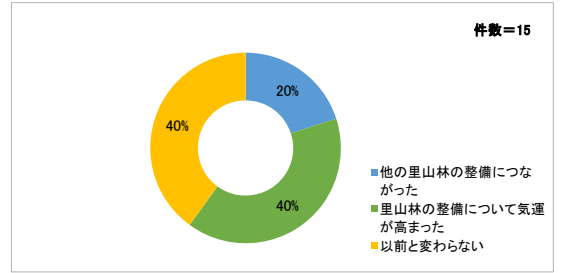
事業の不採択の有無について、「あった」と答えた市町村の割合が12%であったのに対し、「なかった」と答えた市町村の割合は82%となっている。

11

(3) 事業実施による波及効果

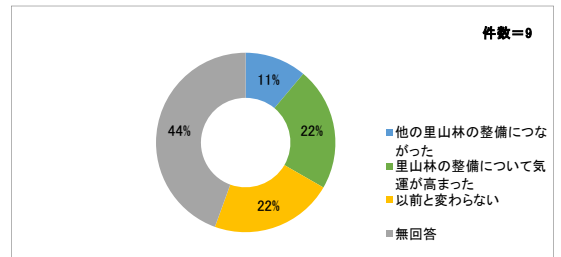
問3 里山林整備事業の実施後、貴市町村内の他の里山林の保全・活用に対する波及効果があったと思いますか。

①提案型里山林整備事業（市町村交付金事業）について



事業実施による波及効果について、「他の里山林の整備につながった」（20%）と「里山林の整備についての気運が高まった」（40%）を合わせた「効果があった」と答えた市町村の割合が60%であったのに対し、「以前と変わらない」と答えた市町村の割合は40%となっている。

②里山林健全化整備事業（市町村交付金事業）について

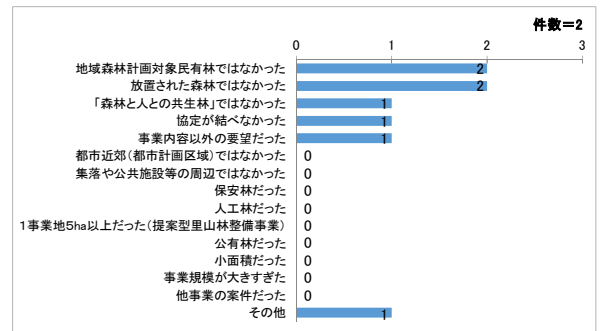


事業実施による波及効果について、「他の里山林の整備につながった」（11%）と「里山林の整備についての気運が高まった」（22%）を合わせた「効果があった」と答えた市町村の割合が33%であったのに対し、「以前と変わらない」と答えた市町村の割合は22%となっている。

10

(4-2) 事業の不採択の理由

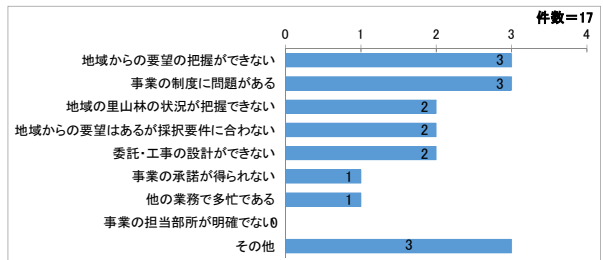
問4-2 （問4-1で「1. あった」と答えた市町村に）その理由は何ですか。（複数選択可）



事業の不採択の理由について、「地域森林計画対象私有林ではなかった」と「放置された森林ではなかった」と答えた市町村の数が2件と最も多くなっている。

(5) 事業推進にあたっての障害

問5 里山林整備事業を進めるにあたって、支障になっていることがありますか。

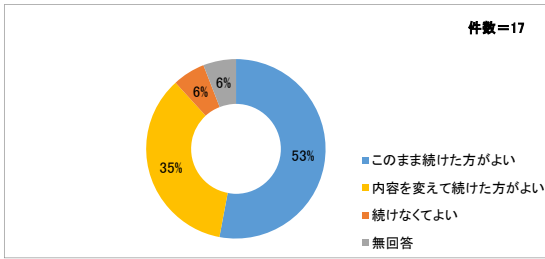


事業推進にあたっての障害について、「地域からの要望の把握ができない」と「事業の制度に問題がある」と答えた市町村の数が3件と最も多くなっている。

12

(6) 今後の事業継続について

問6 里山林整備事業を、平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(53%)と「内容を変えて続けた方がよい」(35%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた市町村の割合が88%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた市町村の割合は6%となっている。

(7) 事業内容の変更点

問7 問2で「2. 不満」又は問6で「2. 内容を変えて続けた方がよい」と答えた市町村にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

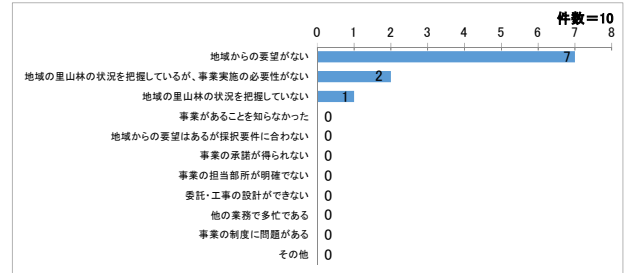
※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

4 里山林整備事業 市町村アンケート(事業未実施市町村)

送付数 14/回答数 10 回答率 71%

(1) 事業を実施していない理由

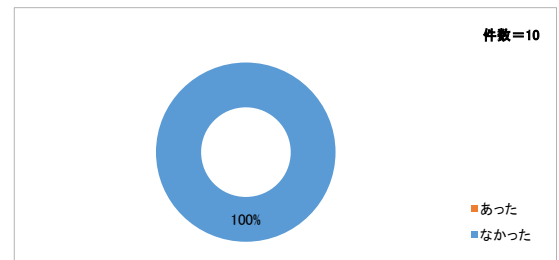
問1 貴市町村で、里山林整備事業を実施していない理由を教えてください。



事業を実施していない理由について、「地域からの要望がない」と答えた市町村の数が7件と最も多く、続いて「地域の里山林の状況を把握しているが、事業実施の必要性がない」(2件)、「地域の里山林の状況を把握していない」(1件)の順になっている。

(2) 事業の不採択の有無

問2-1 地域住民等からの、里山林整備事業実施に向けた相談に対して、貴市町村の段階で不採択としたことがありますか。



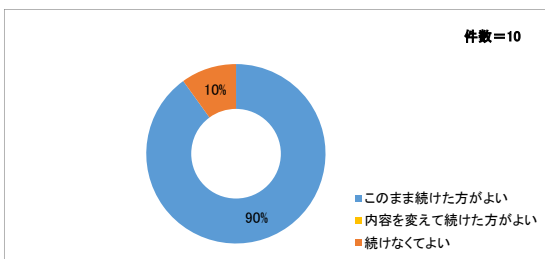
事業の不採択の有無について、「なかった」と答えた市町村の割合が100%となっている。

問2-2 (問2-1で「1. あった」と答えた市町村) その理由は何ですか。

※問2-1で「あった」と答えた市町村がなかったため、該当なし

(3) 今後の事業継続について

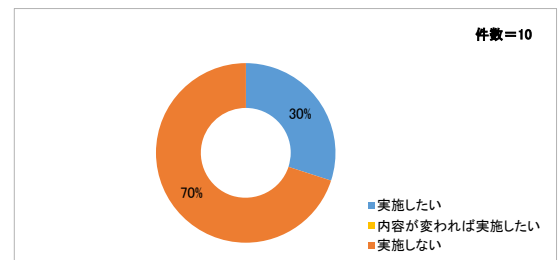
問3 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」と答えた市町村の割合が90%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた市町村の割合は10%となっている。

(4) 今後の事業実施予定

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林整備事業を、平成31年度以降も続けていった場合、貴市町村では事業を実施したいと思いますか。



今後の事業実施予定について、「実施したい」と答えた市町村の割合が30%であったのに対し、「実施しない」と答えた市町村の割合は70%となっている。

(5) 事業内容の変更点

問5 問3で「2. 内容を変えて続けた方がよい」又は問4で「2. 内容が変われば実施したい」と答えた市町村にお聞きします。

具体的にどのように内容を変えたら良くなると思いますか。

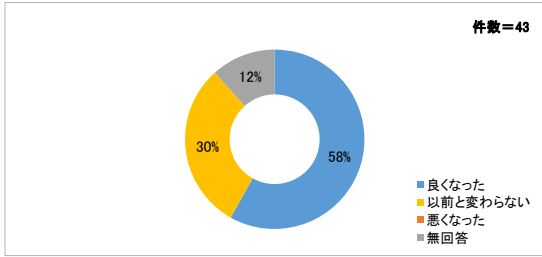
「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

5 都市緑化推進事業 市町村アンケート

送付数 54/回答数 43 回答率 80%

(1) 事業実施による都市の緑の状況変化

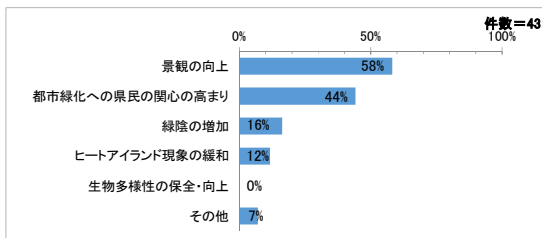
問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を実施した結果、貴市町村の都市の緑が良くなったと感じますか。



事業実施による都市の緑の状況変化について、「良くなった」と答えた市町村の割合が58%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(30%)の順になっている。

(2) 事業実施による効果(直接的効果)

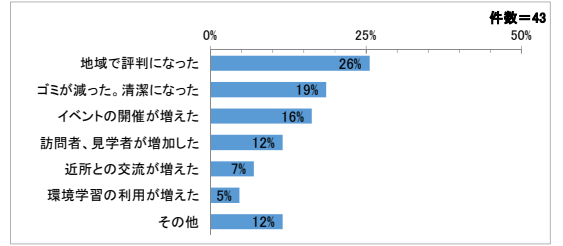
問2 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。(複数回答可)



事業実施による効果(直接的効果)について、「景観の向上」と答えた市町村の割合が58%と最も高く、続いて「都市緑化への県民の関心の高まり」(44%)、「緑陰の増加」(16%)の順になっている。

(3) 事業実施による効果(間接的效果)

問3 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施箇所において、良かったことはありますか。

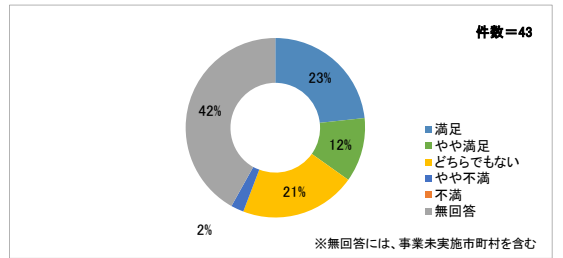


事業実施による効果(間接的效果)について、「地域で評判になった」と答えた市町村の割合が26%と最も高く、続いて「ゴミが減った。清潔になった」(19%)、「イベントの開催が増えた」(16%)の順になっている。

(4) 事業内容の満足度

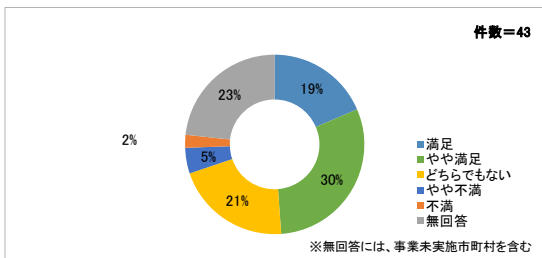
問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、貴市町村にとって満足できる事業ですか。

①身近な緑づくり事業(都市における樹林地の保全・創出を図る事業)



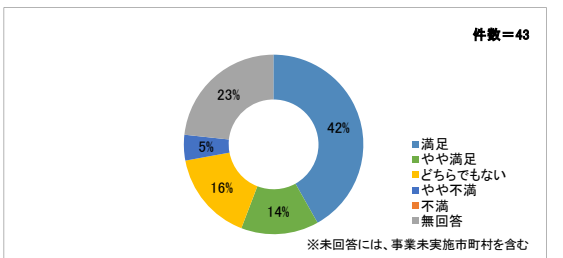
事業内容の満足度について、「満足」(23%)と「やや満足」(12%)を合わせた「満足」と答えた市町村の割合が35%であったのに対し、「やや不満」と答えた市町村の割合は2%となっている。

②緑の街並み推進事業(民有地の緑化を推進する事業)



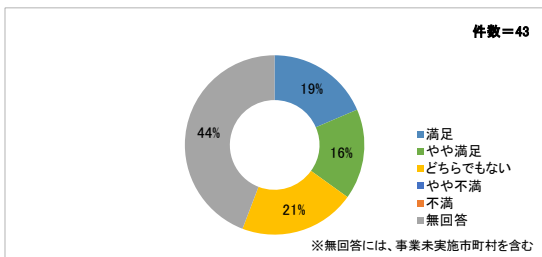
事業内容の満足度について、「満足」(19%)と「やや満足」(30%)を合わせた「満足」と答えた市町村の割合が49%であったのに対し、「やや不満」(5%)と「不満」(2%)を合わせた「不満」と答えた市町村の割合は7%となっている。

④県民参加緑づくり事業(県民参加での緑化活動等を推進する事業)



事業内容の満足度について、「満足」(42%)と「やや満足」(14%)を合わせた「満足」と答えた市町村の割合が56%であったのに対し、「やや不満」と答えた市町村の割合は5%となっている。

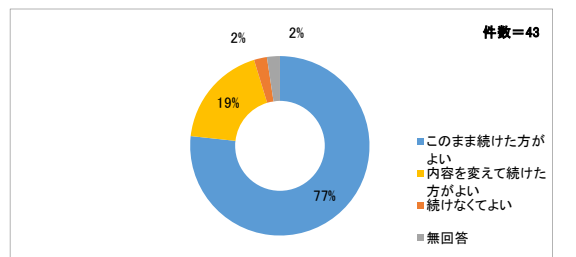
③美しい並木道再生事業(街路樹の植替えにより美しい並木道再生する事業)



事業内容の満足度について、「満足」(19%)と「やや満足」(16%)を合わせた「満足」と答えた市町村の割合が35%となっている。

(5) 今後の事業継続について

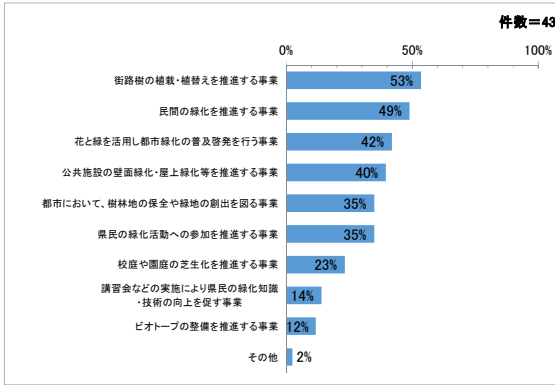
問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いませんか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(77%)と「内容を変えて続けた方がよい」(19%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた市町村の割合が96%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた市町村の割合は2%となっている。

(6) 今後の事業のあり方

問6 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業では、どのような事業を行うことができれば良いと思いますか。



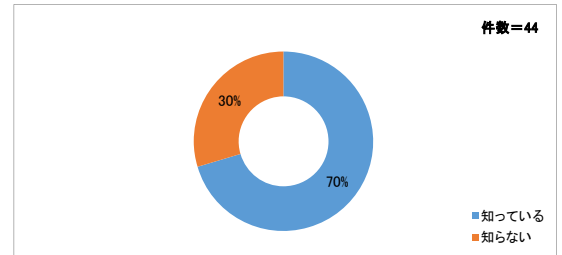
今後の事業のあり方について、「街路樹の植栽・植替えを推進する事業」と答えた市町村の割合が53%と最も高く、続いて「民間の緑化を推進する事業」(49%)、「花と緑を活用し都市緑化の普及啓発を行う事業」(42%)の順になっている。

6 環境活動・学習推進事業 市町村アンケート

送付数 54/回答数 44 回答率 81%

(1) 事業の認知度

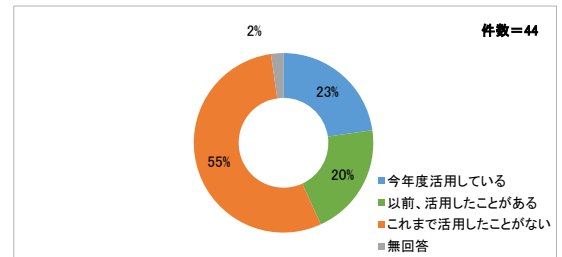
問1 あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業をご存じですか。



事業の認知度について、「知っている」と答えた市町村の割合が70%であったのに対し、「知らない」と答えた市町村の割合は30%となっている。

(2) 事業の活用状況

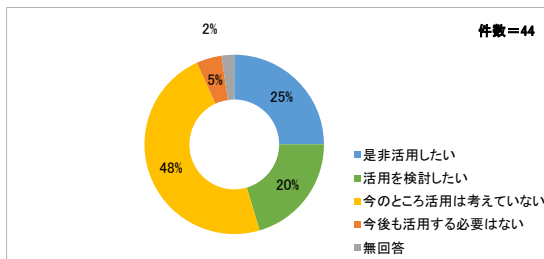
問2 貴市町村は、交付団体としてこの事業を活用していますか。



事業の活用状況について、「今年度活用している」(23%)と「以前、活用したことがある」(20%)を合わせた“活用したことがある”と答えた市町村の割合が43%であったのに対し、「これまで活用したことがない」と答えた市町村の割合は55%となっている。

(3) 今後の事業活用予定

問3 貴市町村(環境部局)は、交付団体として今後この事業を活用したいと考えますか。



今後の事業活用予定について、「是非活用したい」(25%)と「活用を検討したい」(20%)を合わせた“活用を考えている”と答えた市町村の割合が45%であったのに対し、「今のところ活用は考えていない」(48%)と「今後も活用する必要はない」(5%)を合わせた“活用を考えていない”と答えた市町村の割合は53%となっている。

(4-1) 今後、支援を受けたい活動

問4-1 問3で「1. 是非活用したい」又は「2. 活用を検討したい」と回答された市町村にお聞きします。この事業では、交付対象事業を別表のとおりとしていますが、今後、この事業の交付金により支援を受けたいと考える活動があれば具体的にお願いします。

※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

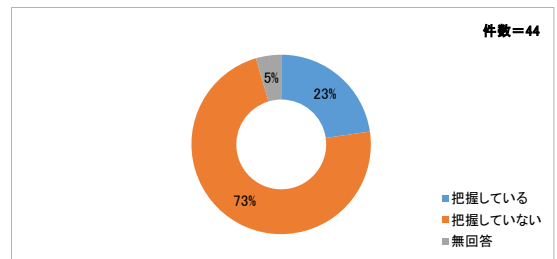
(4-2) 事業を活用しない理由

問4-2 問3で「3. 今のところ活用は考えていない」又は「4. 今後も活用する必要はない」と回答された市町村にお聞きします。この事業を活用しない理由をお願いします。

※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

(5) 事業実施団体の把握

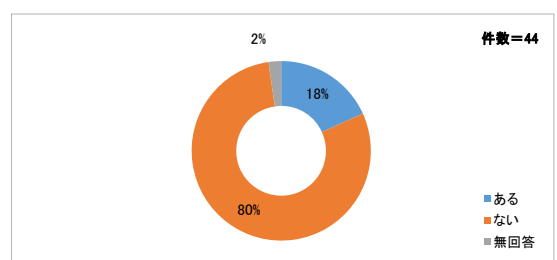
問5 貴市町村内においてこの事業を活用しているNPO等を把握していますか。



事業実施団体の把握について、「把握している」と答えた市町村の割合が23%であったのに対し、「把握していない」と答えた市町村の割合は73%となっている。

(6) 事業実施団体との関わり

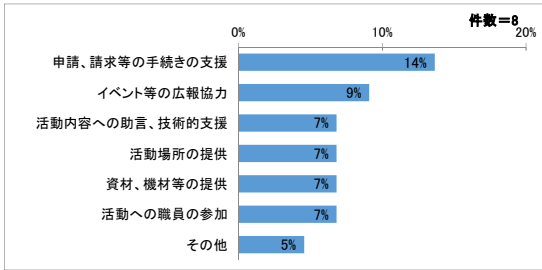
問6 貴市町村(環境部局)は、この事業を活用しているNPO等との関わりはありますか。



事業実施団体との関わりについて、「ある」と答えた市町村の割合が18%であったのに対し、「ない」と答えた市町村の割合は80%となっている。

(7) 事業実施団体との具体的な関わり

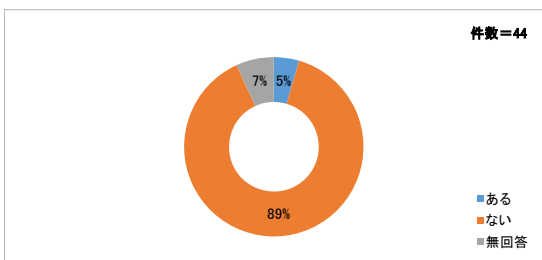
問7 問6で「1. ある」と回答された市町村にお聞きします。具体的にどのような関わりがありますか。



事業実施団体との具体的な関わりについて、「申請、請求等の手続きの支援」と回答された市町村の割合が14%と最も高く、続いて「イベント等の広報協力」(9%)、「活動内容への助言、技術的支援」等(7%)の順になっている。

(8) 事業実施団体からの要望の有無

問8 この事業について、NPO等から要望等を受けたことがありますか。ある場合は内容を具体的にお書きください。

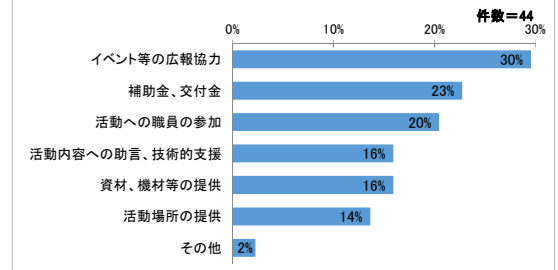


事業実施団体からの要望の有無について、「ある」と回答された市町村の割合が5%であったのに対し、「ない」と回答された市町村の割合は89%となっている。

25

(9) 環境活動・環境学習に関する独自施策

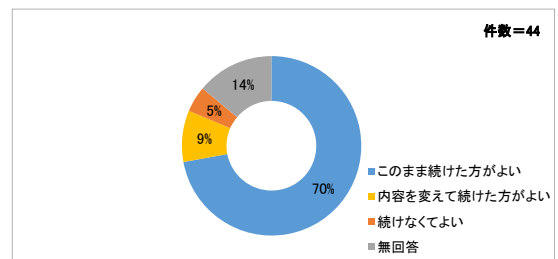
問9 環境活動・環境学習に関して、貴市町村の施策で独自にNPO等に対して行っているものをお答えください。



環境活動・環境学習に関する独自施策について、「イベント等の広報協力」と回答された市町村の割合が30%と最も高く、続いて「補助金、交付金」(23%)、「活動への職員の参加」(20%)の順になっている。

(10) 今後の事業継続について

問10 あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進の取組を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(70%)と「内容を変えて続けた方がよい」(9%)を合わせた「続けた方がよい」と回答された市町村の割合が79%であったのに対し、「続けなくてよい」と回答された市町村の割合は5%となっている。

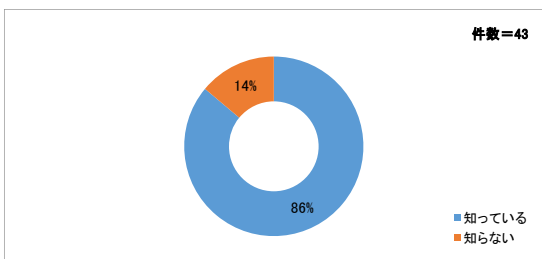
26

7 木の香る学校づくり推進事業 市町村アンケート

送付数 54 / 回答数 43 回答率 80%

(1) 事業の認知度

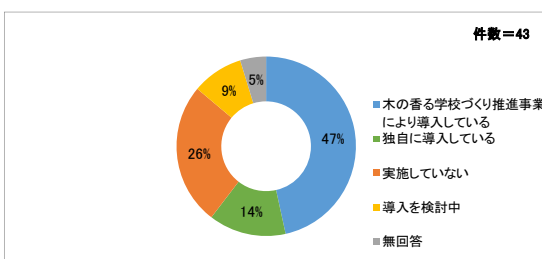
問1 木の香る学校づくり推進事業をご存じですか。



事業の認知度について、「知っている」と回答された市町村の割合が86%であったのに対し、「知らない」と回答された市町村の割合は14%となっている。

(2) 国産木材製品の導入状況

問2 県産木材に限らず、国産材を使った木製の机・椅子、下駄箱、ロッカーなどの導入を行っていますか。

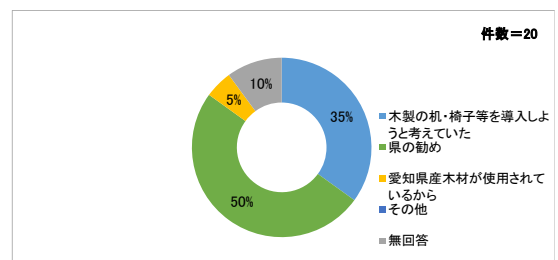


国産木材製品の導入状況について、「木の香る学校づくり推進事業により導入している」と回答された市町村の割合が47%と最も高く、続いて「実施していない」(26%)、「独自に導入している」(14%)の順になっている。

27

(3-1) 事業を利用したきっかけ

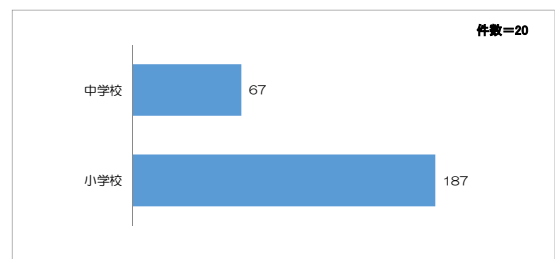
問3-1 「木の香る学校づくり推進事業」を利用したきっかけはなんですか。



事業を利用したきっかけについて、「県の勧め」と回答された市町村の割合が50%と最も高く、続いて「木製の机・椅子等を導入しようと考えていた」(35%)、「愛知県産木材が使用されているから」(5%)の順になっている。

(3-2) 事業を実施した学校数

問3-2 「木の香る学校づくり推進事業」を実施した学校は何校ありますか。(平成21年度～平成28年度末)

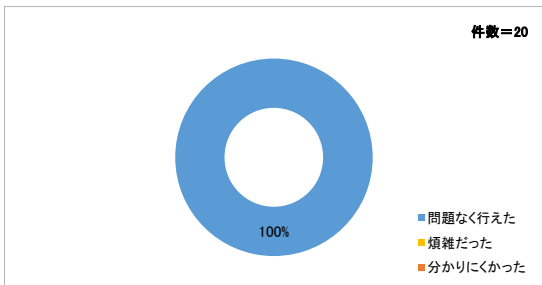


「小学校」が187校、「中学校」が67校実施している。(回答のあった20市町村の内、2市町村は学校数の回答なし)

28

(3-3) 事業実施の手続き

問 3-3 事業実施のための事務手続きはスムーズに行えましたか。

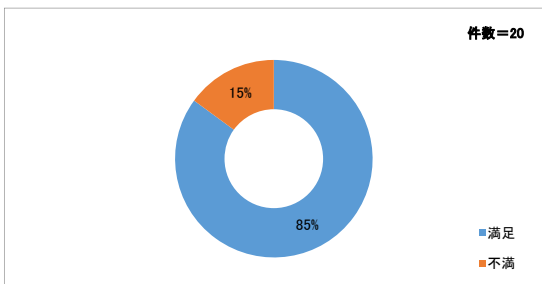


事業実施の手続きについて、「問題なく行えた」と答えた市町村の割合が 100%となっている。

(3-4) 事業に対する満足度

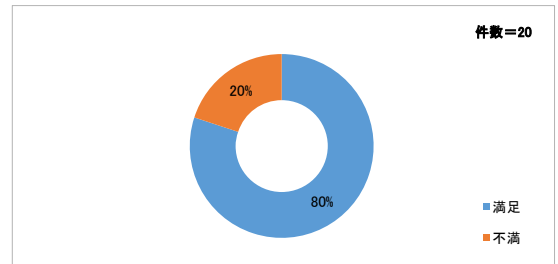
問 3-4 木の香る学校づくり推進事業（事業及び導入した机・椅子等）は貴市町村にとって満足できるものでしたか。

① 事業について



事業に対する満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が 85%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合は 15%となっている。

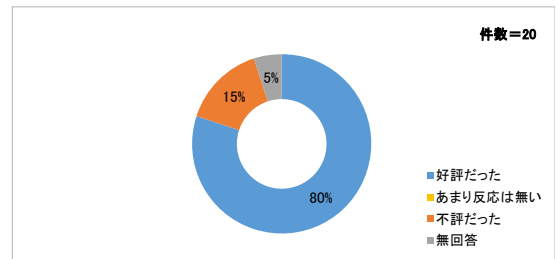
② 導入した机・椅子について



導入した机・椅子の満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が 80%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合は 20%となっている。

(3-5) 事業実施校の反応

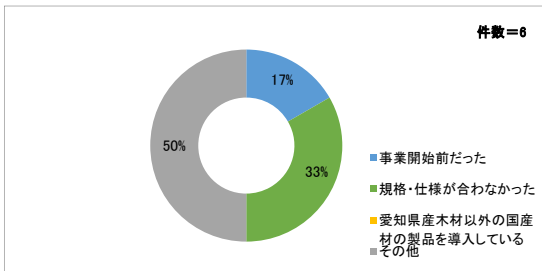
問 3-5 事業を実施した学校の反応はいかがでしたか。



事業実施校の反応について、「好評だった」と答えた市町村の割合が 80%であったのに対し、「不評だった」と答えた市町村の割合は 15%となっている。

(4-1) 事業を利用しなかった理由（独自に導入した市町村）

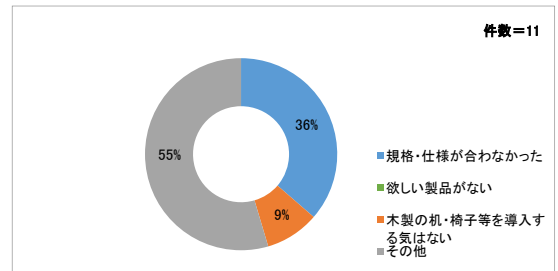
問 4-1 木の香る学校づくり推進事業を利用しなかった理由は何ですか。



事業を利用しなかった理由について、「規格・仕様が合わなかった」と答えた市町村の割合が 33%と最も高く、続いて「事業開始前だった」（17%）になっている。

(5) 事業を実施しない理由（未導入市町村）

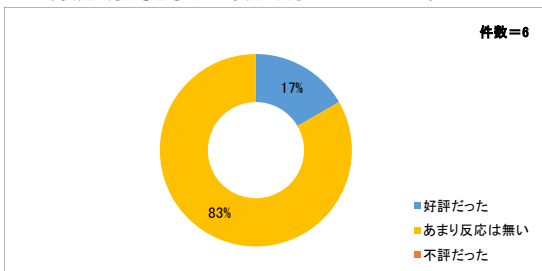
問 5 木の香る学校づくり推進事業を実施していない理由は何ですか。



事業を実施しない理由について、「規格・仕様が合わなかった」と答えた市町村の割合が 36%と最も高く、続いて「木製の机・椅子等を導入する気はない」（9%）になっている。

(4-2) 木製机・椅子等の導入校の反応（独自に導入した市町村）

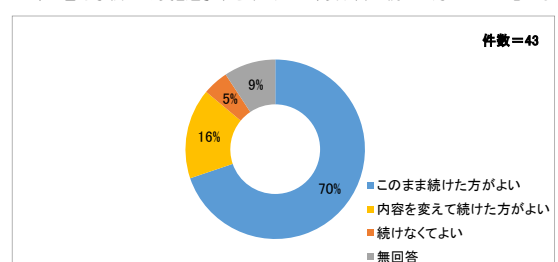
問 4-2 木製机・椅子等を導入した学校の反応はいかがでしたか。



木製机・椅子等の導入校の反応について、「あまり反応は無い」と答えた市町村の割合が 83%と最も高く、続いて「好評だった」（17%）になっている。

(6) 今後の事業継続について

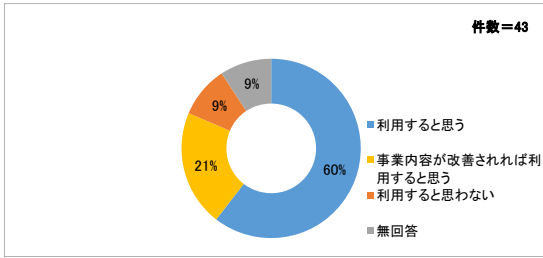
問 6 木の香る学校づくり推進事業を平成 31 年度以降も続けた方がよいと思いませんか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」（70%）と「内容を変えて続けた方がよい」（16%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた市町村の割合が 86%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた市町村の割合は 5%となっている。

(7) 今後の事業利用について

問7 木の香る学校づくり推進事業を平成31年度以降も続けていった場合、木製机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入する時は、事業を利用しようと思いますか。



今後の事業利用について、「利用すると思う」(60%)と「事業内容が改善されれば利用すると思う」(21%)を合わせた“利用すると思う”と答えた市町村の割合が81%であったのに対し、「利用すると思わない」と答えた市町村の割合は9%となっている。

(8) 事業内容の変更点

問8 問3-4で「2. 不満」、問3-5で「3. 不評だった」、問6で「2. 内容を変えて続けた方がよい」又は問7で「2. 事業内容が改善されれば利用すると思う」と答えた市町村にお聞きします。

具体的にどのような内容を変えたら良くなると思いますか。

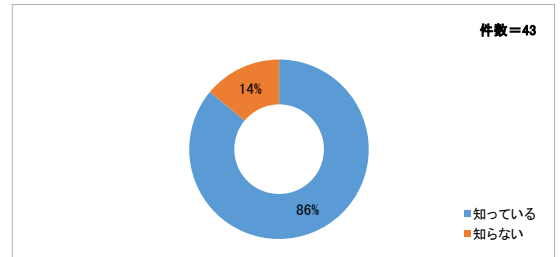
※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

8 愛知県産木材利活用推進事業 市町村アンケート

送付数 54/回答数 43 回答率 80%

(1) 事業の認知度

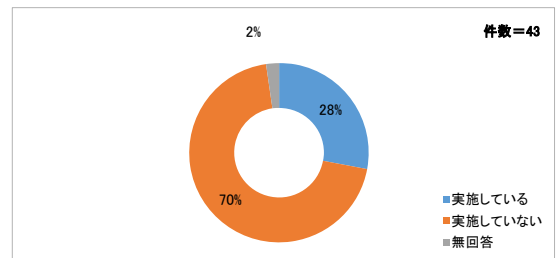
問1 愛知県産木材利活用推進事業をご存じですか。



事業の認知度について、「知っている」と答えた市町村の割合が86%であったのに対し、「知らない」と答えた市町村の割合は14%となっている。

(2) 事業の実施状況

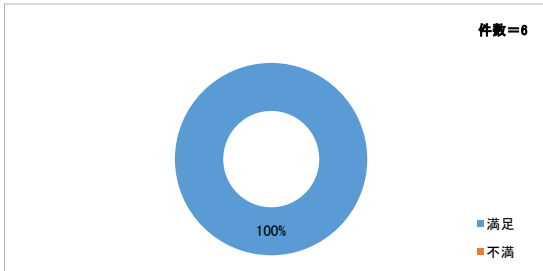
問2 この事業を活用して、間伐材の搬出促進または愛知県産木材を利用した木製ベンチの導入を行っていますか。



事業の実施状況について、「実施している」と答えた市町村の割合が28%であったのに対し、「実施していない」と答えた市町村の割合は70%となっている。

(3-1) 事業に対する満足度（間伐材の搬出促進）

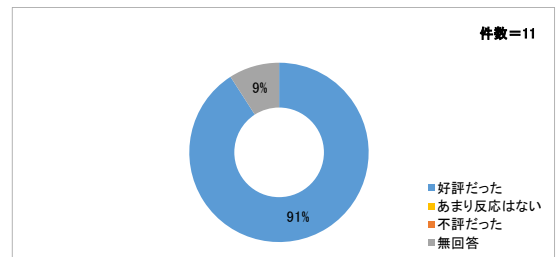
問3-1 間伐材の搬出促進について、貴市町村にとって満足できるものでしたか。



事業（間伐材の搬出促進）に対する満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が100%となっている。

(3-3) ベンチ導入施設の利用者の反応

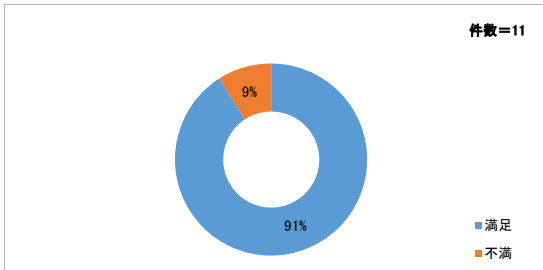
問3-3 ベンチを導入した施設の利用者の反応はいかがでしたか。



ベンチ導入施設の利用者の反応について、「好評だった」と答えた市町村の割合が91%となっている。

(3-2) 事業に対する満足度（ベンチ導入）

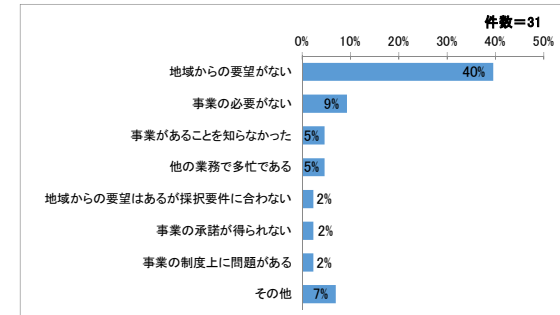
問3-2 ベンチ導入について、貴市町村にとって満足できるものでしたか。



事業（ベンチ導入）に対する満足度について、「満足」と答えた市町村の割合が91%であったのに対し、「不満」と答えた市町村の割合は9%となっている。

(4) 事業を実施していない理由

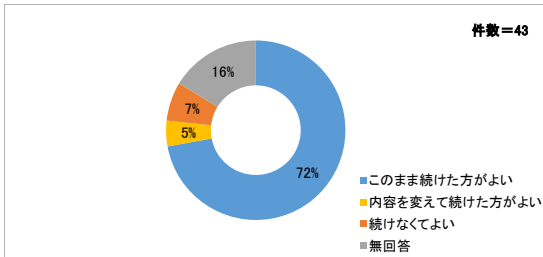
問4-1 これまで、この事業を実施していない理由を教えてください。



事業を実施していない理由について、「地域からの要望がない」と答えた市町村の割合が40%と最も高く、続いて「事業の必要がない」(9%)、「事業があることを知らなかった」(5%)、「他の業務で多忙である」(5%)の順になっている。

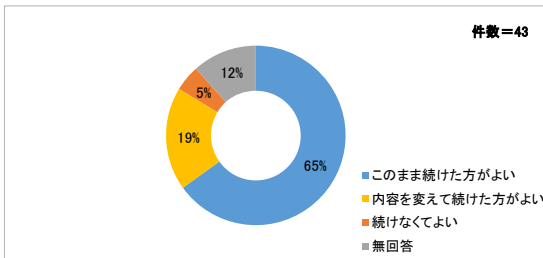
(5) 今後の事業継続について

問 5-1 間伐材の搬出促進の支援を平成 31 年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(72%)と「内容を変えて続けた方がよい」(5%)を合わせた“続けた方がよい”と答えた市町村の割合が77%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた市町村の割合は7%となっている。

問 5-2 ベンチ導入の支援を平成 31 年度以降も続けた方がよいと思いますか。



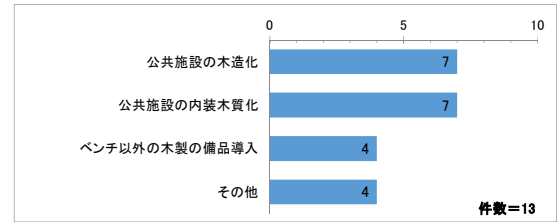
今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(65%)と「内容を変えて続けた方がよい」(19%)を合わせた“続けた方がよい”と答えた市町村の割合が84%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた市町村の割合は5%となっている。

(6) 事業内容の変更点

問 6-1 間伐材の搬出促進の支援について、どのような内容に変えたらよいと思いますか。

※「その他、この事業に対する自由意見等」を参照

問 6-2 ベンチ導入の支援について、どのような内容に変えたらよいと思いますか。



事業内容の変更点について、「公共施設の木造化」と「公共施設の内装木質化」と答えた市町村の数が7件と最も多く、続いて「ベンチ以外の木製の備品導入」(4件)となっている。

(4) 事業関係者アンケート

1 調査の概要

(1) 調査目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、事業関係者の事業に対する有効性・満足度・今後の期待度等の把握をし、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) アンケート調査の項目と回答率

調査の項目	送付数	回答数	回答率
1 人工林整備事業 森林所有者アンケート	300	203	68%
2 人工林整備事業 事業者アンケート	62	50	81%
3 里山林整備事業 森林所有者アンケート	100	66	66%
4 里山林整備事業 地域活動団体アンケート	40	38	95%
5 森林整備技術者養成研修 事業者アンケート	36	27	75%
6 森林整備技術者養成研修 受講者アンケート	212	103	49%
7 都市緑化推進事業 芝生化事業者アンケート	81	49	60%
8 都市緑化推進事業 民間事業者アンケート	123	88	72%
9 環境活動・学習推進事業 事業実施団体アンケート	109	83	76%
10 木の香る学校づくり推進事業 導入校アンケート	100	40	40%
11 木の香る学校づくり推進事業 製造業者アンケート	10	7	70%
12 愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入） 導入施設アンケート	20	16	80%
13 愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入） 製造業者アンケート	10	5	50%

1

2

(3) 調査設計

- ①調査地域 愛知県
- ②調査対象 学校関係者、森林所有者、地域活動団体、森林整備事業体、机・椅子製造販売業者
- ③標本数 1504
- ④抽出方法 2、4～7、9、11～13については、全数調査
1、3、8、10については、層化無作為抽出法
- ⑤調査方法 郵送法
- ⑥調査期間 平成29年6月30日～7月19日

(4) 調査委託先

合同会社KURIO

(5) 回収結果

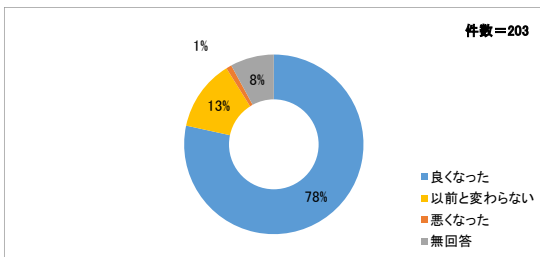
- ①標本数 1504
- ②回収数 1014 (67.4%)

1 人工林整備事業 森林所有者アンケート

送付数 300/回答数 203 回答率 68%

(1) 事業実施による効果

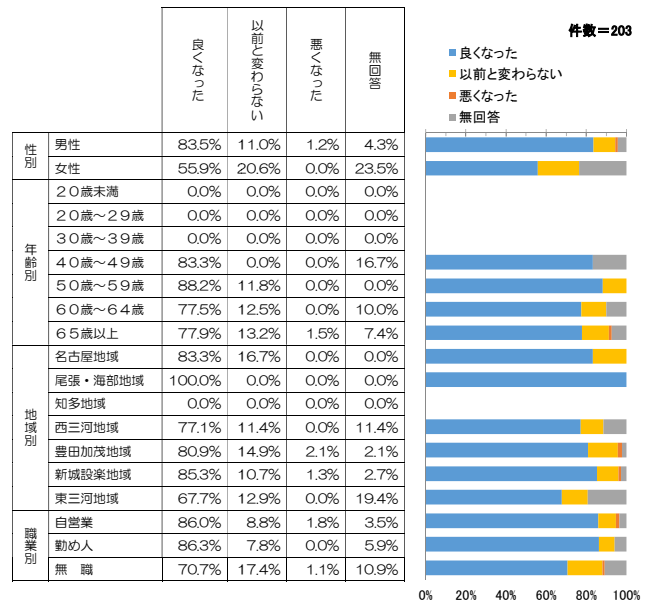
問1 あいち森と緑づくり事業で行った間伐で、あなたの森林が良くなったと思いますか。



事業実施による効果について、「良くなった」と答えた人の割合が78%と最も高く、続いて「以前と変わらない」（13%）、「悪くなった」（1%）の順になっている。

3

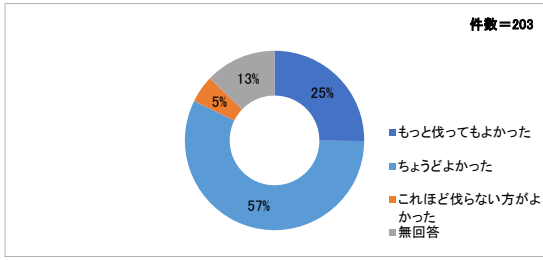
事業実施による効果（性別、年齢別、地域別、職業別）



4

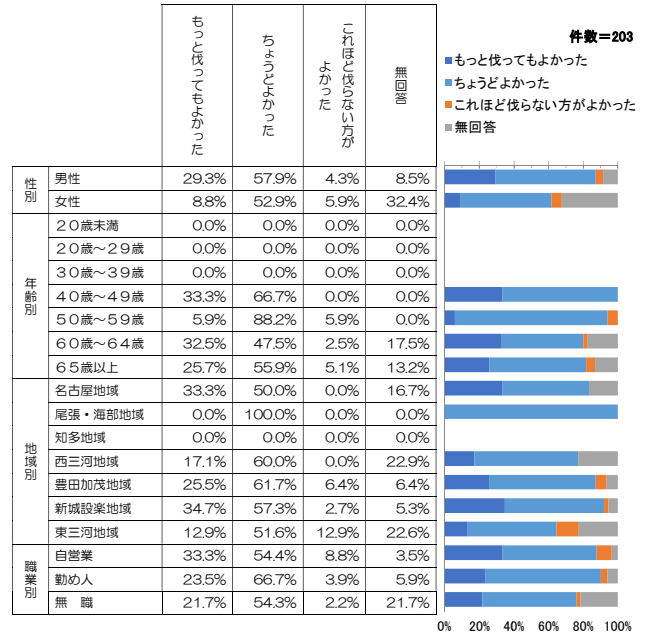
(2) 強度の間伐について

問 2 林業で一般的に行われる間伐よりも強度な間伐（本数率で約 40%）を実施して、どう思いましたか。



強度の間伐について、「ちょうどよかった」と答えた人の割合が57%と最も高く、続いて「もっと伐ってもよかった」(25%)、「これほど伐らない方がよかった」(5%)の順になっている。

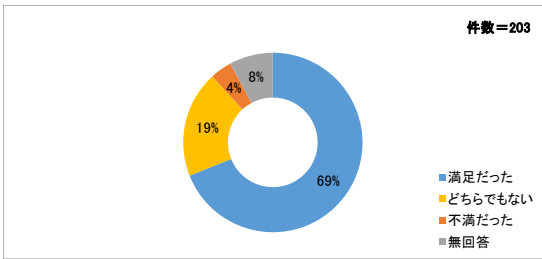
強度の間伐について（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

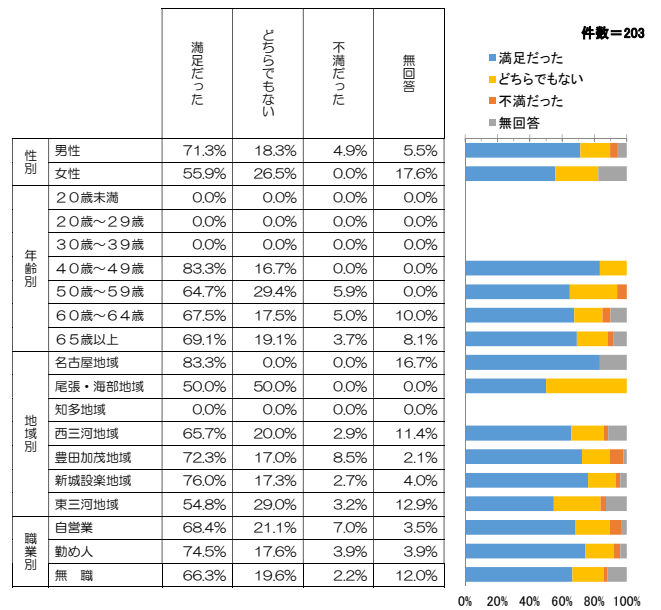
(3) 事業に対する満足度

問 4 あいち森と緑づくり事業で行った間伐は、あなたにとって満足できるものでしたか。



事業に対する満足度について、「満足だった」と答えた人の割合が69%と最も高く、続いて「どちらでもない」(19%)、「不満だった」(4%)の順になっている。

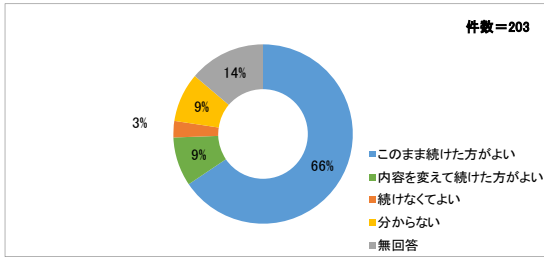
事業に対する満足度（性別、年齢別、地域別、職業別）



0% 20% 40% 60% 80% 100%

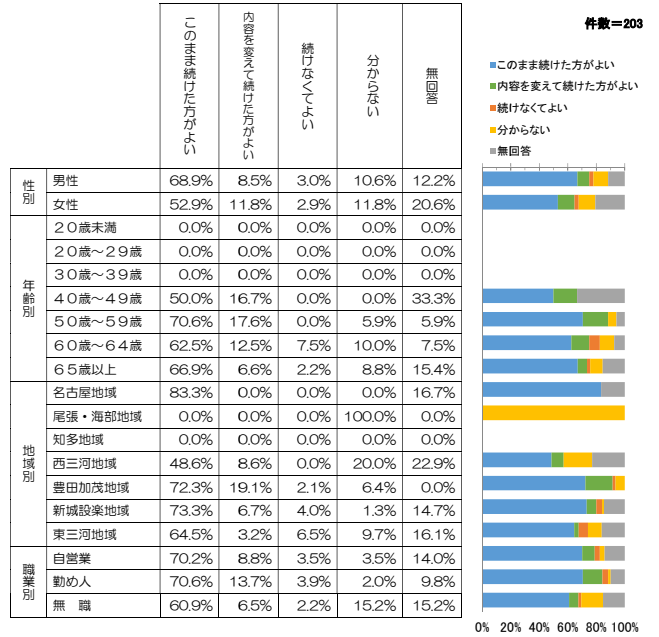
(4) 今後の事業継続について

問4 あいち森と緑づくり事業による間伐を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いませんか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(66%)と「内容を変えて続けた方がよい」(9%)を合わせた“続けた方がよい”と答えた人の割合が75%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は3%となっている。

今後の事業継続について (性別、年齢別、地域別、職業別)

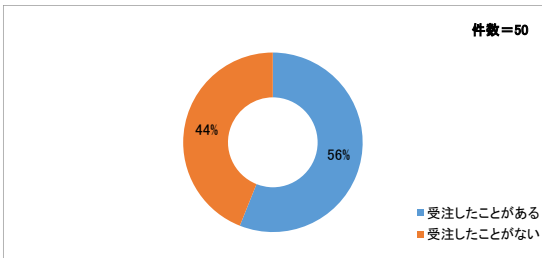


2 人工林整備事業 事業者アンケート

送付数 62/回答数 50 回答率 81%

(1) 事業受注の有無

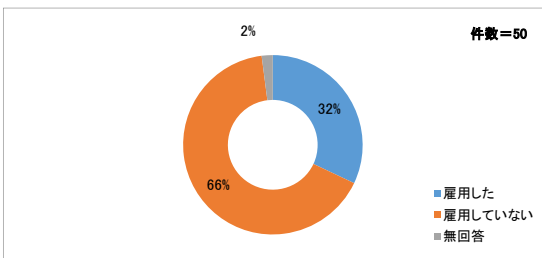
問1 貴社は、あいち森と緑づくり事業(人工林整備事業)を受注したことがありますか。



事業受注の有無について、「受注したことがある」と答えた人の割合が56%であったのに対し、「受注したことがない」と答えた人の割合は44%となっている。

(2) 事業開始による新規雇用の有無

問2 貴社は、あいち森と緑づくり事業が始まったことをきっかけに新規就労者を雇用しましたか。

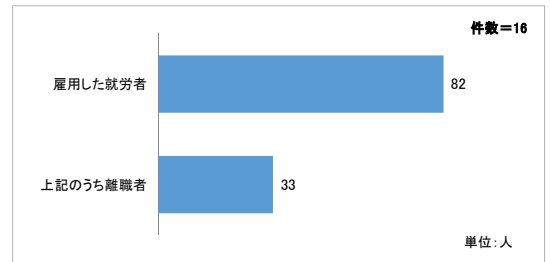


事業開始による新規雇用の有無について、「雇用した」と答えた人の割合が32%であったのに対し、「雇用していない」と答えた人の割合は66%となっている。

(3) 新規就労者の事業への従事状況

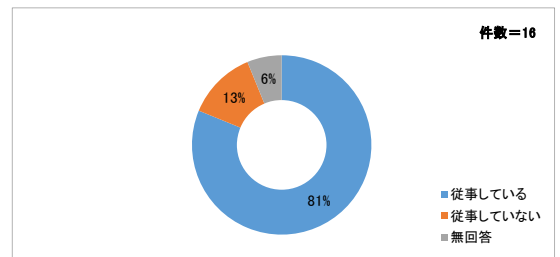
問3 問2で「1. 雇用した」と答えた方にお聞きします。

①雇用した就労者は何人ですか。



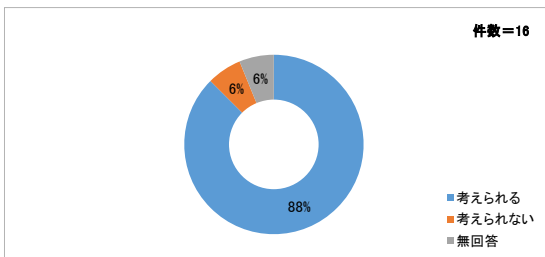
雇用した就労者82人の内、離職者が33人となっている。

②雇用した就労者はあいち森と緑づくり事業に従事しています(していました)か。



新規就労者の事業への従事状況について、「従事している」と答えた人の割合が81%であったのに対し、「従事していない」と答えた人の割合は13%となっている。

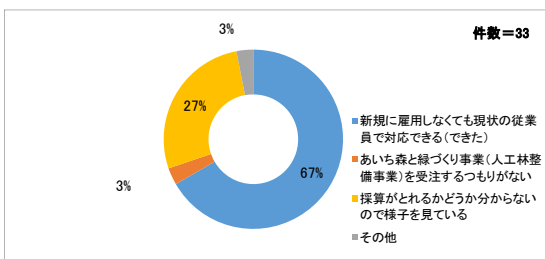
③あいち森と緑づくり事業が会社の雇用に効果があった(雇用するきっかけとなった)と考えられますか。



事業の雇用効果について、「考えられる」と答えた人の割合が88%であったのに対し、「考えられない」と答えた人の割合は6%となっている。

(4) 新規雇用しなかった理由

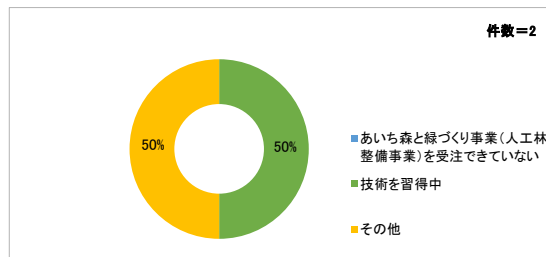
問4 問2で「2. 雇用していない」と答えた方にお聞きします。雇用しなかった理由は何ですか。



新規雇用しなかった理由について、「新規に雇用しなくても現状の従業員で対応できる(できた)」と答えた人の割合が67%と最も高く、続いて「採算がとれるかどうか分からないので様子を見ている」(27%)、「あいち森と緑づくり事業(人工林整備事業)を受注するつもりがない」(3%)の順になっている。

(5) 事業に従事していない理由

問5 問3-2で「2. 従事していない」と答えた方にお聞きします。従事していない理由は何ですか。



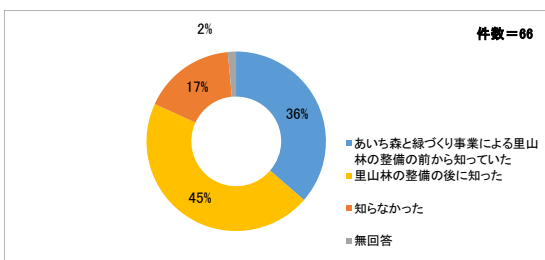
事業に従事していない理由について、「技術を習得中」と「その他」と答えた人の割合が50%となっている。

3 里山林整備事業 森林所有者アンケート

送付数 100/回答数 66 回答率 66%

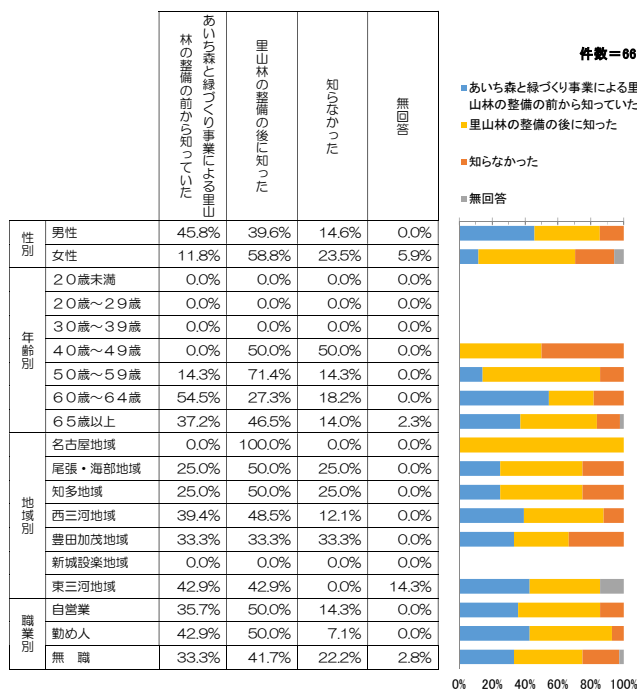
(1) 里山林整備の認知度

問1 生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていましたか。



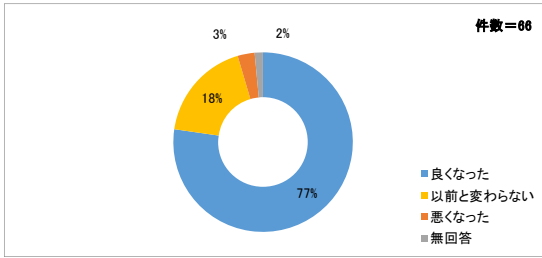
里山林整備の認知度について、「里山林の整備の後に知った」と答えた人の割合が45%と最も高く、続いて「あいち森と緑づくり事業による里山林の整備の前から知っていた」(36%)、「知らなかった」(17%)の順になっている。

里山林整備の認知度について(性別、年齢別、地域別、職業別)



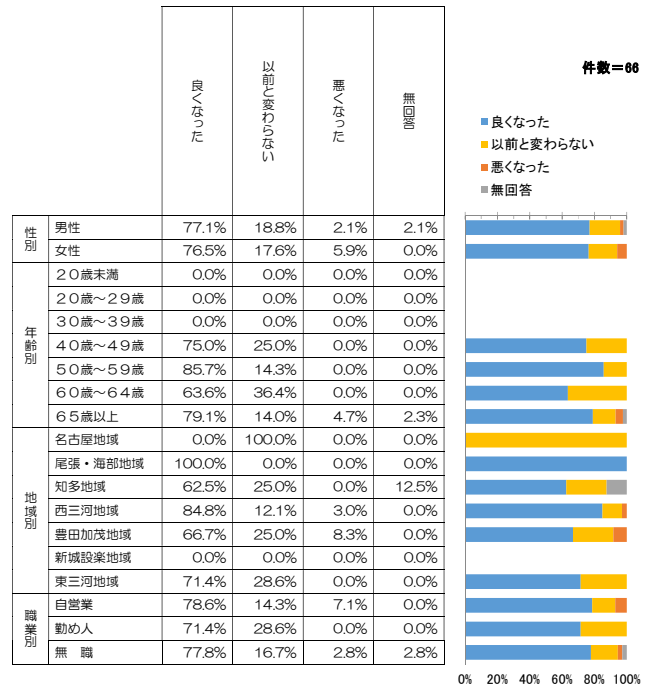
(2) 事業実施による効果

問2 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備で、あなたの森林が良くなったと思いますか。



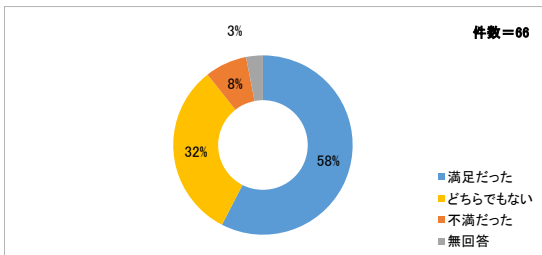
事業実施による効果について、「良くなった」と答えた人の割合が77%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(18%)、「悪くなった」(3%)の順になっている。

事業実施による効果 (性別、年齢別、地域別、職業別)



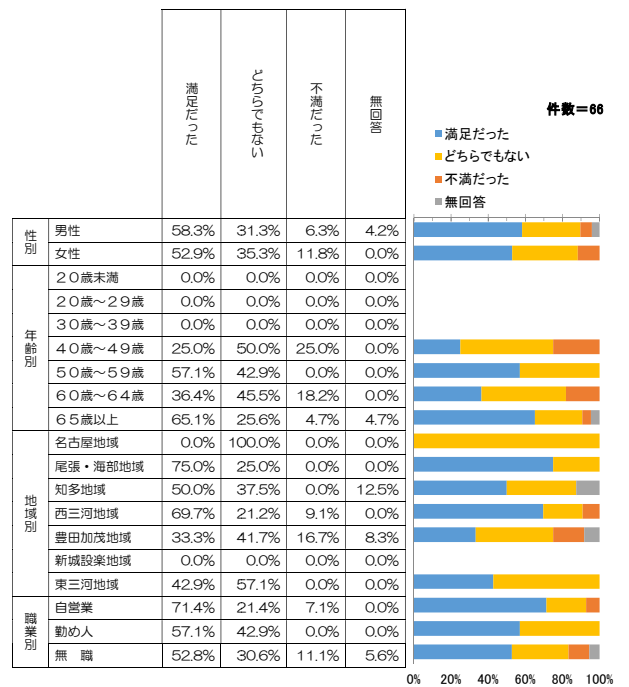
(3) 事業に対する満足度

問3 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備は、あなたにとって満足できるものでしたか。



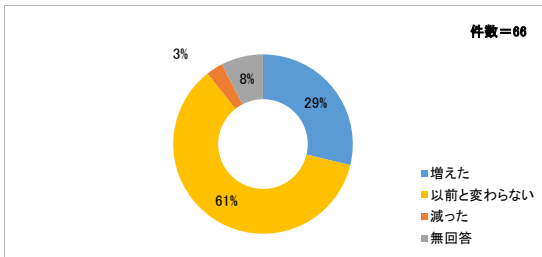
事業に対する満足度について、「満足だった」と答えた人の割合が58%と最も高く、続いて「どちらでもない」(32%)、「不満だった」(8%)の順になっている。

事業に対する満足度 (性別、年齢別、地域別、職業別)



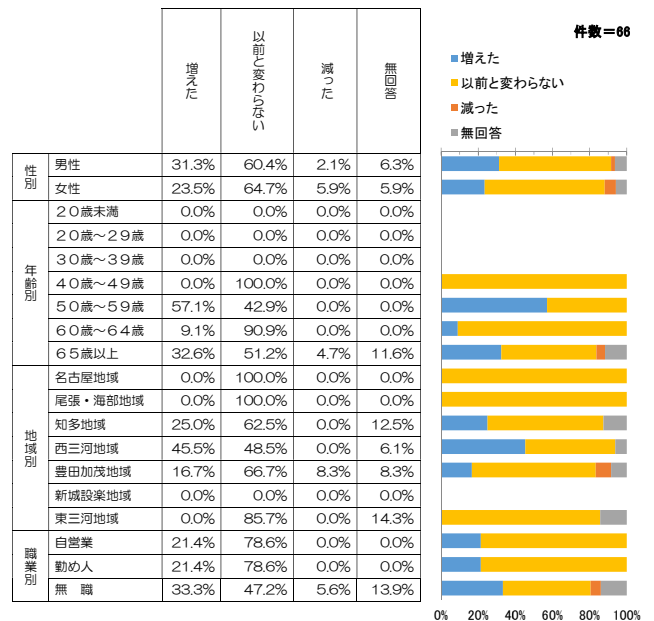
(4) 整備後に森林に行く回数

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を行ったことで、あなたはその森林に行く回数が増えましたか。



整備後に森林に行く回数について、「以前と変わらない」と答えた人の割合が61%と最も高く、続いて「増えた」(29%)、「減った」(3%)の順になっている。

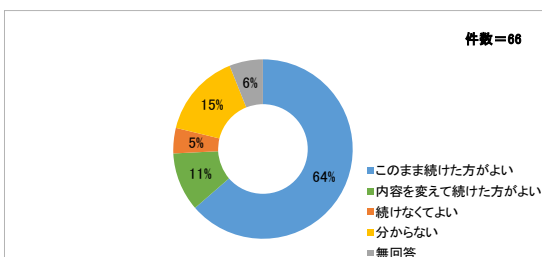
整備後に森林に行く回数 (性別、年齢別、地域別、職業別)



0% 20% 40% 60% 80% 100%

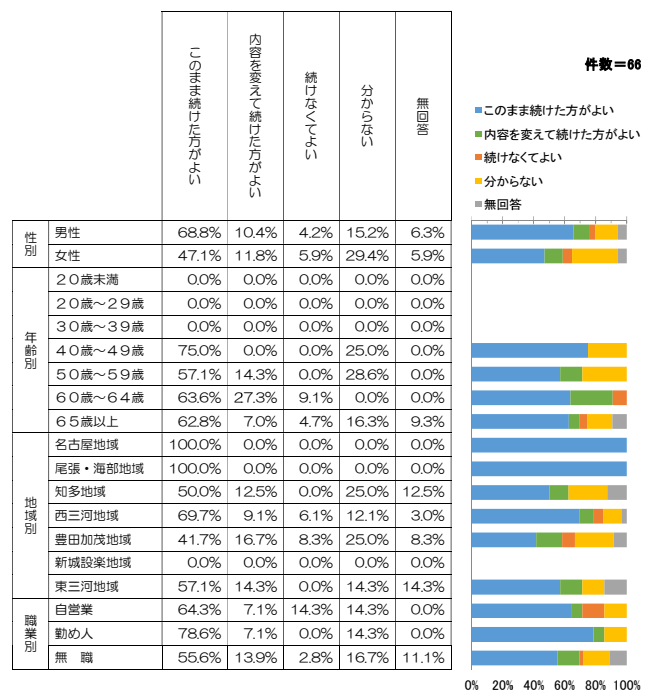
(5) 今後の事業継続について

問5 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(64%)と「内容を変えて続けた方がよい」(11%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が75%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は5%となっている。

今後の事業継続について (性別、年齢別、地域別、職業別)



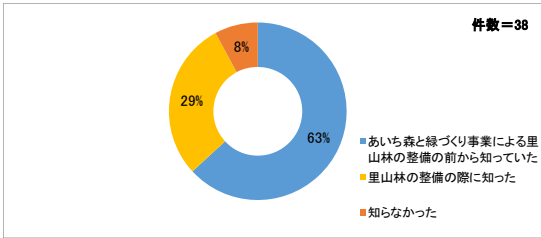
0% 20% 40% 60% 80% 100%

4 里山林整備事業 地域活動団体アンケート

送付数 40 / 回答数 38 回答率 95%

(1) 里山林整備の認知度

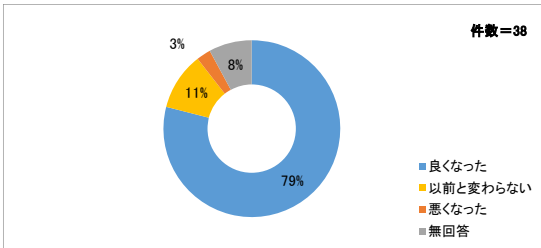
問1 生活環境の保全や災害の防止、生物多様性の保全などの公益的機能を回復させるため、里山林を整備する必要があることを知っていますか。



里山林整備の認知度について、「あいち森と緑づくり事業による里山林の整備の前から知っていた」と答えた人の割合が63%と最も高く、続いて「里山林の整備の際に知った」(29%)、「知らなかった」(8%)の順になっている。

(2) 事業実施による森林の変化

問2 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備で、あなたがたが関わっている森林が良くなったと思いますか。

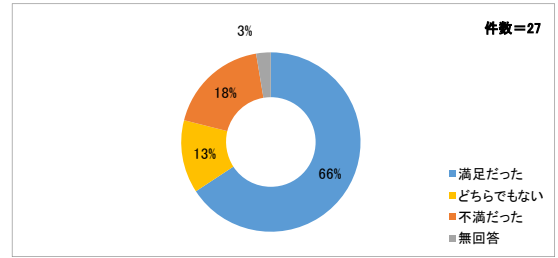


事業実施による森林の変化について、「良くなった」と答えた人の割合が79%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(11%)、「悪くなった」(3%)の順になっている。

25

(3) 事業に対する満足度

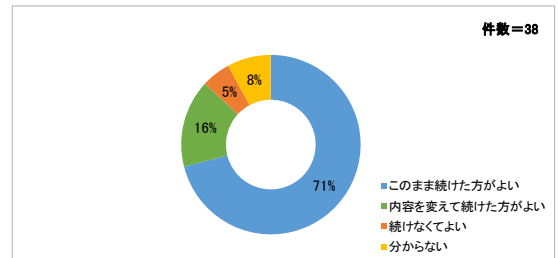
問3 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備は、あなたがたにとって満足できるものでしたか。



事業実施に対する満足度について、「満足だった」と答えた人の割合が66%と最も高く、続いて「不満だった」(18%)、「どちらでもない」(13%)の順になっている。

(4) 今後の事業継続について

問4 あいち森と緑づくり事業による里山林の整備を、県内の各地で平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(71%)と「内容を変えて続けた方がよい」(16%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が87%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は5%となっている。

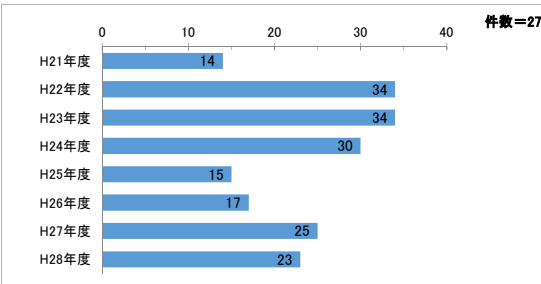
26

5 森林整備技術者養成研修 事業者アンケート

送付数 36 / 回答数 27 回答率 75%

(1) 受講者数の状況

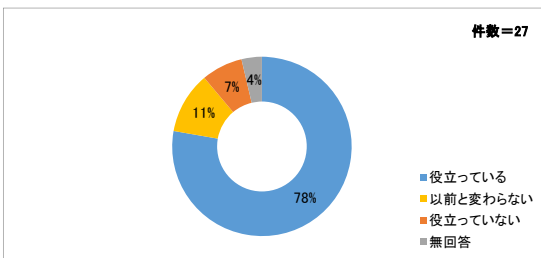
問1 貴社から何人の受講生が参加しましたか。



受講者数の状況について、「H22年度」と「H23年度」が34人と最も多く、続いて「H24年度」(30人)、「H27年度」(25人)の順になっている。

(2) 研修の有効性

問2 受講生の習得した技術が実際の現場で役立っていますか。

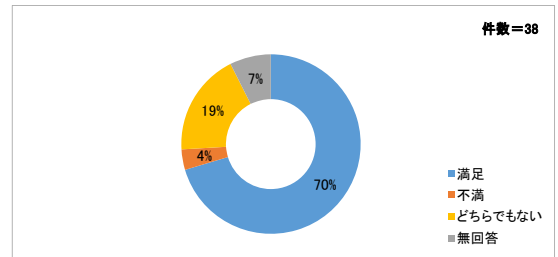


研修の有効性について、「役立っている」と答えた人の割合が78%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(11%)、「役に立っていない」(7%)の順になっている。

27

(3) 研修内容の満足度

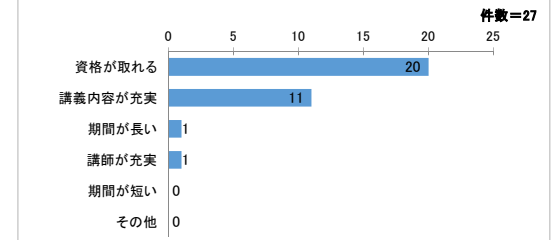
問3 研修(全般)は満足できるものでしたか。



研修内容の満足度について、「満足」と答えた人の割合が70%と最も高く、続いて「どちらでもない」(19%)、「不満」(4%)の順になっている。

(4) 研修の良かった点

問4 講義内容ではどういった点が満足でしたか。

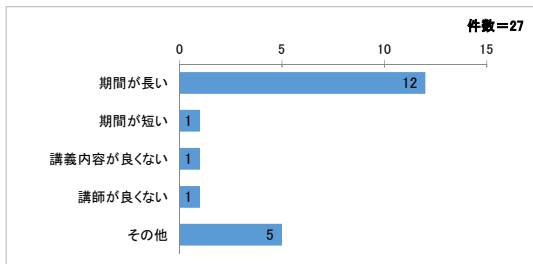


研修の良かった点について、「資格が取れる」と答えた人の数が20人と最も多く、続いて「講義内容が充実」(11人)となっている。

28

(5) 研修の悪かった点

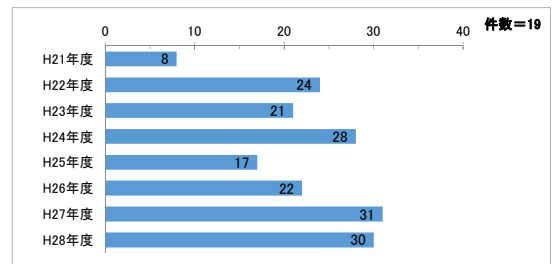
問5 研修内容ではどのような点が不満でしたか。



研修の悪かった点について、「期間が長い」と答えた人の数が12人と最も多くなっている。

(7) 受講者の事業への従事数

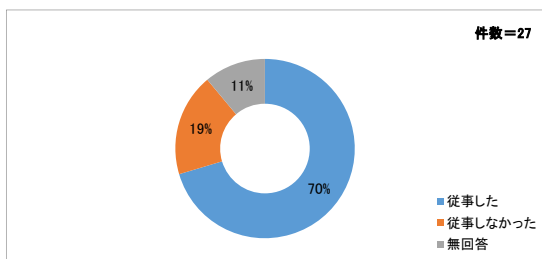
問7 問6で「1. 従事した」と答えた方にお聞きします。何人の方が従事しましたか。



受講者の事業への従事数について、「H27年度」が31人と最も多く、続いて「H28年度」(30人)、「H24年度」(28人)の順になっている。

(6) 受講者の事業への従事の有無

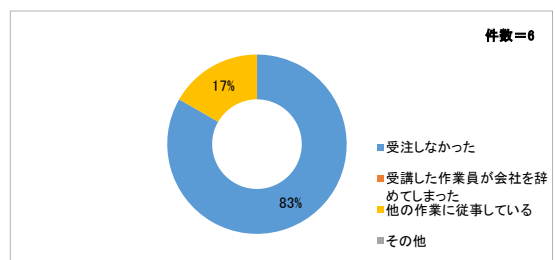
問6 貴社から研修を受講した作業員は、あいち森と緑づくり事業に従事しましたか。



受講者の事業への従事の有無について、「従事した」と答えた人の割合が70%であったのに対し、「従事しなかった」と答えた人の割合は19%となっている。

(8) 従事しなかった理由

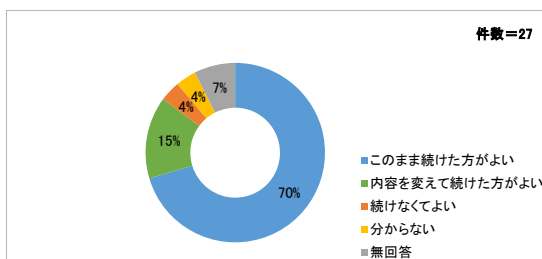
問8 問6で「2. 従事しなかった」と答えた方にお聞きします。従事しなかった理由は何ですか。



従事しなかった理由について、「受注しなかった」と答えた人の割合が83%であったのに対し、「他の作業に従事している」と答えた人の割合は17%となっている。

(9) 今後の事業継続について

問9 あいち森と緑づくり事業による森林整備技術者養成研修を平成31年度以降も続けたい方がよいと思いますか。



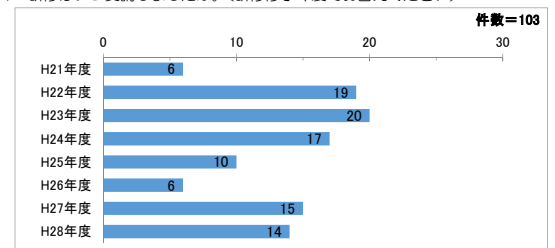
今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(70%)と「内容を変えて続けた方がよい」(15%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が85%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は4%となっている。

6 森林整備技術者養成研修 受講者アンケート

送付数 212/回答数 103 回答率 49%

(1) 受講年度の状況

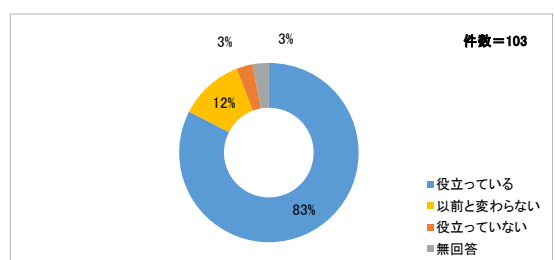
問1 研修はいつ受講しましたか。(研修終了年度でお答えください)



受講年度の状況について、「H23年度」と答えた人の数が20人と最も多く、続いて「H22年度」(19人)、「H24年度」(17人)の順になっている。

(2) 研修の有効性

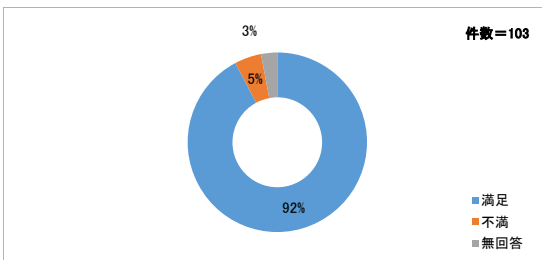
問2 習得した技術が実際の現場で役立っていますか。



研修の有効性について、「役立っている」と答えた人の割合が83%と最も高く、続いて「以前と変わらない」(12%)、「役立っていない」(3%)の順になっている。

(3) 講義内容の満足度

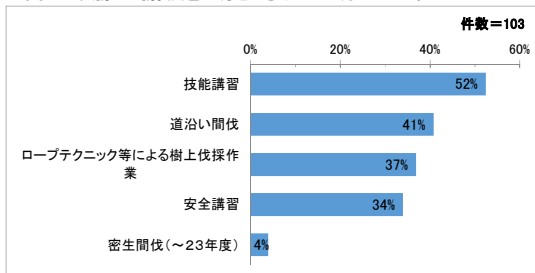
問3 あなたが受講した講義内容は満足できるものでしたか。



講義内容の満足度について、「満足」と答えた人の割合が92%であったのに対し、「不満」と答えた人の割合は5%となっている。

(4) 講義内容の良かった点

問4 あなたが受講した講義内容で満足できるものは何でしたか。

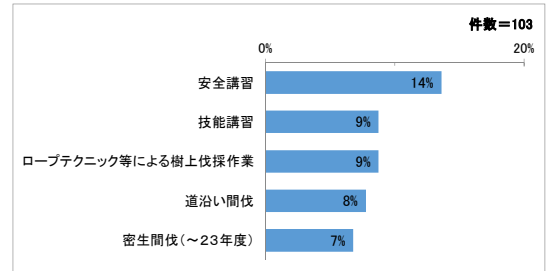


講義内容の良かった点について、「技能講習」と答えた人の割合が52%と最も高く、続いて「道沿い間伐」(41%)、「ロープテクニック等による樹上伐採作業」(37%)の順になっている。

33

(5) 講義内容の悪かった点

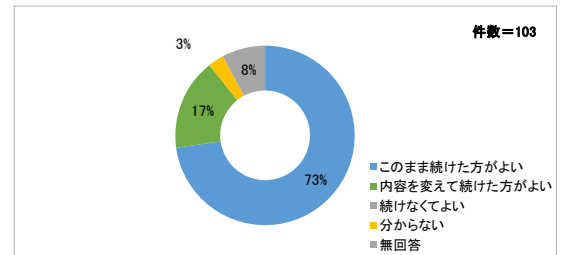
問5 あなたが受講した講義内容で不満だったものは何でしたか。



講義内容の悪かった点について、「安全講習」と答えた人の割合が14%と最も高く、続いて「技能講習」と「ロープテクニック等による樹上伐採作業」(9%)の順になっている。

(6) 今後の事業継続について

問5 あいち森と緑づくり事業による森林整備技術者養成研修を平成31年度以降も続けたい方はいくらいますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(73%)と「内容を変えて続けた方がよい」(17%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が90%であったのに対し、「分からない」と答えた人の割合は3%となっている。

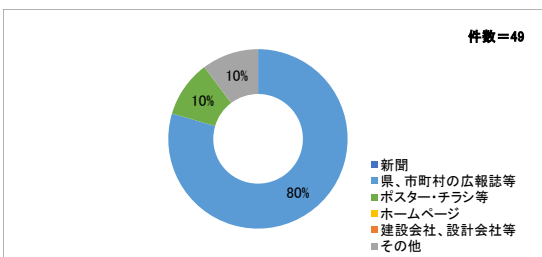
34

7 都市緑化推進事業 芝生化事業者アンケート

送付数 81 / 回答数 49 回答率 60%

(1) 事業を知った手段

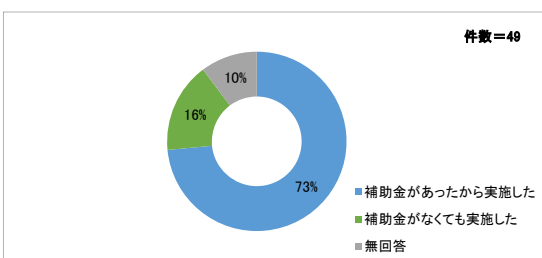
問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業は、どこで知りましたか。



事業を知った手段について、「新聞、市町村の広報誌等」と答えた人の割合が80%と最も高く、続いて「ポスター・チラシ等」(10%)となっている。

(2) 事業実施の理由

問2 芝生化を行ったのは、あいち森と緑づくり事業の補助金があったからですか。

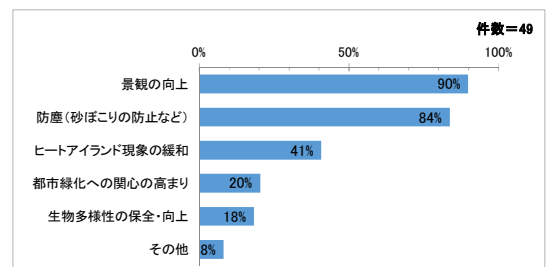


事業実施の理由について、「補助金があったから実施した」と答えた人の割合が73%であったのに対し、「補助金がなくとも実施した」と答えた人の割合は16%となっている。

35

(3) 事業実施による効果(直接的効果)

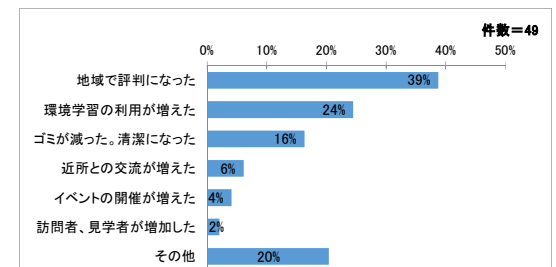
問3 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。



事業実施による効果(直接的効果)について、「景観の向上」と答えた人の割合が90%と最も高く、続いて「防塵(ぼこりの防止など)」(84%)、「ヒートアイランド現象の緩和」(41%)の順になっている。

(4) 事業実施による効果(間接的効果)

問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施箇所において良かったことはありますか。

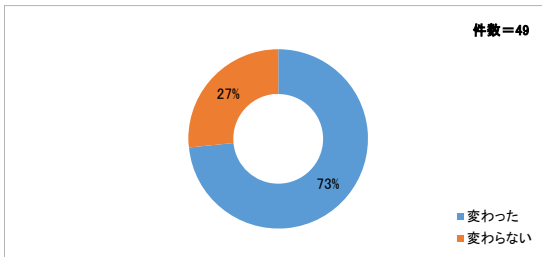


事業実施による効果(間接的効果)について、「地域で評判になった」と答えた人の割合が39%と最も高く、続いて「環境学習の利用が増えた」(24%)、「ゴミが減った。清潔になった」(16%)の順になっている。

36

(5) 事業実施による校庭・園庭の利用のしかたの変化

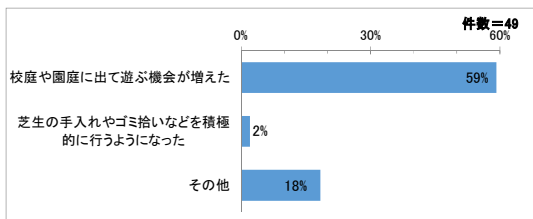
問5 校庭・園庭を芝生化したことにより、子どもたちの利用のしかたは変わりましたか。また、どのように変わりましたか。



事業実施による校庭・園庭の利用のしかたの変化について、「変わった」と答えた人の割合が73%であったのに対し、「変わらない」と答えた人の割合は27%となっている。

(6) 事業実施による子どもたちの変化

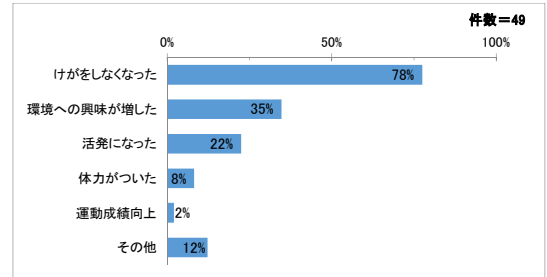
問6 子どもたちの利用のしかたは、どのように変わりましたか。



事業実施による子どもたちの変化について、「校庭や園庭に出て遊ぶ機会が増えた」と答えた人の割合が59%と最も高くなっている。

(7) 事業実施による子どもたちへの効果

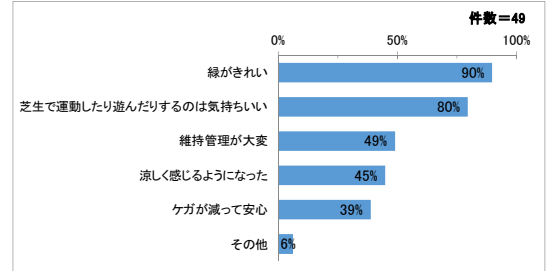
問7 芝生化したことで子どもたちへどのような効果がありましたか。



事業実施による子どもたちへの効果について、「けがをしなくなった」と答えた人の割合が78%と最も高く、続いて「環境への興味が増した」(35%)、「活発になった」(22%)の順になっている。

(8) 事業実施による子どもたちや保護者の反応

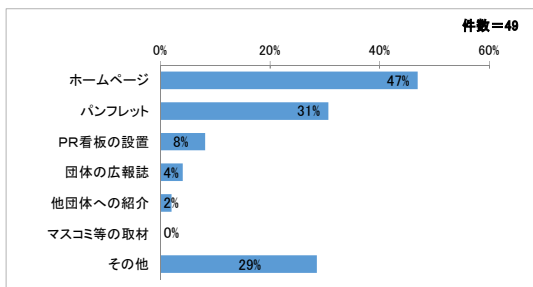
問8 子どもたちや保護者の声はいかがですか。



事業実施による子どもたちや保護者の反応について、「緑がきれい」と答えた人の割合が90%と最も高く、続いて「芝生で運動したり遊んだりするのは気持ちいい」(80%)、「維持管理が大変」(49%)の順になっている。

(9) 芝生化した校庭・園庭の広報

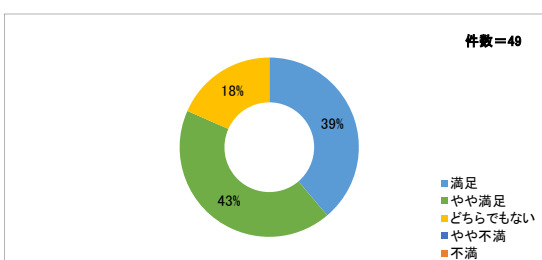
問9 芝生化した校庭・園庭について、情報公開やPRをどのように行っていますか。



芝生化した校庭・園庭の広報について、「ホームページ」と答えた人の割合が47%と最も高く、続いて「パンフレット」(31%)、「PR看板の設置」(8%)の順になっている。

(10) 事業内容の満足度

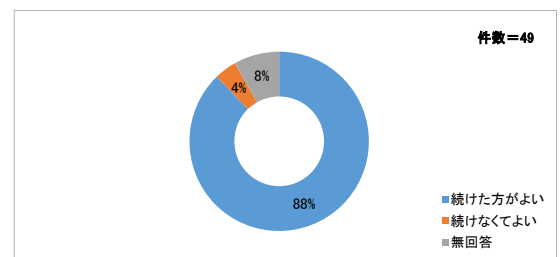
問10 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、満足できる事業ですか。



事業内容の満足度について、「満足」(39%)と「やや満足」(43%)を合わせた“満足”と答えた人の割合が82%であったのに対し、「どちらでもない」と答えた人の割合は18%となっている。

(11) 今後の事業継続について

問11 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



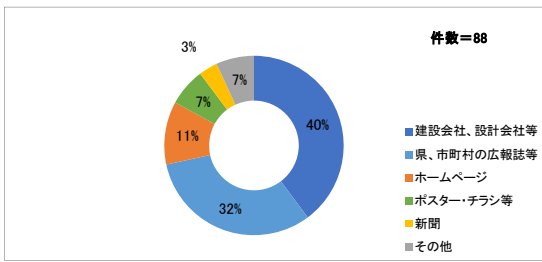
今後の事業継続について、「続けた方がよい」と答えた人の割合が88%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は4%となっている。

8 都市緑化推進事業 民間事業者アンケート

送付数 123/回答数 88 回答率 72%

(1) 事業を知った手段

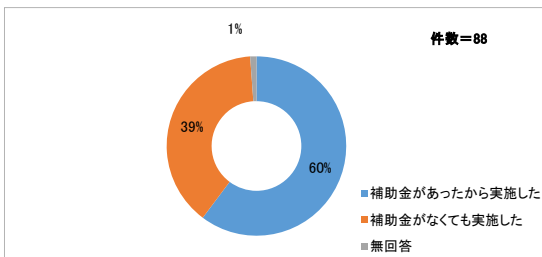
問1 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業は、どこで知りましたか。



事業を知った手段について、「建設会社、設計会社等」と答えた人の割合が40%と最も高く、続いて「県、市町村の広報誌等」(32%)、「ホームページ」(11%)の順になっている。

(2) 事業実施の理由

問2 あなたが今回緑化を行ったのは、あいち森と緑づくり事業の補助金があったからですか。

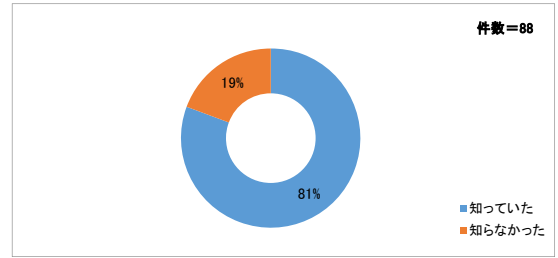


事業実施の理由について、「補助金があったから実施した」と答えた人の割合が60%であったのに対し、「補助金がなくとも実施した」と答えた人の割合は39%となっている。

41

(3) 都市の緑の多様な機能の認知度

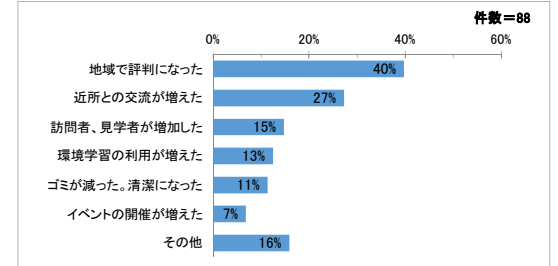
問3 都市の緑は「ヒートアイランド現象の緩和」「生物多様性の保全」「火災延焼防止」などの多様な機能を持っていることを知っていましたか。



都市の緑の多様な機能の認知度について、「知っていた」と答えた人の割合が81%であったのに対し、「知らなかった」と答えた人の割合は19%となっている。

(4) 事業実施による効果(間接的効果)

問4 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、利用の面で良かったことはありますか。

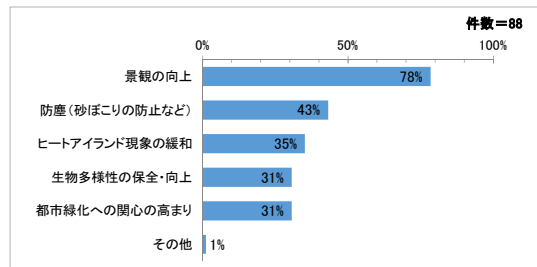


事業実施による効果(間接的効果)について、「地域で評判になった」と答えた人の割合が40%と最も高く、続いて「近所との交流が増えた」(27%)、「訪問者、見学者が増加した」(15%)の順になっている。

42

(5) 事業実施による効果(直接的効果)

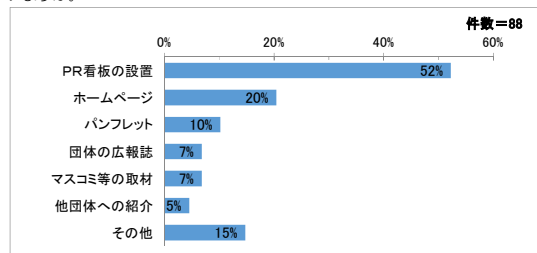
問5 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の実施により、実際に効果があったと感じることはありますか。



事業実施による効果(直接的効果)について、「景観の向上」と答えた人の割合が78%と最も高く、続いて「防塵(砂ほこりの防止など)」(43%)、「ヒートアイランド現象の緩和」(35%)の順になっている。

(6) 事業実施箇所の広報

問6 あいち森と緑づくり事業の実施箇所について、情報公開・PRをどのように行っていますか。

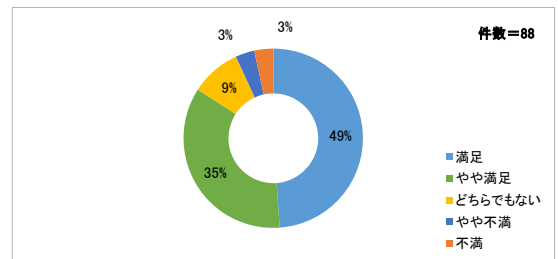


事業実施箇所の広報について、「PR看板の設置」と答えた人の割合が52%と最も高く、続いて「ホームページ」(20%)、「パンフレット」(10%)の順になっている。

43

(7) 事業内容の満足度

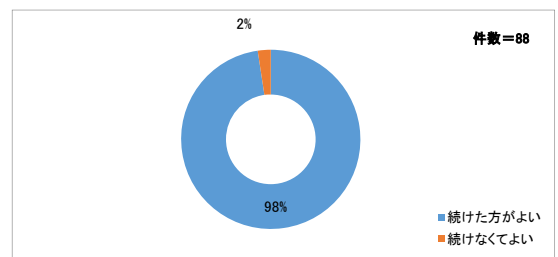
問7 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業の内容は、満足できる事業ですか。



事業内容の満足度について、「満足」(49%)と「やや満足」(35%)を合わせた“満足”と答えた人の割合が84%であったのに対し、「やや不満」(3%)と「不満」(3%)を合わせた“不満”と答えた人の割合は6%となっている。

(8) 今後の事業継続について

問8 あいち森と緑づくり都市緑化推進事業を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「続けた方がよい」と答えた人の割合が98%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合が2%となっている。

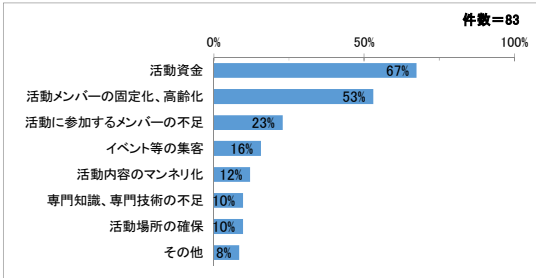
44

9 環境活動・学習推進事業 事業実施団体アンケート

送付数 109/回答数 83 回答率 76%

(1) 活動継続の課題

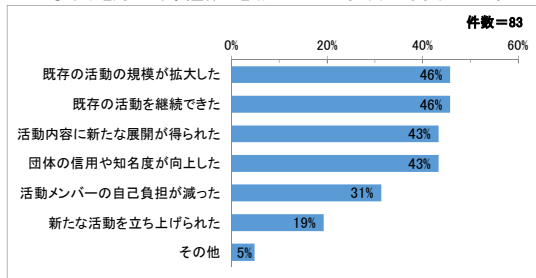
問1 貴団体が活動を継続、発展させていく上で、課題となっていることは何ですか。



活動継続の課題について、「活動資金」と答えた人の割合が67%と最も高く、続いて「活動メンバーの固定化、高齢化」(53%)、「活動に参加するメンバーの不足」(23%)の順になっている。

(2) 事業実施による効果

問2 この事業を活用して、貴団体の活動にどのような効果がありましたか。

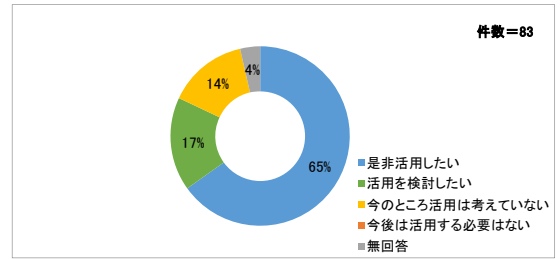


事業実施による効果について、「既存の活動の規模が拡大した」と「既存の活動を継続できた」と答えた人の割合が46%と最も高く、続いて「活動内容に新たな展開が得られた」と「団体の信用や知名度が向上した」(43%)の順になっている。

45

(3) 今後の事業活用予定

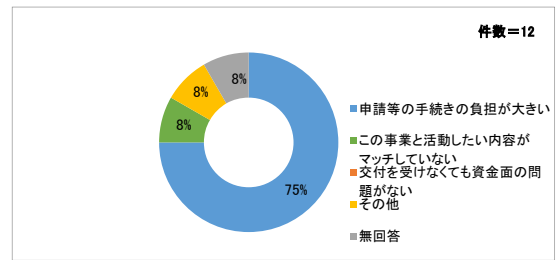
問3 貴団体は、今後もこの事業を活用したいと考えますか。



今後の事業活用予定について、「是非活用したい」と答えた人の割合が65%と最も高く、続いて「活用を検討したい」(17%)、「今のところ活用は考えていない」(14%)の順になっている。

(4) 事業を活用しない理由

問4 問3で「3. 今のところ活用は考えていない」又は「4. 今後は活用する必要はない」と回答された団体にお聞きします。この事業を活用しない理由をお書きください。

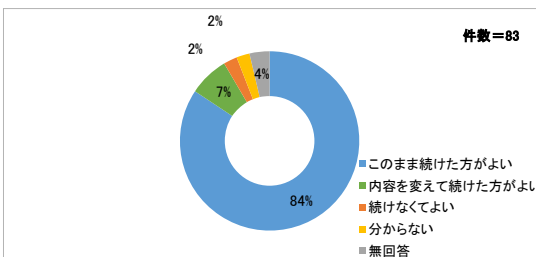


事業を活用しない理由について、「申請等の手続きの負担が大きい」と答えた人の割合が75%と最も高く、続いて「この事業と活動したい内容がマッチしていない」(8%)の順になっている。

46

(5) 今後の事業継続について

問7 あいち森と緑づくり事業による環境活動・学習推進の取組を平成31年度以降も続けていった方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(84%)と「内容を変えて続けた方がよい」(7%)を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が91%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は2%となっている。

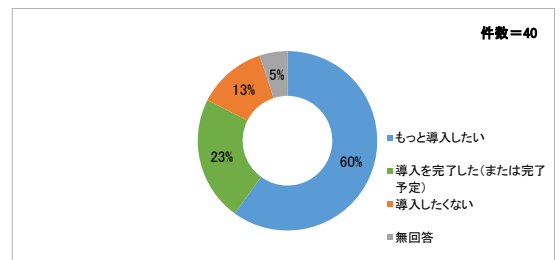
47

10 木の香る学校づくり推進事業 導入校アンケート

送付数 100/回答数 40 回答率 40%

(1) 事業に対する満足度

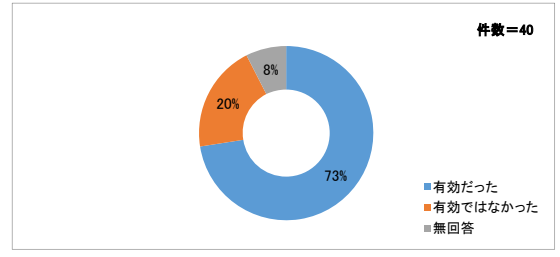
問1 あいち森と緑づくり事業(木の香る学校づくり推進事業)により愛知県産の木材を使用した木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入していかがでしたか。



事業に対する満足度について、「もっと導入したい」と答えた人の割合が60%と最も高く、続いて「導入を完了した(または完了予定)」(23%)、「導入したくない」(13%)の順になっている。

(2) 事業の有効性

問2 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について児童生徒に知ってもらうきっかけとして有効でしたか。

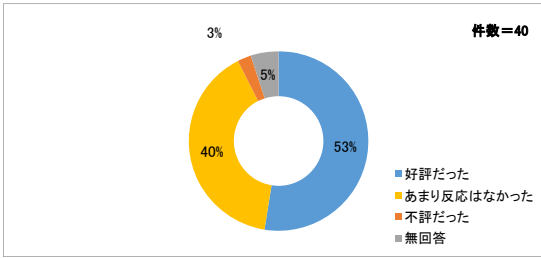


事業の有効性について、「有効だった」と答えた人の割合が73%であったのに対し、「有効ではなかった」と答えた人の割合は20%となっている。

48

(3) 事業実施による児童の反応

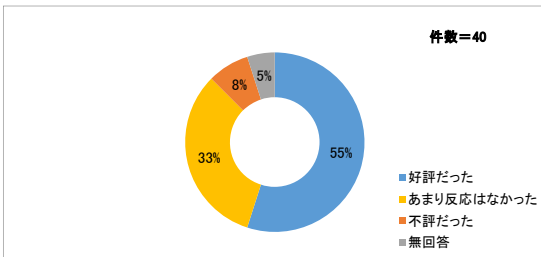
問3 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入したことによる児童生徒たちの反応はどうかでしたか。



事業実施による児童の反応について、「好評だった」と答えた人の割合が53%と最も高く、続いて「あまり反応はなかった」(40%)、「不評だった」(3%)の順になっている。

(4) 事業実施による先生の反応

問4 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入したことによる先生たちの反応はどうかでしたか。

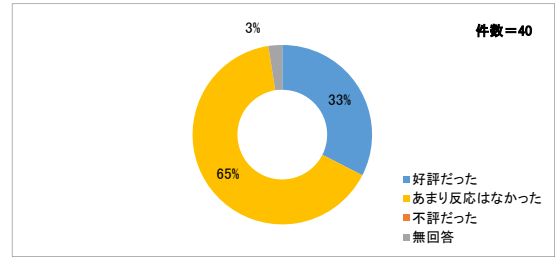


事業実施による先生の反応について、「好評だった」と答えた人の割合が55%と最も高く、続いて「あまり反応はなかった」(33%)、「不評だった」(8%)の順になっている。

49

(5) 事業実施による保護者の反応

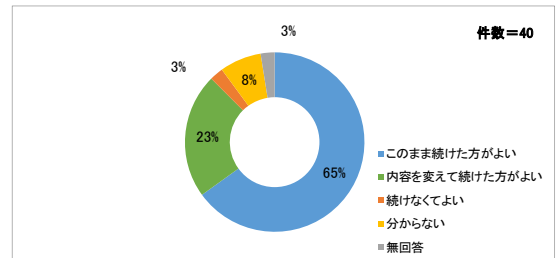
問5 木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入したことによる保護者等の反応はどうかでしたか。



事業実施による保護者の反応について、「好評だった」と答えた人の割合が33%であったのに対し、「あまり反応はなかった」と答えた人の割合が65%となっている。

(6) 今後の事業継続について

問6 木の香る学校づくり推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(65%)と「内容を変えて続けた方がよい」(23%)を合わせた“続けた方がよい”と答えた人の割合が88%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は3%となっている。

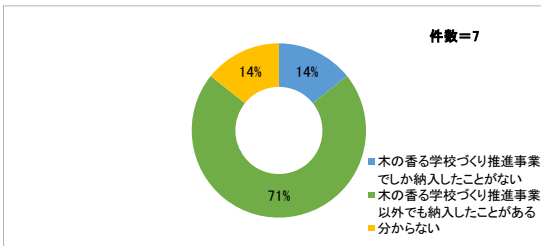
50

11 木の香る学校づくり推進事業 製造業者アンケート

送付数 10/回答数 7 回答率 70%

(1) 県産木材製机・椅子等の納入状況

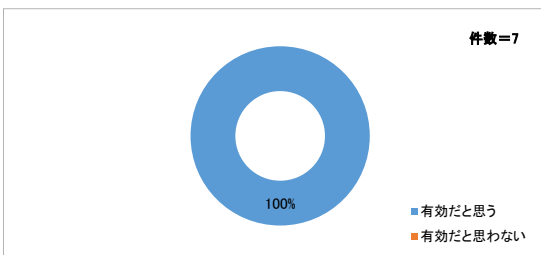
問1 愛知県で、「木の香る学校づくり推進事業」を実施していますが、この事業以外でも愛知県内の小中学校に愛知県産木材を使った木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等を納入したことがありますか。



県産木材製机・椅子等の納入状況について、木の香る学校づくり推進事業以外でも納入したことがある」と答えた人の割合が71%と最も高く、続いて「木の香る学校づくり推進事業でしか納入したことがない」(14%)の順になっている。

(2) 事業の有効性

問2 愛知県産木材を使った木製の机・椅子、下駄箱、ロッカー等の導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を図るのに有効だと思いますか。

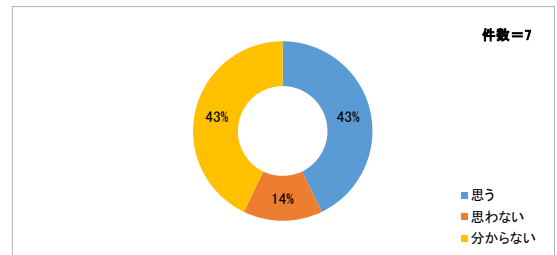


事業の有効性について、「有効だと思う」と答えた人の割合が100%となっている。

51

(3) 事業により導入校が増加したかどうかについて

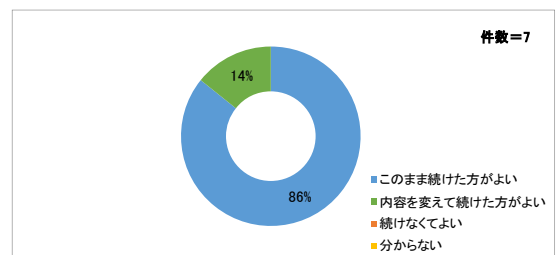
問3 木の香る学校づくり推進事業により、愛知県産木材を利用した児童生徒用学習机・椅子、下駄箱、ロッカー等を導入する学校が増えた(増える)と思いますか。



事業により導入校が増加したかどうかについて、増えた(増える)と「思う」と答えた人の割合が43%であったのに対し、「思わない」と答えた人の割合は14%となっている。

(4) 今後の事業継続について

問4 木の香る学校づくり推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」(86%)と「内容を変えて続けた方がよい」(14%)を合わせた“続けた方がよい”と答えた人の割合が100%となっている。

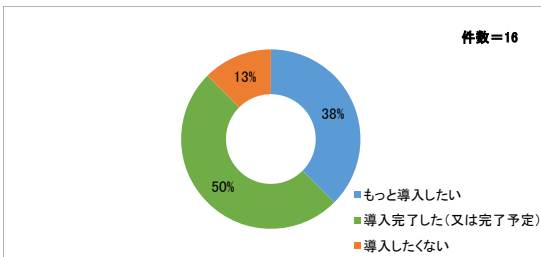
52

12 愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入） 導入施設アンケート

送付数 20 / 回答数 16 回答率 80%

(1) 事業に対する満足度

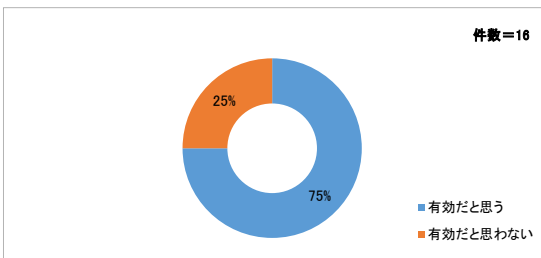
問1 愛知県産木材を利用した木製ベンチを導入していかがでしたか。



事業に対する満足度について、「導入を完了した（または完了予定）」と答えた人の割合が50%と最も高く、続いて「もっと導入したい」（38%）、「導入したくない」（13%）の順になっている。

(2) 事業の有効性

問2 愛知県産木材を利用した木製ベンチの導入は、森林整備の意義や木材活用の効果について施設利用者に知ってもらおうきっかけとして有効でしたか。

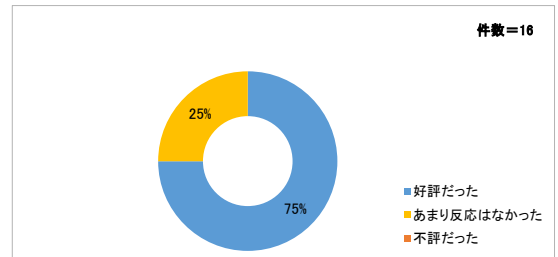


事業の有効性について、「有効だと思う」と答えた人の割合が75%であったのに対し、「有効だと思わない」と答えた人の割合は25%となっている。

53

(3) 事業実施による施設利用者の反応

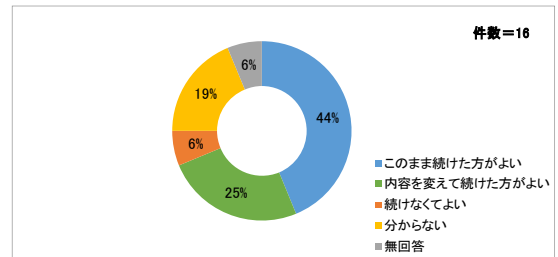
問3 愛知県産木材を利用した木製ベンチを導入したことによる施設利用者の反応はいかがでしたか。



事業実施による施設利用者の反応について、「好評だった」と答えた人の割合が75%と最も高く、続いて「あまり反応はなかった」（25%）の順になっている。

(4) 今後の事業継続について

問4 愛知県産木材利活用推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「このまま続けた方がよい」（44%）と「内容を変えて続けた方がよい」（25%）を合わせた「続けた方がよい」と答えた人の割合が69%であったのに対し、「続けなくてよい」と答えた人の割合は6%となっている。

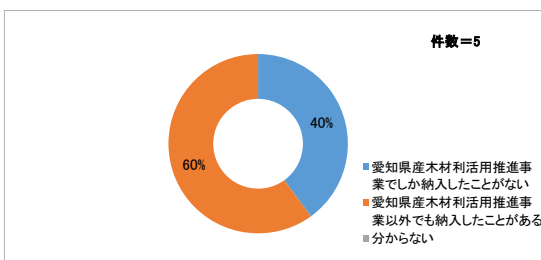
54

13 愛知県産木材利活用推進事業（木製ベンチ導入） 製造業者アンケート

送付数 10 / 回答数 5 回答率 50%

(1) 県産木材製ベンチの納入状況

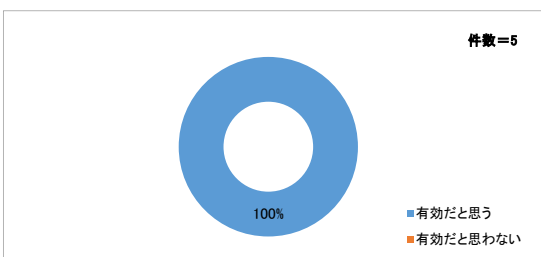
問1 愛知県では「愛知県産木材利活用推進事業」を実施していますが、この事業以外でも公共施設に愛知県産木材を利用した木製のベンチを納入したことがありますか。



県産木材製ベンチの納入状況について、「愛知県産木材利活用推進事業以外でも納入したことがある」と答えた人の割合が60%と最も高く、続いて「愛知県産木材利活用推進事業でしか納入したことがない」（40%）の順になっている。

(2) 事業の有効性

問2 公共施設へ愛知県産木材を利用した木製のベンチを導入することは、森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を図るのに有効だと思いますか。

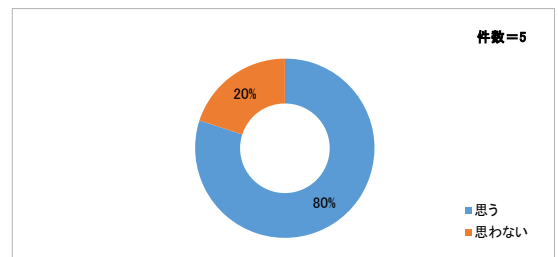


事業の有効性について、「有効だと思う」と答えた人の割合が100%となっている。

55

(3) 事業により導入市町村が増加したかどうかについて

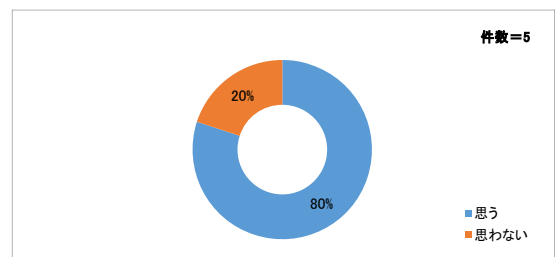
問3 この事業により、愛知県産木材を利用したベンチを導入する市町村が増えた（増える）と思いますか。



事業により導入市町村が増加したかどうかについて、増えた（増える）と「思う」と答えた人の割合が80%であったのに対し、「思わない」と答えた人の割合は20%となっている。

(4) 今後の事業継続について

問4 愛知県産木材利活用推進事業を平成31年度以降も続けた方がよいと思いますか。



今後の事業継続について、「思う」と答えた人の割合が80%であったのに対し、「思わない」と答えた人の割合は20%となっている。

56

参考資料

1 条例

(1) あいち森と緑づくり基金条例（抜粋）

平成二十年三月二十五日条例第五号

（設置）

第一条 森と緑が有する環境保全、災害防止等の公益的機能の維持増進のために実施する森林、里山林及び都市の緑の適正な整備及び保全に関する施策に必要な財源を確保するため、あいち森と緑づくり基金（以下「基金」という。）を設置する。

（積立て）

第二条 基金として積み立てる金額は、次に掲げる額の合計額として一般会計歳入歳出予算で定める額とする。

一 あいち森と緑づくり税条例（平成二十年愛知県条例第二号）第四条の規定により基金に積み立てるものとされている額

二 前条に定める基金の設置の目的のために寄附された寄附金の額

（基金への繰入れ）

第三条 基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、すべて基金に繰り入れなければならない。

（運用）

第四条 基金は、銀行その他の金融機関への預金その他確実な方法により運用しなければならない。

（繰替運用等）

第五条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は一般会計歳入歳出予算の定めるところにより歳入に繰り入れて運用することができる。

（処分）

第六条 基金は、第一条に規定する施策のための財源に充てるときに限り、処分することができる。

(2) あいち森と緑づくり税条例（抜粋）

平成二十年三月二十五日条例第二号

（目的）

第一条 この条例は、森林及び里山林の荒廃並びに都市の緑の喪失が進む中、森と緑が有する環境保全、災害防止等の公益的機能がもたらす恩恵をすべての県民が享受していることにかんがみ、その公益的機能の維持増進のために実施する森林、里山林及び都市の緑の適正な整備及び保全に関する施策に必要な財源を確保するため、あいち森と緑づくり税として、愛知県県税条例（昭和二十五年愛知県条例第二十四号。以下「県税条例」という。）に定める県民税の均等割の税率の特例を定めることを目的とする。

（個人の県民税の均等割の税率の特例）

第二条 平成二十一年度から平成三十年までの各年度分の個人の県民税の均等割の税率は、県税条例第四十二条の六の規定にかかわらず、同条に定める額に五百円を加算した額とする。

（法人の県民税の均等割の税率の特例）

第三条 平成二十一年四月一日から平成三十一年三月三十一日までの間に開始する各事業年

度若しくは各連結事業年度又は地方税法（昭和二十五年法律第二百二十六号）第五十二条第二項第四号の期間に係る法人の県民税の均等割の税率は、県税条例第四十二条の十四第一項の規定にかかわらず、同項の表の上欄に掲げる法人の区分に応じ、それぞれ当該下欄に定める額に、当該額に百分の五を乗じて得た額を加算した額とする。

- 2 前項の規定の適用がある場合における県税条例第四十二条の十四第二項の規定の適用については、同項中「前項」とあるのは、「あいち森と緑づくり税条例（平成二十年愛知県条例第二号）第三条第一項」とする。

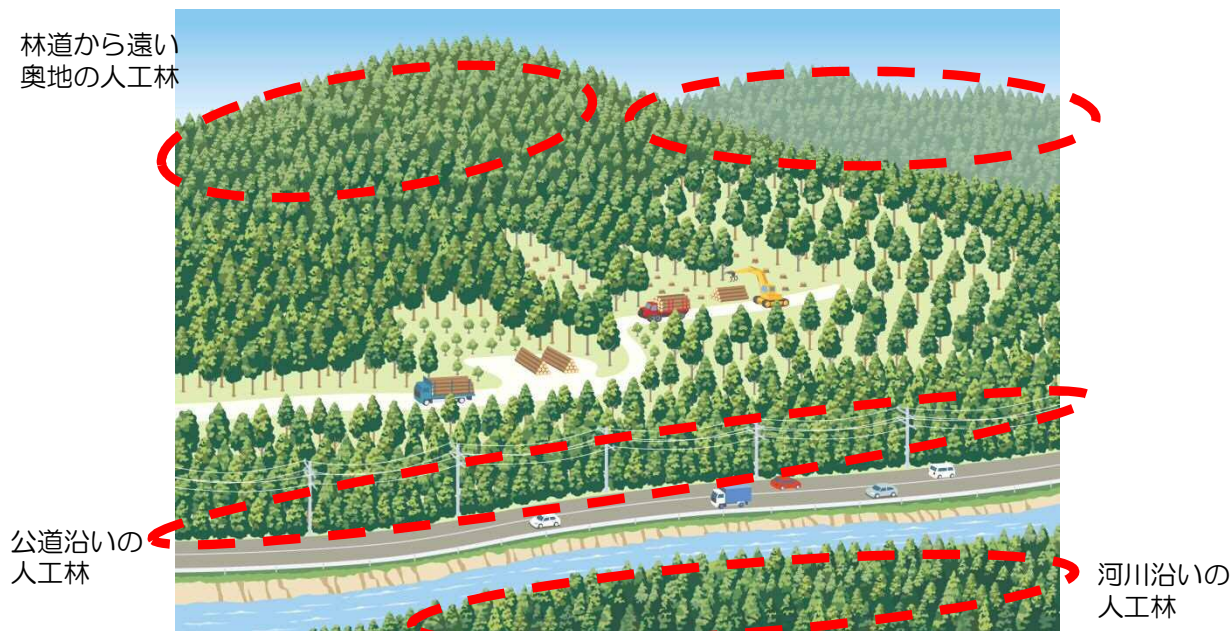
（基金への積立て）

第四条 知事は、第二条及び前条第一項の規定による加算額に係る収納額に相当する額を、あいち森と緑づくり基金（あいち森と緑づくり基金条例（平成二十年愛知県条例第五号）に基づくあいち森と緑づくり基金をいう。）に積み立てるものとする。

2 各事業の内容

■人工林整備事業

- 林業活動では整備が困難な奥地や作業が困難な公道・河川沿い等の人工林について、公益的機能を十分に発揮する森林へ誘導するために、県が間伐等を実施。



■森林整備技術者養成事業

- 通常の森林整備より作業条件が悪い本事業に従事する技術者の確保、育成を進めるために、必要な技術・技能を短期間で習得させる研修を実施。

■里山林整備事業

【里山林再生整備事業】（県事業）

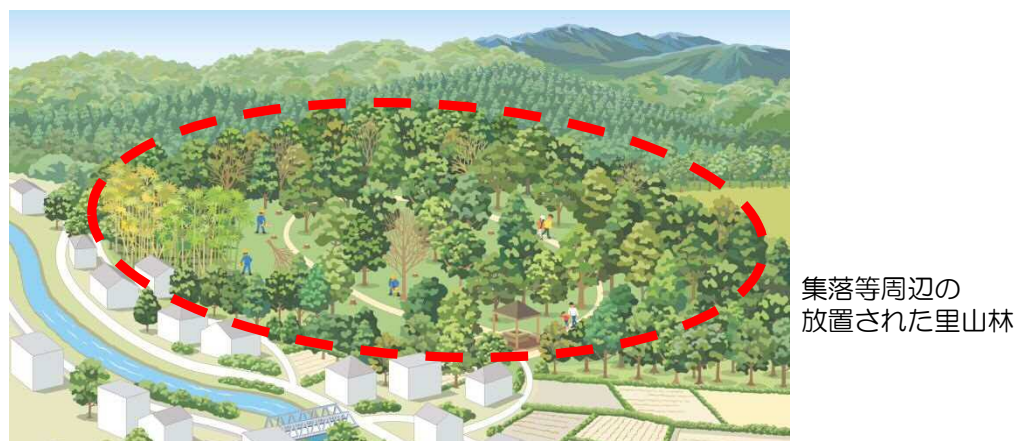
- 手入れがされていない里山林を再生するため、県が抜き伐り、枯損木や竹の除去等の整備に加えて、防災機能向上のための簡易防災施設の設置等を実施。

【提案型里山林整備事業】（市町村事業）

- 市町村が、地域住民等と協働で里山林整備を進めるため、森林調査や作業小屋・歩道等の施設整備、必要最小限の森林整備等を実施する場合に助成。

【里山林健全化整備事業】（市町村事業）

- 市町村が、手入れのされていない里山林の健全化のための整備を実施する場合に助成。



■都市緑化推進事業

- 環境改善・防災・景観形成などのさまざまな機能を持ち、快適、安全で健康的な都市生活において欠かせない「都市の緑」。その保全や創出を、以下の4つの事業により推進。



身近な緑づくり

市街地の既存樹林を市町村が買い取り、保全
市街地において新たな緑地を創出

既存樹林の保全

空き地等

事業前

身近な緑地の整備

事業後

美しい並木道再生

都市の顔となる地区の道路において、美しい並木道を再生

事業前

並木の再生

事業後

緑の街並み推進

市街地の民有地において、まとまった規模での優良な緑化工事費の一部を助成し、民有地緑化を推進

空地緑化

壁面緑化

屋上緑化

生垣設置

駐車場緑化

県民参加緑づくり

公有地で行われる県民参加による緑づくり活動を推進

植樹

ビオトープづくり

■環境活動・学習推進事業

- 多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO、市町村等が企画提案した事業の実施に要する経費を助成。
- 県民、事業者、NPO、行政等の地域の様々な立場の人々が協働して、生きものの生息生育空間を保全・再生・創出し、地域の生態系ネットワークを形成する事業に対して助成。

■木の香る学校づくり推進事業

- 森林整備の意義や木材活用の効果について普及啓発を進めるため、市町村が公立小中学校に愛知県産木材を使用した学習机、椅子、下駄箱等を導入するのに必要な経費の一部を助成。
(平成25年度以降は、下駄箱、ロッカー、教卓、教壇、腰壁、床板、遊具を事業対象に追加。)

■愛知県産木材利活用推進事業（平成26年度から実施）

- 愛知県産木材の利活用を推進し、自発的な森林整備につなげるため、市町村が行う間伐材搬出補助や、公共施設への木製ベンチの導入の取組に対して助成。